

角田市地域公共交通計画 資料編

令和8年3月

角田市

[目 次]

1. 角田市の現状	1
1-1 人口特性	1
1-2 地勢・土地利用	5
1-3 自家用車および自動車運転免許の保有状況	8
1-4 移動特性の整理	10
1-5 観光状況の整理	13
1-6 公共交通の現状	14
2. 住民・ラビットくん利用者アンケート調査結果	24
2-1 令和7年度住民アンケート調査	24
2-2 令和7年度ラビットくん利用者アンケート調査	50
3. ラビットくんの乗降データ分析結果	58
3-1 分析概要	58
3-2 乗降データ（月別・運行エリア別）	59
3-3 乗降データ（利用回数と乗継状況）	60
3-4 乗降データ（時間帯別の乗車場所・降車場所）	63

1. 角田市の現状

1-1 人口特性

1-1-1 総人口・将来人口の推移

- 本市の総人口は減少傾向にあり、2045年には20,000人を下回る見込みです。
- 年齢別人口については15歳未満と15～64歳が一貫して減少傾向となっています。一方で65歳以上は2025年まで増加傾向となっていますが、その後は減少する見込みです。
- また2020年時点で本市の高齢化率（65歳以上の割合）が35.8%である一方、宮城県の高齢化率は28.3%となっており、県全体よりも高齢化が進んでいる状況にあります。
- 将来推計人口でも、一貫して人口が減少する見込みであるほか、2030年以降は高齢化率が40%を上回る見込みとなっています。

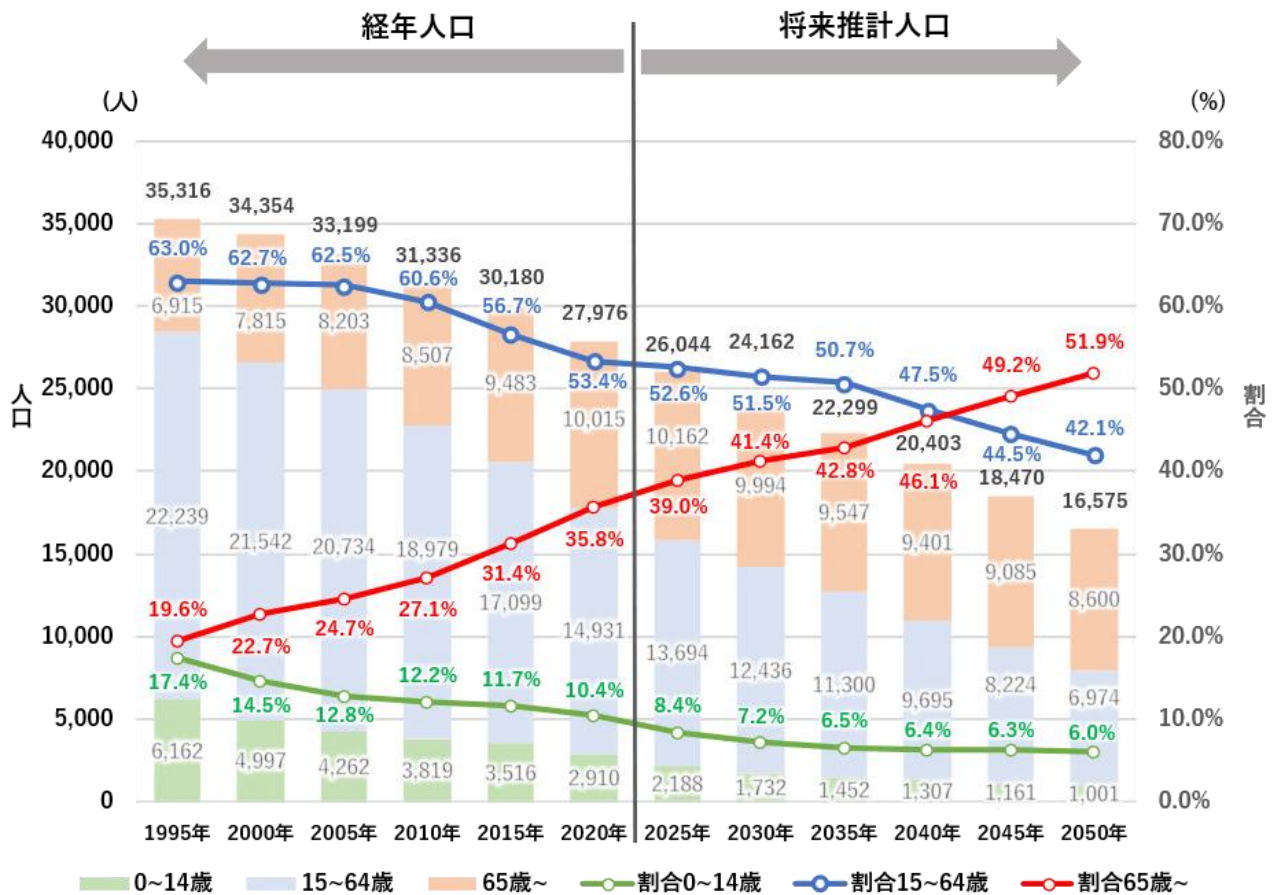


図 年齢階層別の総人口・将来人口の推移

出典：実績値/国勢調査（H7～R2）、将来推計値/国立社会保障・人口問題研究所

1-1-2 世帯数

○総世帯数は過去 20 年間、10,000 世帯前後で横ばいに推移しています。

○一方で 65 歳以上世帯員がいる世帯数割合は一貫して上昇しており、2020 年には 59.1%となっています。

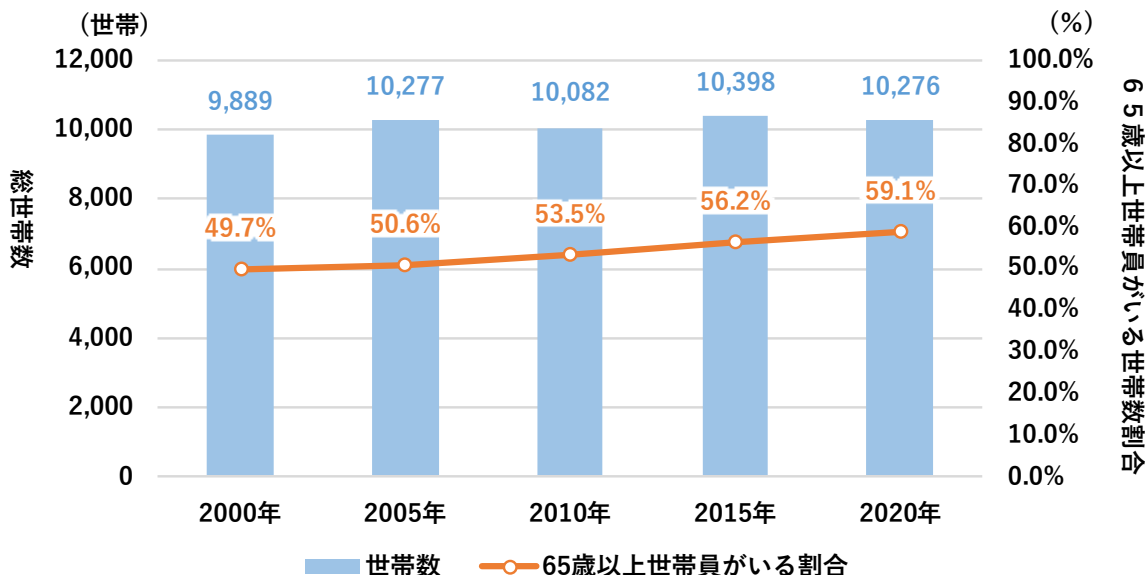


図 総世帯数および 65 歳以上世帯員がいる世帯数割合の推移

出典：国勢調査 (H12～R2)

※H12,H17 の 65 歳以上世帯員については、65 歳以上親族のいる世帯数の集計結果を掲載

1-1-3 地区別居住人口

○地区別居住人口は、令和 6 年度における桜地区を除き、全ての地域・年度で減少しています。

○なお平成 29 年度から令和 6 年度までの減少数は角田地区が 703 人と最も多く、減少率は西根地区が 21.3% (減少数 493 人) と最も高くなっています。

表 地区別居住人口 (単位：人)

年度	H29 (2017 年)	H30 (2018 年)	R1 (2019 年)	R2 (2020 年)	R3 (2021 年)	R4 (2022 年)	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	減少率 (H29⇒R7)
角田	10,848	10,789	10,581	10,505	10,410	10,324	10,274	10,145	6.5%
横倉	3,141	3,084	3,005	2,922	2,848	2,779	2,710	2,653	15.5%
小田	702	677	649	627	608	593	579	560	20.2%
枝野	1,768	1,727	1,683	1,633	1,595	1,553	1,508	1,431	19.1%
藤尾	2,575	2,512	2,464	2,399	2,313	2,249	2,167	2,042	20.7%
東根	1,265	1,231	1,186	1,143	1,114	1,094	1,071	1,016	19.7%
桜	3,580	3,539	3,478	3,447	3,434	3,420	3,408	3,422	4.4%
北郷	3,700	3,667	3,584	3,530	3,429	3,374	3,317	3,162	14.5%
西根	2,311	2,265	2,179	2,128	2,046	1,995	1,931	1,818	21.3%

出典：角田市 website(年度末時点の数値)

1-1-4 人口分布

(1) 総人口

○人口の分布状況を見ると、角田駅周辺を含む市中心部に人口が集積するほか、その他の駅や小学校周辺などにも人口の集積が確認できます。

○その他の地域では、人口が10人未満・10～50人未満のエリアが広く点在します。

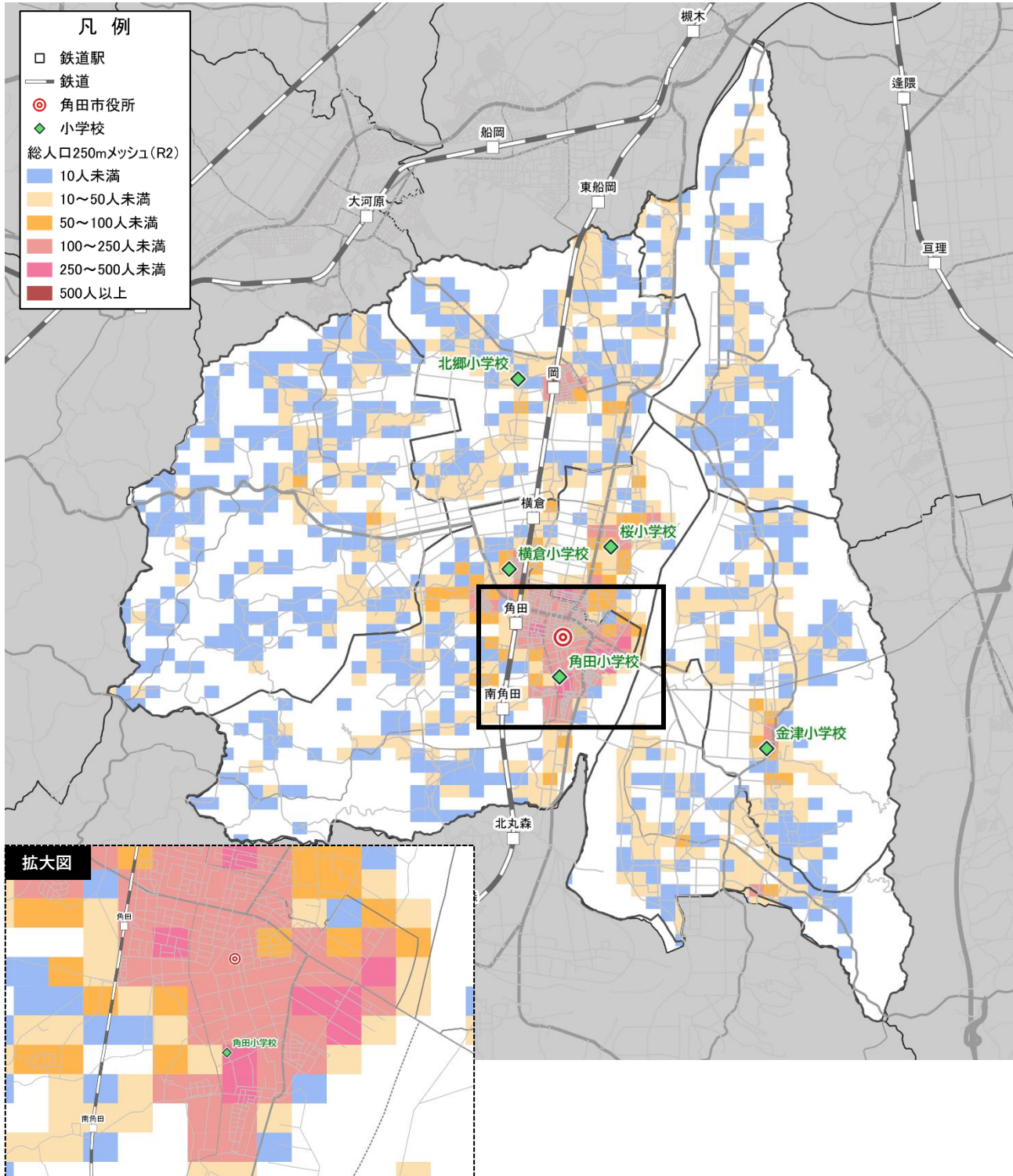


図 人口分布状況

出典：国勢調査（R2）

(2) 高齢化率

○高齢者（65歳以上）が占める割合をみると、角田駅周辺を含む市中心部では高齢化率25%未満のエリアが広がる一方、その他の地域では高齢化率50%以上のエリアが広く分布しています。

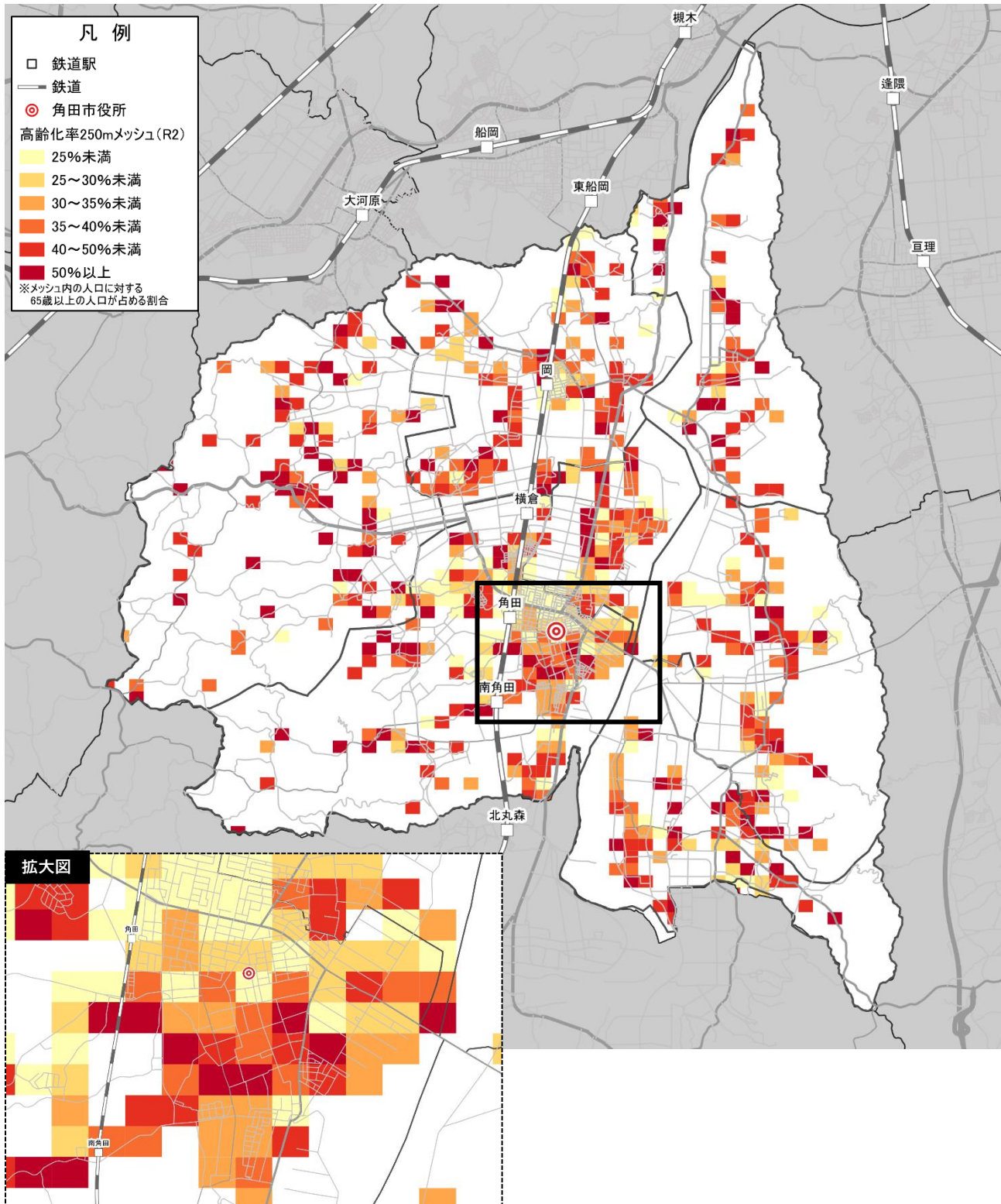


図 高齢化率

出典：国勢調査（R2）

1-2 地勢・土地利用

1-2-1 DID (人口集中地区)

○平成 27 年と比較し、令和 2 年の DID (人口集中地区) は北側において拡大した一方、中央部と南側においては縮小がみられました。全体の面積は 0.03 km² の微減となり、人口はおよそ 500 人の減少となりました。

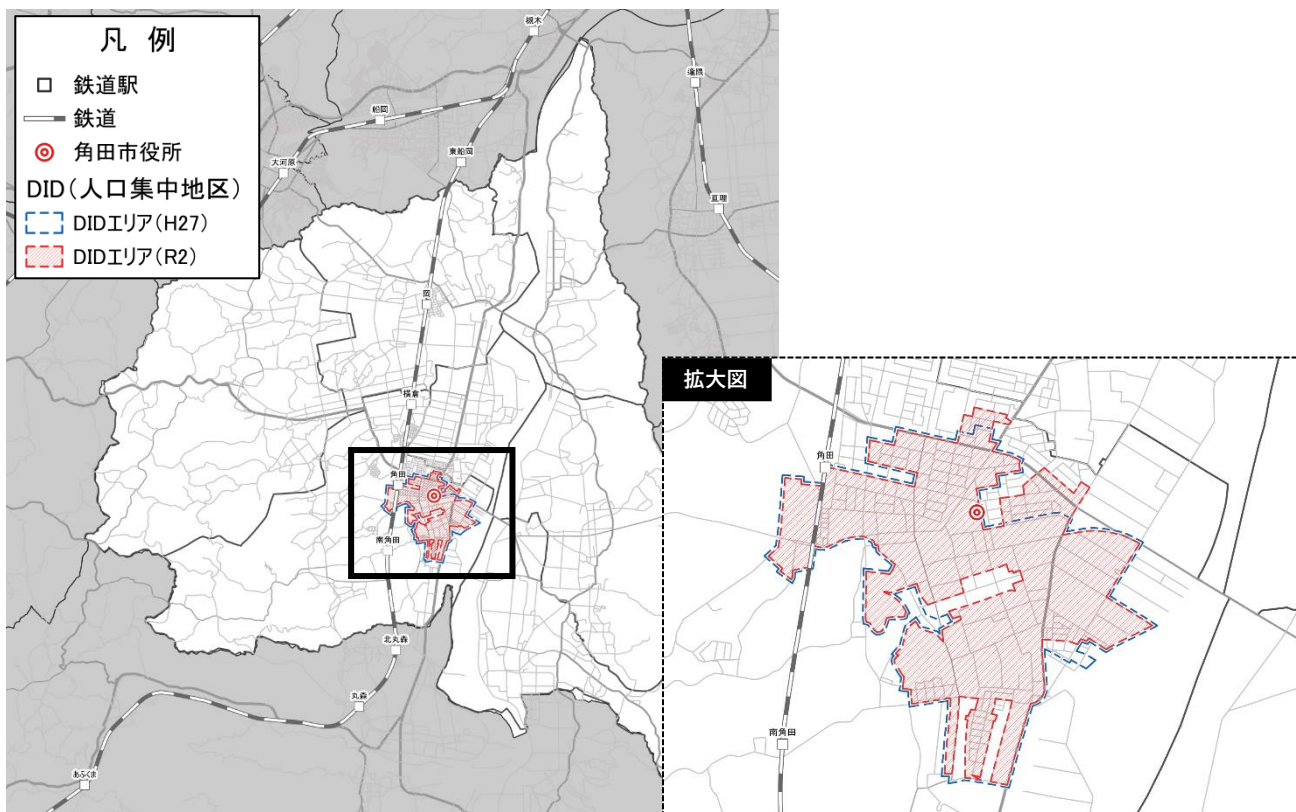


図 DID の分布状況

出典：国勢調査 (R2)

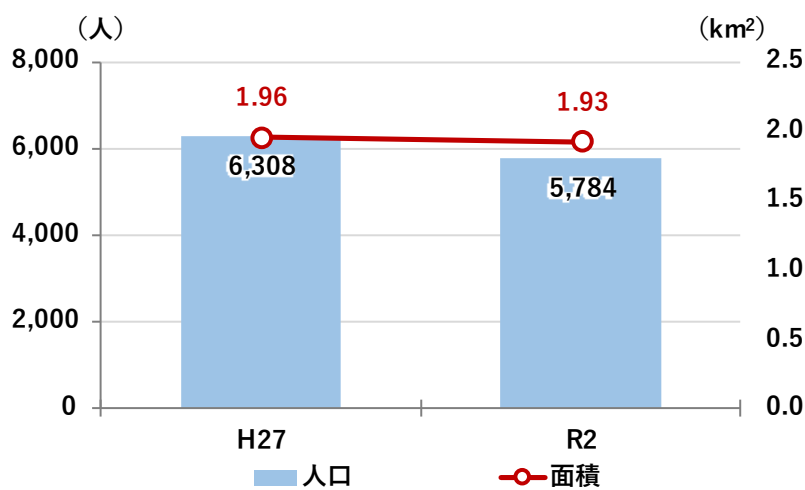


図 DID における人口及び面積の推移

出典：総務省統計局 website

1-2-2 用途地域

〇市の中心部においても住居専用地域が指定されている一方で、工業地域や工業専用地域も指定されています。また北部にも工業専用地域を有しており、JAXA 角田宇宙センターなどが立地しています。

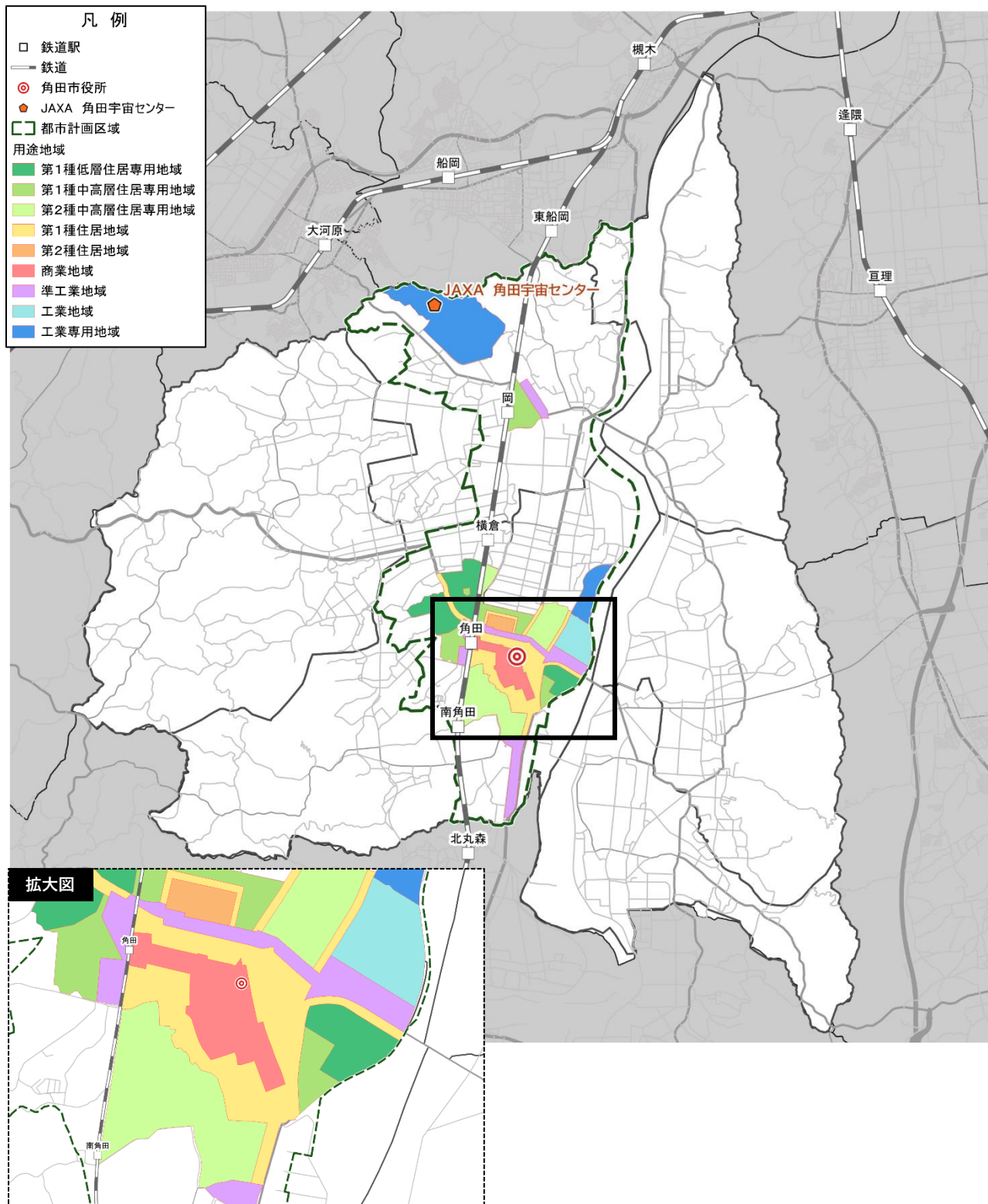


図 用途地域

出典：角田市 website

1-2-3 土地利用

○角田駅東側が主に建物用地として設定されており、郊外部に田や農用地が広がっています。

○また、北部・西部・東部の市域付近には森林が広く分布します。

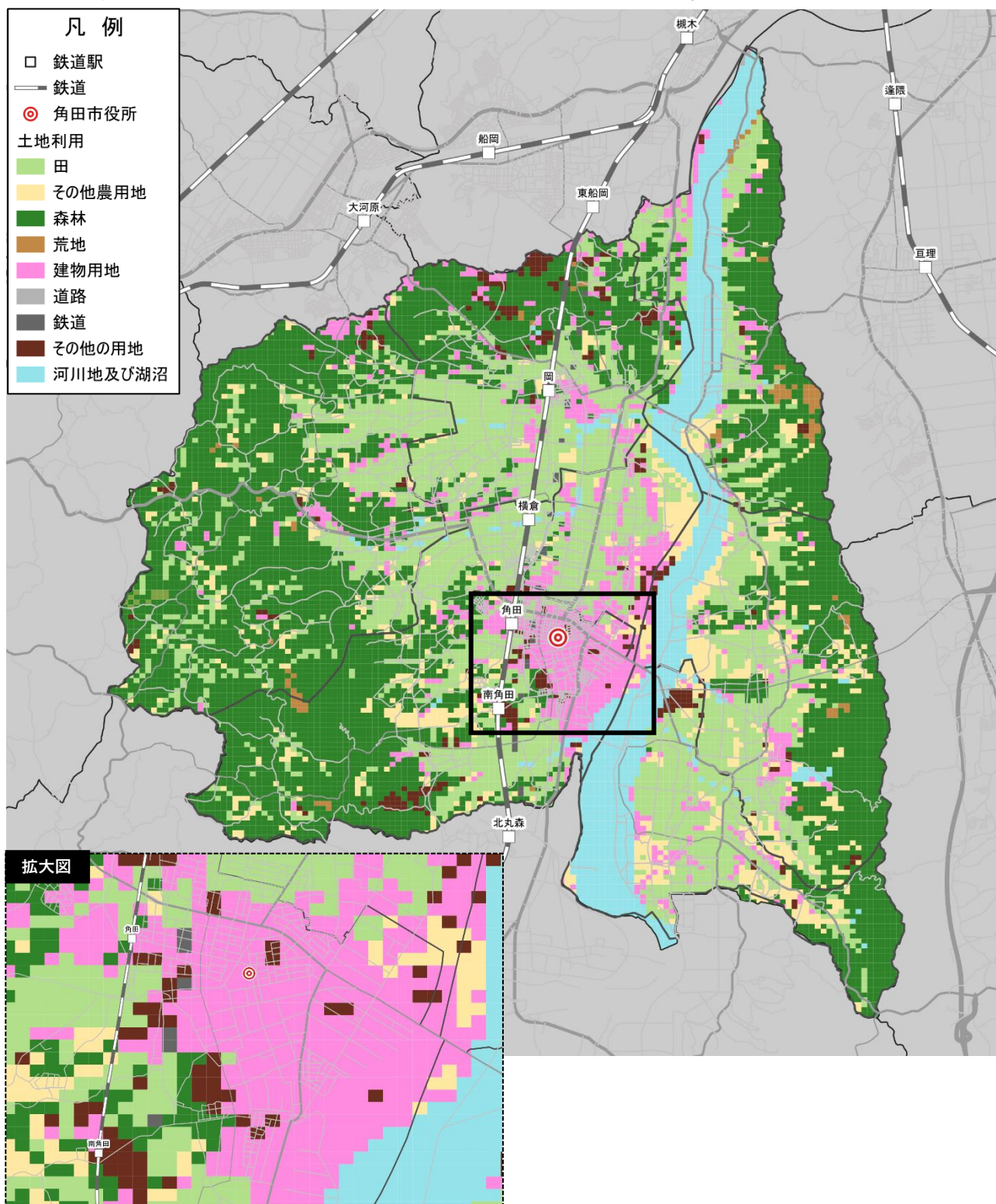


図 用途地域

出典：角田市 website

1-3 自家用車および自動車運転免許の保有状況

1-3-1 自家用車の保有台数

- 自動車保有台数は、微減傾向にあります。2022年から2023年にかけては64台の増加となっていますが、それ以外の年では減少している傾向にあります。
- 1世帯あたりの保有台数は緩やかに減少する傾向にあります。

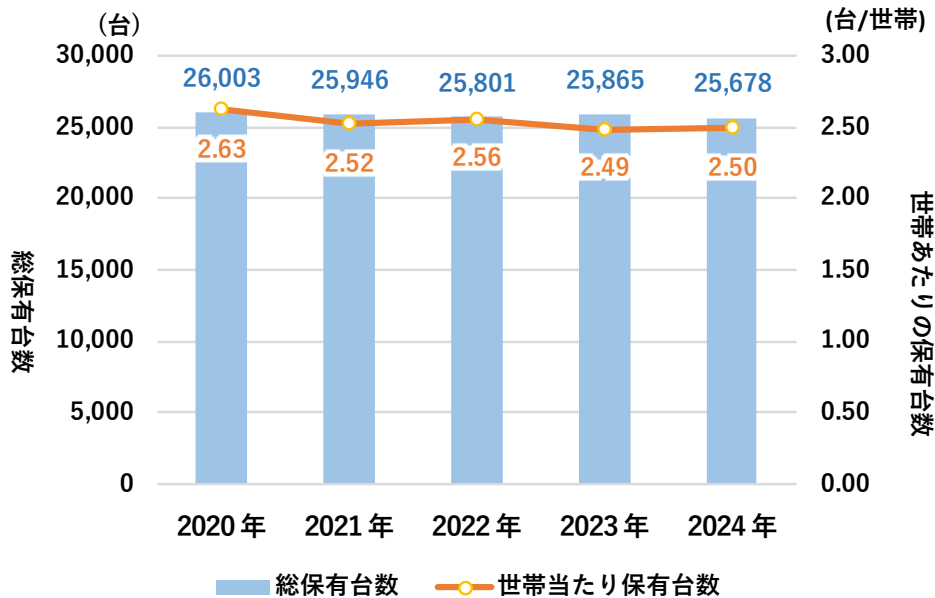


図 自動車保有台数および世帯あたりの保有台数の推移

出典：国土交通省東北運輸局 website

1-3-2 自動車運転免許証の保有者数・75歳以上の保有者割合

- 自動車運転免許証の保有者数は、緩やかに減少しています。2024年の保有者数は2020年比でおよそ3.3%減となる19,491台でした。
- 一方で75歳以上の保有者割合は一貫して上昇傾向にあり、2024年は2020年比で3.3ポイント増となる12.6%となっています。

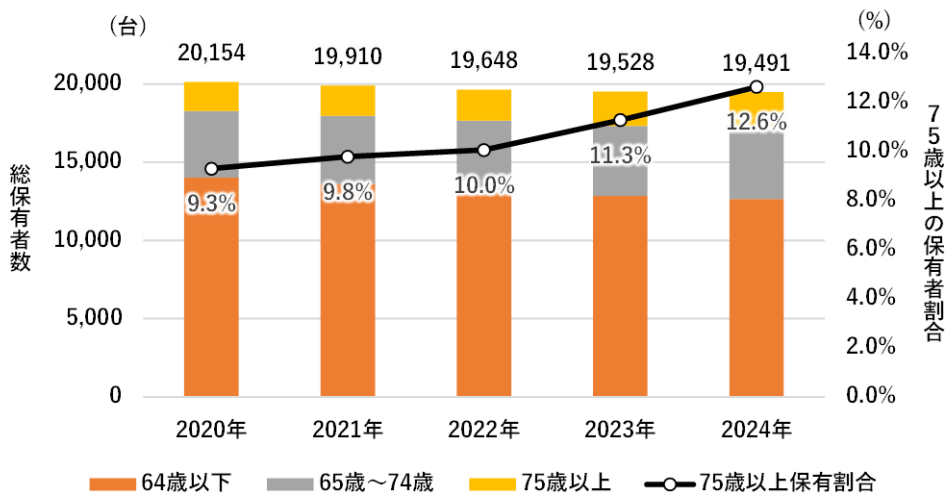


図 自動車保有台数および世帯あたりの保有台数の推移

出典：宮城県 website

1-3-3 交通事故発生件数

○2017年に86件あった交通事故発生件数は、2021年までに39件と半数以上の減少となりましたが、2022年には前年比で15件の増加となる54件の事故が発生しました。

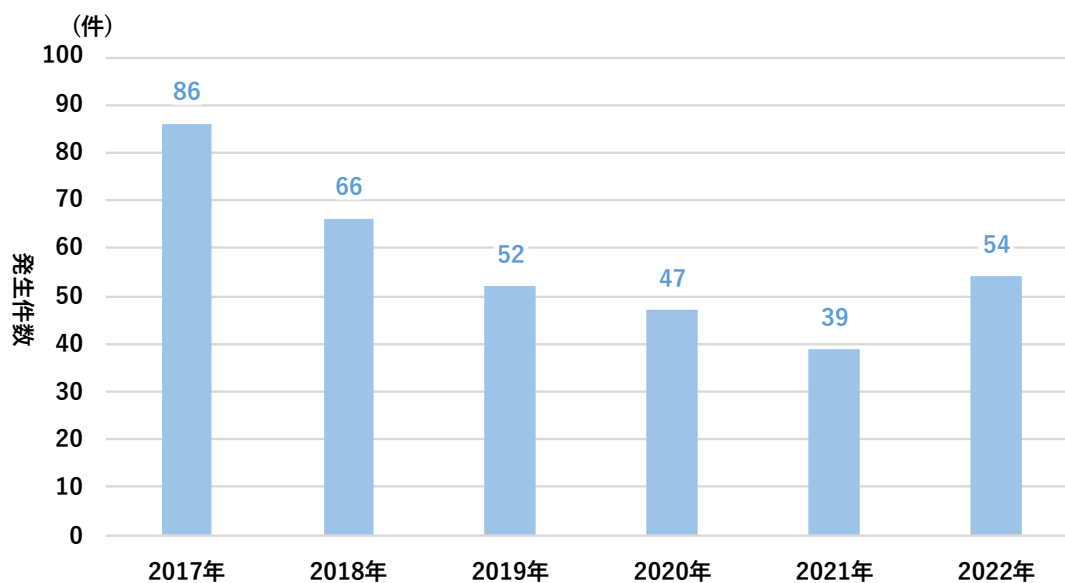


図 交通事故発生件数の推移

出典：オープンデータみやぎ website

1-4 移動特性の整理

1-4-1 通勤流動

- 市外への流出は、柴田町が867人と最も多く、次いで仙台市が788人と続きます。
- 市内への流入は、柴田町が1,512人と最も多く、次いで丸森町が968人と続きます。
- 流入・流出共に阿武隈急行の沿線市町への流入出が特に多く、特に柴田町は流入・流出人数がいずれも最も多くなっています。
- 仙台市を除く全ての周辺市町で、流入人数が流出人数を上回っています。

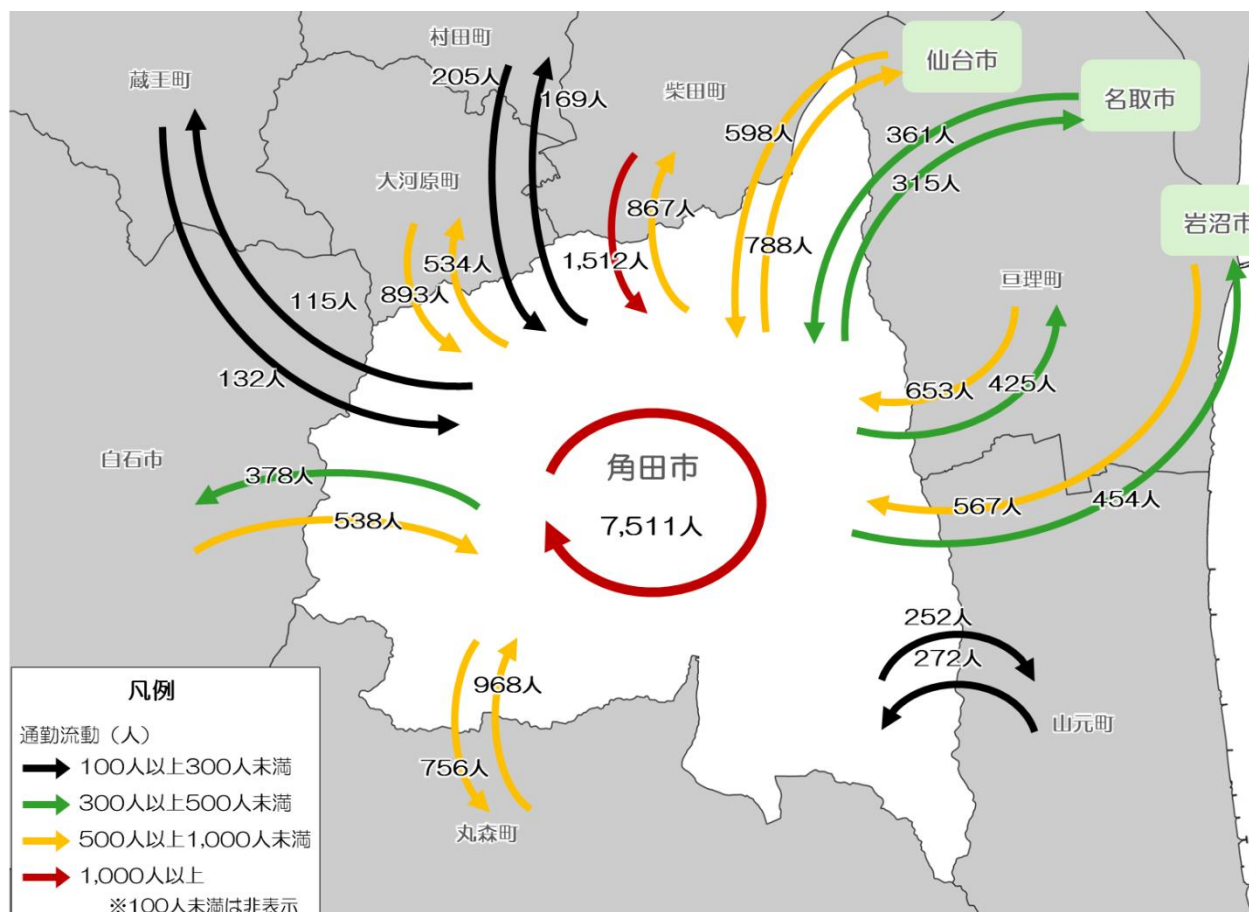


図 流動図 (通勤)

出典：国勢調査(R2)

1-4-2 通学流動

- 市外への流出は、仙台市が275人と最も多く、次いで白石市が101人と続いており、阿武隈急行沿線ではない白石市への流動人数も多くなっています。
- 市内への流入は、柴田町が81人と最も多く、次いで丸森町が75人と続きます。
- 多くの市町村で、流出人数が流入人数を上回っています（柴田町のみ流入人数が多い）。

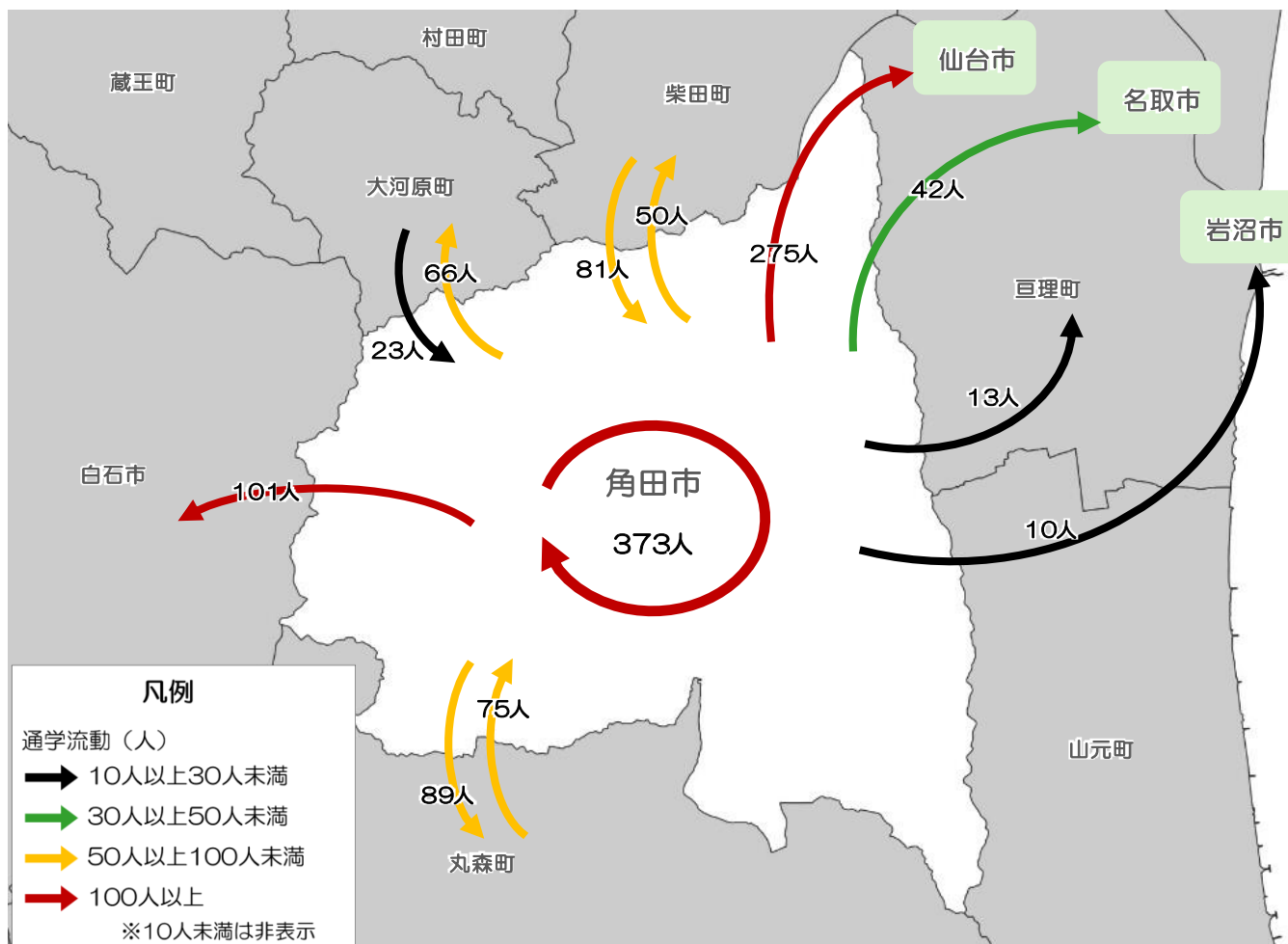


図 流動図（通学）

出典：国勢調査(R2)

1-4-3 通勤・通学時の移動手段

- 本市における通勤・通学時の移動手段については、宮城県平均および仙台市に比べて圧倒的に自家用車の使用割合が高い状況です。その一方、乗合バスや鉄道等のその他の交通モードの利用割合が県や仙台市と比較しいずれも低い状況にあります。
- 角田市内で平日に運行する乗合バス等は、デマンド型乗合タクシーの「ラビットくん」のみであり、当該サービスの最終便が 16:00 であることなどから、通勤・通学時の移動手段として選択されにくいことが想定されます。
- また、鉄道利用割合は 6.8%存在しており、阿武隈急行線を利用して柴田町をはじめとして仙台市や丸森町等、沿線市町への通勤通学手段として一定の利用があることが想定されます。

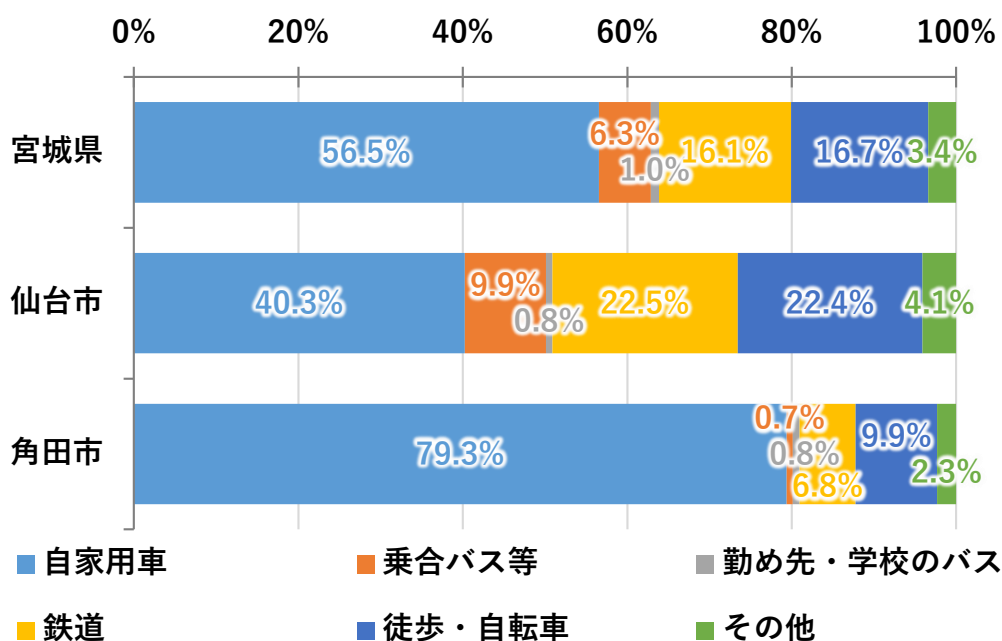


図 通勤・通学時の移動手段（宮城県・仙台市・角田市）

出典：国勢調査(R2)

1- 5 観光状況の整理

○2019年の「道の駅 かくだ」のオープンに伴い、2019年以降の観光入込客数は飛躍的に増加しました。

○2020年には新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、約90万人まで減少したものの、その後は増加傾向にあり、2023年には2019年を上回る約115万人となりました。さらに、同年に「天然温泉もみの木」が開業したことも受け、2024年時点では約125万人となりました。

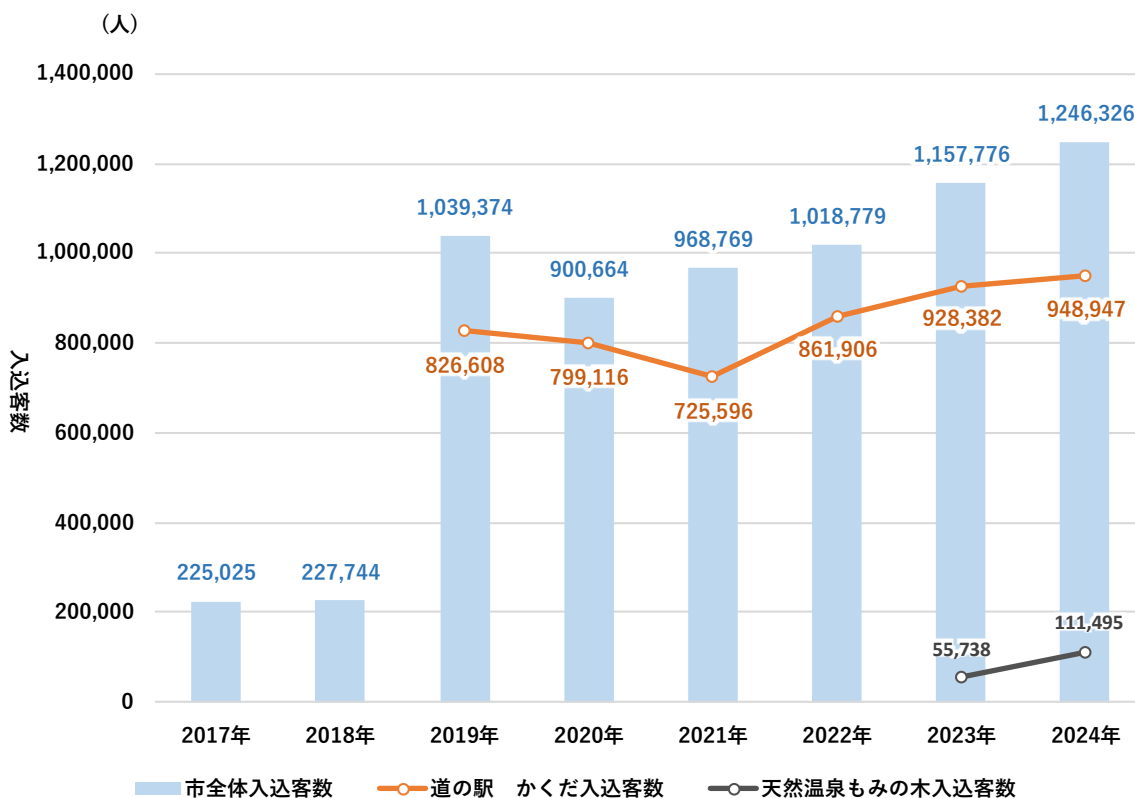


図 観光客入込客数の推移

出典：宮城県観光統計

※「道の駅 かくだ」が2019年オープン、「天然温泉 もみの木」が2023年オープン

1- 6 公共交通の現状

1- 6 - 1 公共交通の概要

- 市内では、阿武隈急行線とデマンド型乗合タクシー「ラビットくん」が運行しています。
- 阿武隈急行線は市内を南北に縦断し、福島市方面・仙台市方面への移動を担います。
- ラビットくんは平日のみ、以下の2種類・5路線に分かれて運行しています。
 - ①まちなかエリアと他4エリアを結ぶ路線
 - ②まちなかエリア内を回遊する路線
- また、令和5年度より試験運行として、阿武隈急行全線フリー切符発売日やイベント開催日などに市内循環バスを運行しており、「角田駅」から「台山公園」、「郷土資料館」、「道の駅かくだ」を循環しています。
- そのほか、市内小・中学校の統廃合の進行に伴い、6校を対象に計12台のスクールバスが運行されており、登下校の足となっています。スクールバスは平日の登下校時間帯に加え、休日においても中学生の部活動を対象として朝夕を中心に運行しています。

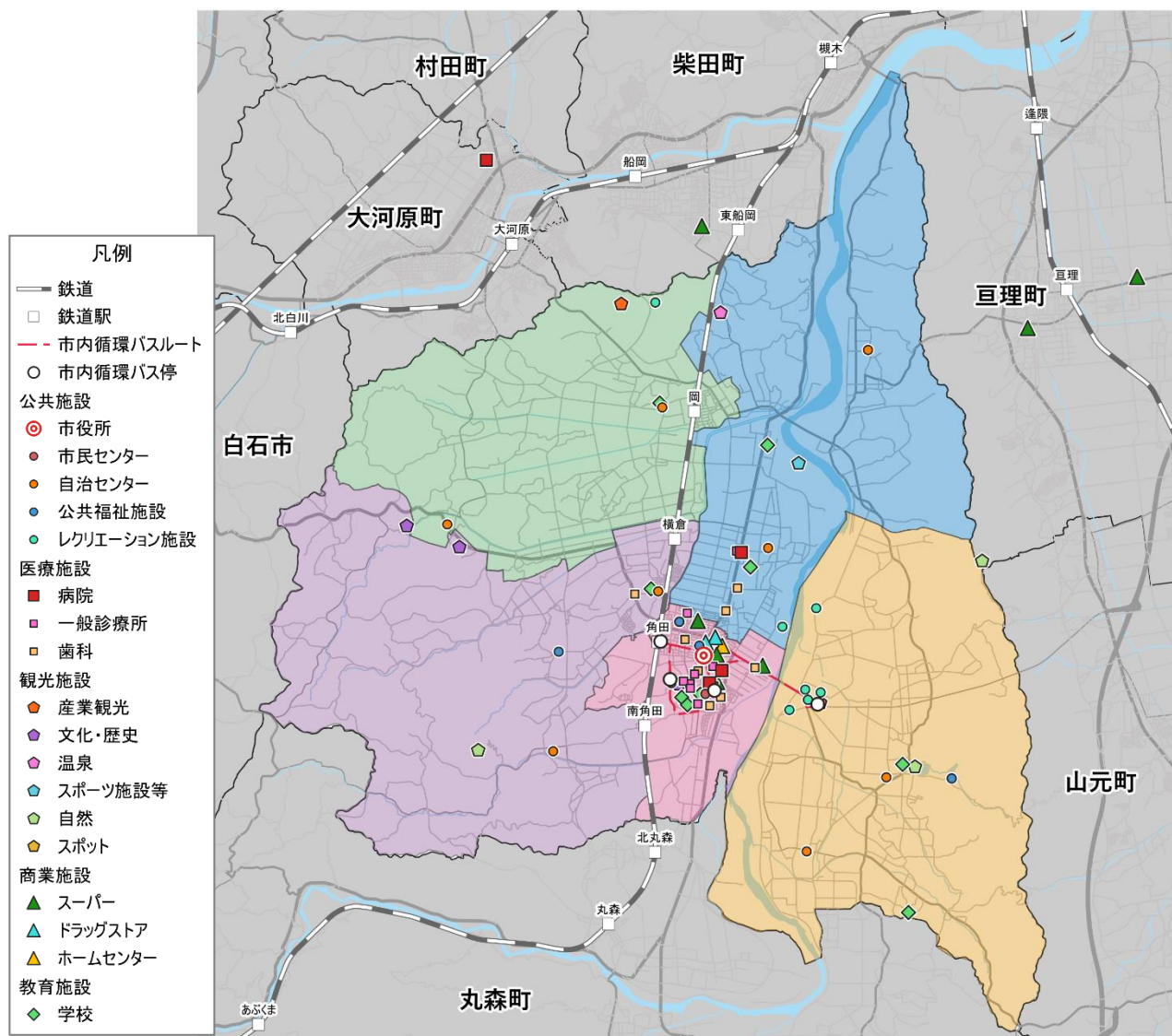


図 市全域の公共交通ネットワークと各種施設の立地状況

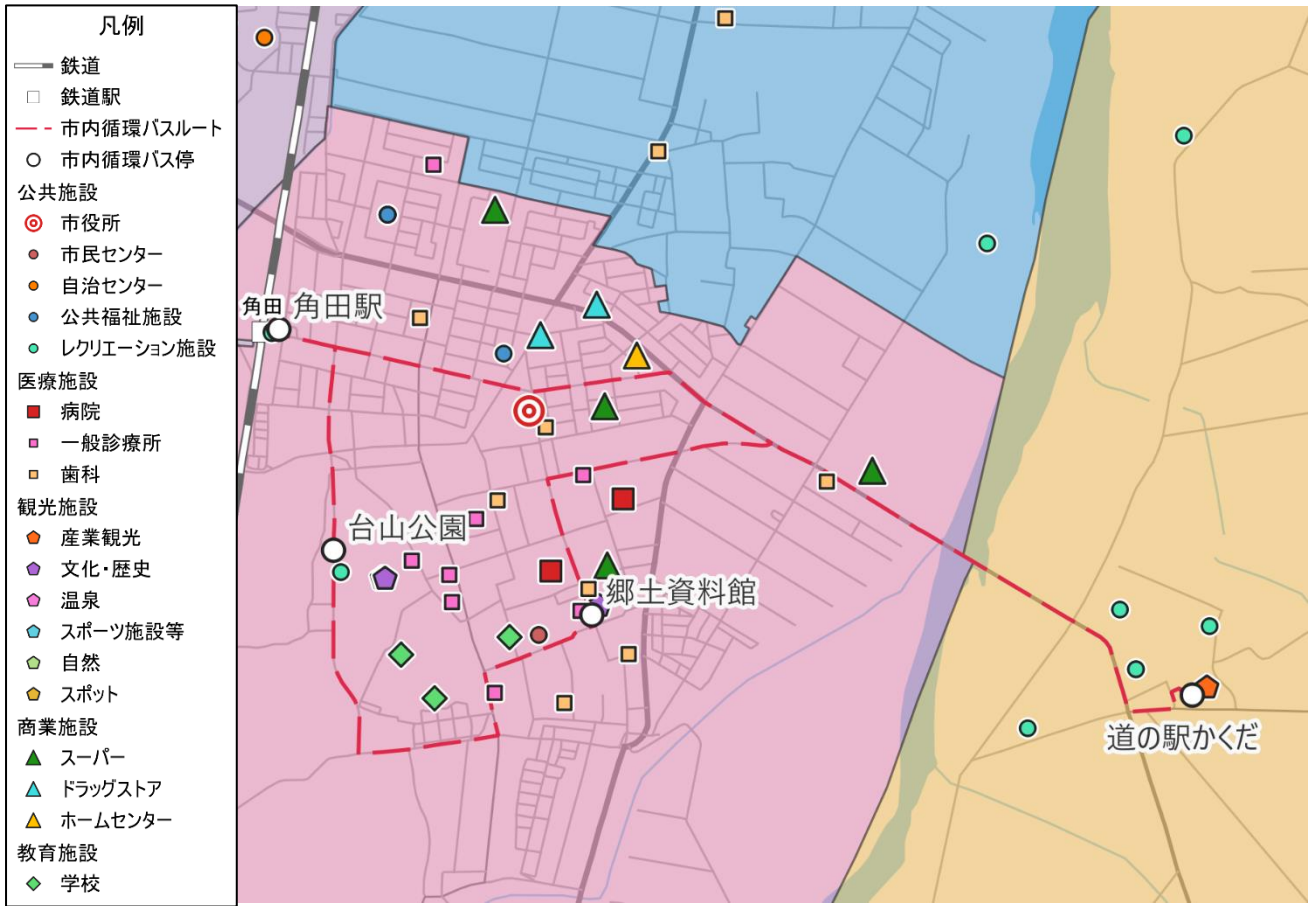


図 市中心部の公共交通ネットワークと各種施設の立地状況

表 阿武隈急行線の運行概要

No.	路線名	運行経路	運行日・運行本数						運行 時間帯	運賃
			平日		土		日・祝			
			上	下	上	下	上	下		
1	阿武隈 急行線	(槻木へ)－岡－横倉 －角田－南角田－(福島へ)	21	20	21	20	21	20	5:51 ～ 23:18	180円 ～ 920円

運行事業者：阿武隈急行株式会社

表 デマンド型乗合タクシー「ラビットくん」の運行概要

No.	路線名	運行エリア (地区)	運行日・運行本数		運行 時間帯	運賃
			平日			
			上	下		
1	北西－まちなか	横倉、北郷 ⇄ 角田	8	8	7:30～ 16:00	400円
2	北東－まちなか	桜、東根 ⇄ 角田			7:30～ 16:00	400円
3	南西－まちなか	小田、西根 ⇄ 角田			7:30～ 16:00	400円
4	南東－まちなか	藤尾、枝野 ⇄ 角田			7:30～ 16:00	400円
5	特別運行	特別運行拠点間			7:30～ 16:00	200円

事業主体：角田市、運営事業者：角田市商工会、運行事業者：(有)草間タクシー・伊具タクシー(有)

表 市内循環バスの運行概要

No.	試験運行名	運行経路	運行日・運行本数		運行 時間帯	運賃
			日・祝			
			循環			
1	市内循環バス	角田駅－台山公園－ 郷土資料館－道の駅 かくだ－角田駅	5※		10:10 ～ 14:15	無料

事業主体：角田市、運行事業者：東北アクセス(株)

※令和7年度は阿武隈急行全線フリー切符発売日や市内イベント開催日に合わせて運行

表 スクールバスの運行概要

No.	通学先	方面	路線	運行日
				平日・土日
				運行本数
1	角田小学校	小田方面	(コース名なし)	朝・夕
2	桜小学校	坂津田・鳩原方面	坂津田・東小坂・鳩原コース	
		西小坂方面	西小坂コース	
3	北郷小学校	毛萱・稲置・高倉方面	A コース	
		笠島・三区・遠山崎方面	B コース	
4	金津小学校	藤田南部方面	藤コース	
		枝野東部方面	枝1 コース	
		枝野西部方面	枝2 コース	
5	角田中学校	藤田北部方面	A コース	
		藤田南部方面	B コース	
		尾山方面	C コース	
		枝野方面	D コース	
6	北角田中学校	毛萱・稲置方面	A コース	
		高倉・笠島方面	B コース	

事業主体：角田市、運行事業者：東北アクセス(株)・(株)ミヤコーバス
 ※令和7年度は年9回のみ市内循環バスとして活用

1-6-2 利用実態

(1) 阿武隈急行線

○利用客の9割近くが角田駅の利用客となっています。また南角田駅について、令和2年度以前は乗降者数が7千人を下回っているのに対して、令和3年度からは毎年1万人を上回る利用が記録されています。

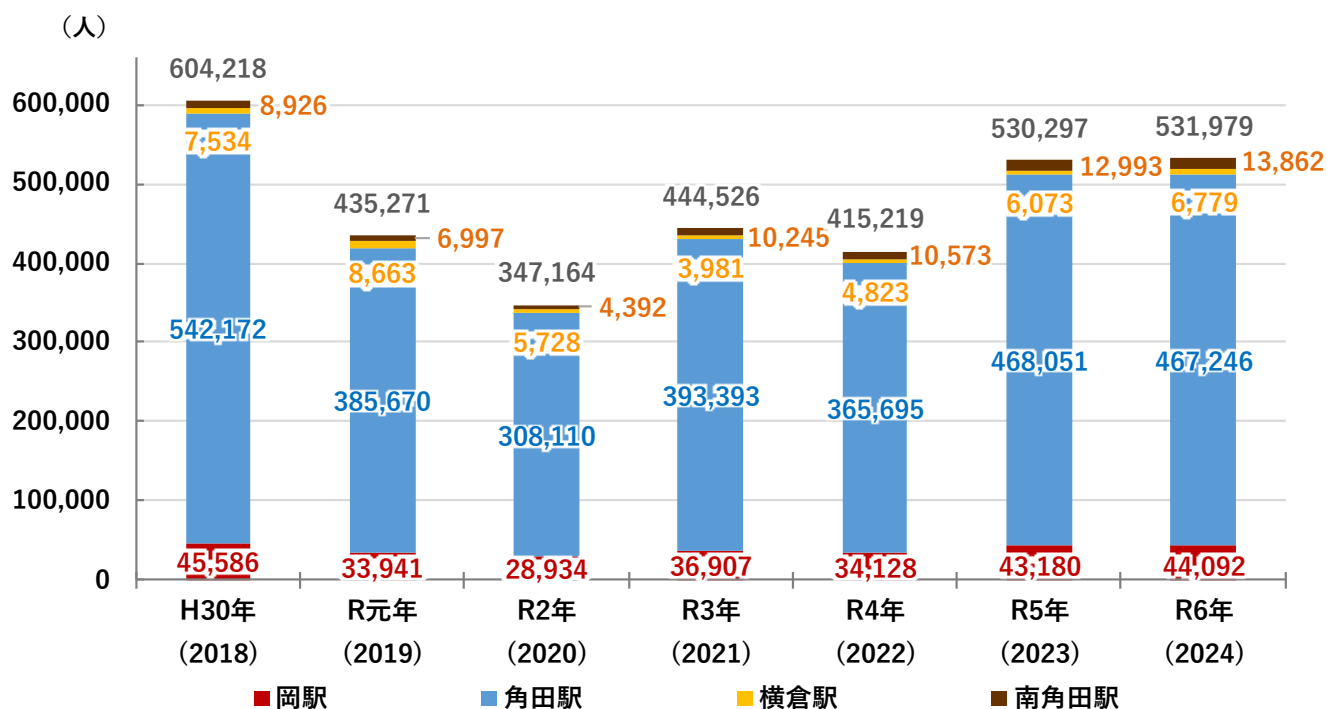


図 市内4駅における年間の乗降者数推移

出典：阿武隈急行株式会社 website

(2) ラビットくん

- アクティブ利用者数（1年間に一度でもラビットくんを利用した登録者の人数）は、全体として減少傾向にあります。令和3年度から毎年減少しており、令和6年度の利用者数は令和元年度比で23.8%減となる550人となっています。
- 新規登録者数は、令和3年度の148人/年を除くと、いずれも70人/年から90人/年程度の範囲に収まっています。
- 乗合率については、9時から11時までと、13時が2人/便以上となっていますが、その他の時間帯では1.5人/便を下回っています。特に、7時台はほぼ1人での利用となっています。
- 詳細の利用状況については、「3. ラビットくんの乗降データ分析結果」にて別途記載しています。

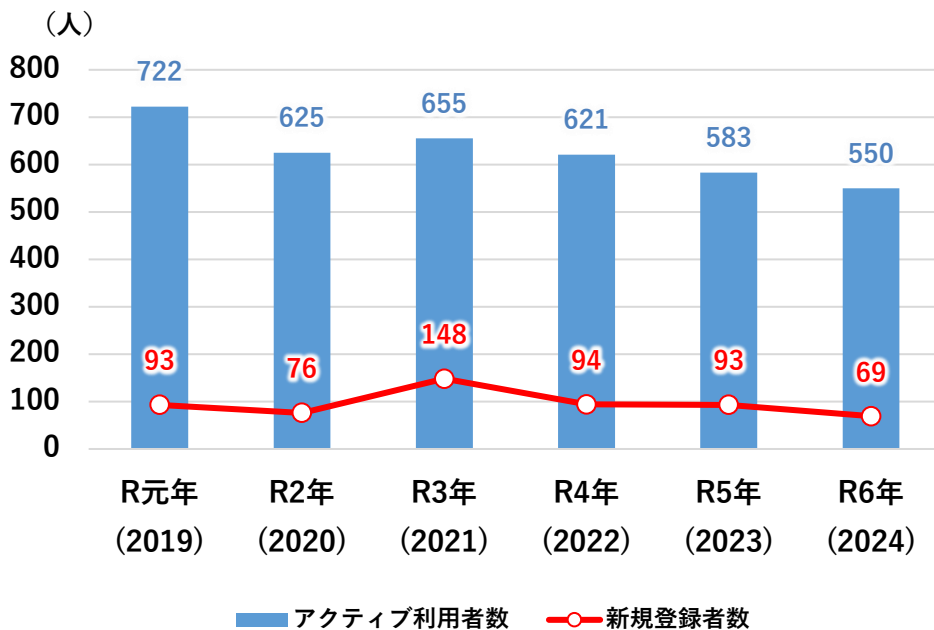


図 ラビットくんの年間利用者数と新規登録者数の推移

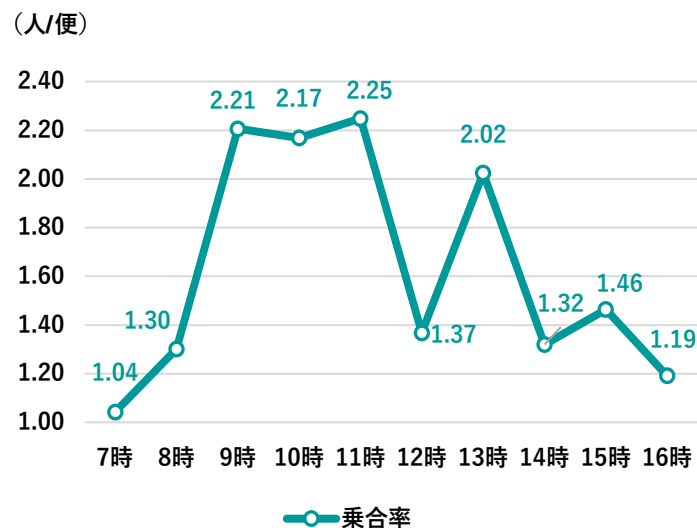


図 ラビットくんの時間帯毎における乗合率

(3) 市内循環バス

- 年間の乗車人数推移をみると、運行を開始した令和5年度から毎年乗車人数が増加しています。令和7年度には令和5年度の3倍以上となる332人が利用しました。
- 令和7年度における月毎の乗車人数をみると、日当たり利用者平均、乗車人数ともに10月が最も多くなっています。また、9月までは最大23人だったのに対し、10月以降は毎月40人以上と、乗車人数に大きな差が出ています。なお、1日の利用者数が最も多かったのは10月13日の108人でした。
- また、便毎の平均乗車人数については、3便が8.6人/便と最も多いものの、5便の5.4人/便を除き、他の便も7.6人/便や7.7人/便と大きな差はありませんでした。

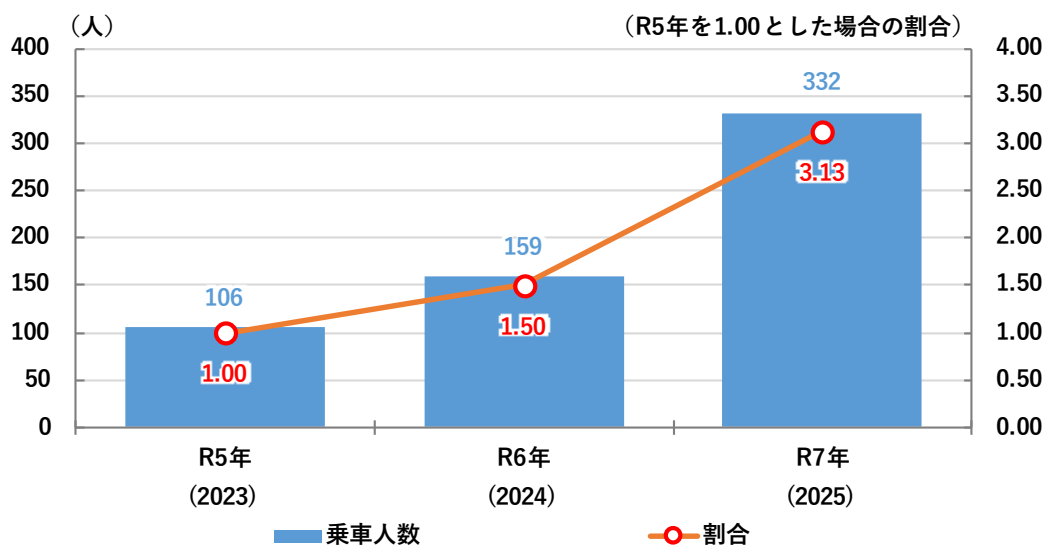


図 市内循環バスの年間の乗車人数推移

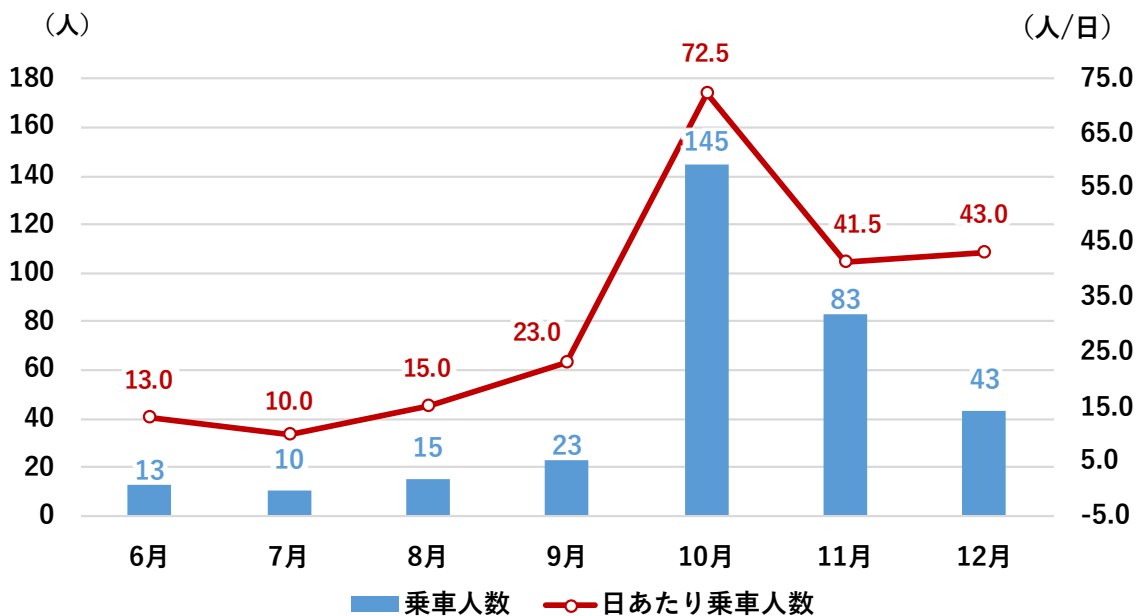


図 令和7年における市内循環バスの月別乗車人数と日あたり乗車人数平均の推移

表 令和7年における運行日毎の市内循環バス乗車人数

運行日	角田駅	台山公園	郷土資料館	道の駅 かくだ	合計人数
6月14日(土)	6	0	0	7	13
7月6日(日)	4	2	0	4	10
8月3日(日)	7	2	0	6	15
9月7日(日)	12	1	2	8	23
10月5日(日)	19	4	0	14	37
10月13日(月・祝)	28	22	26	32	108
11月2日(日)	24	14	1	30	69
11月16日(日)	6	0	0	8	14
12月7日(日)	26	0	0	17	43

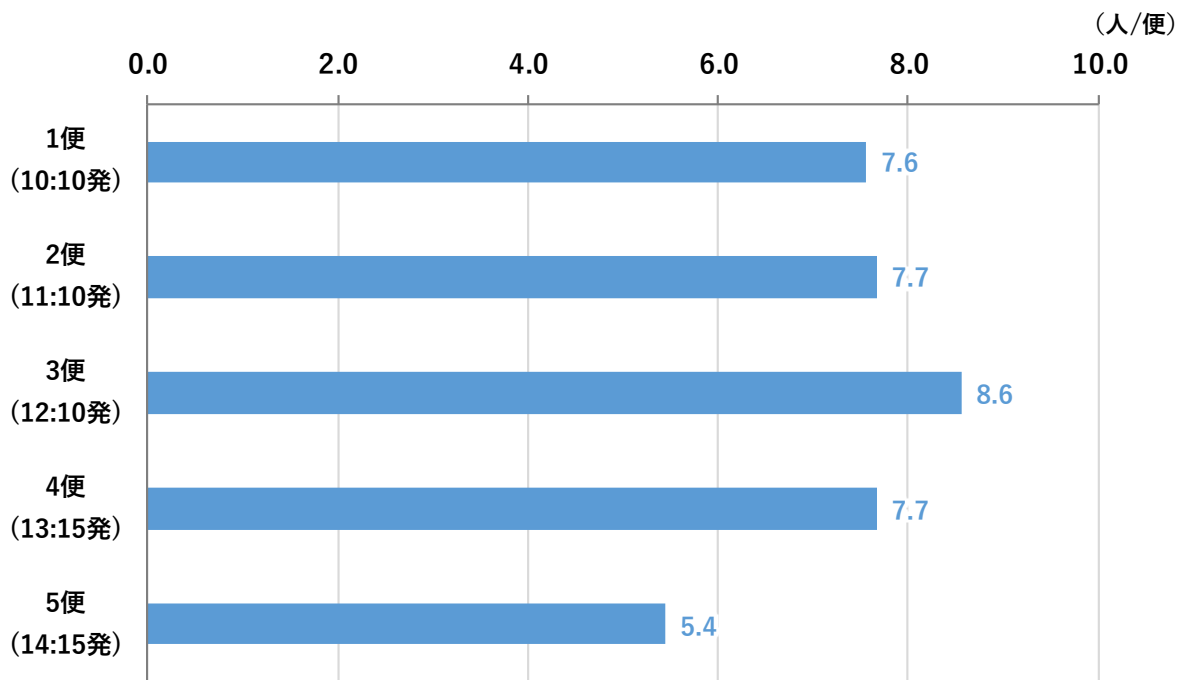


図 令和7年における市内循環バスにおける便毎の平均乗車人数

1-6-3 収支状況

(1) ラビットくん

- 運賃収入は、平成30年度と令和4年を除くと6,500千円程度で横ばい状態にあります。
- 一方で運行経費については、令和元年度以降、緩やかな増加傾向にあります。令和元年度を除き毎年度上昇しており、令和6年度は32,894千円と元年度と比べ7.6%増加となっています。

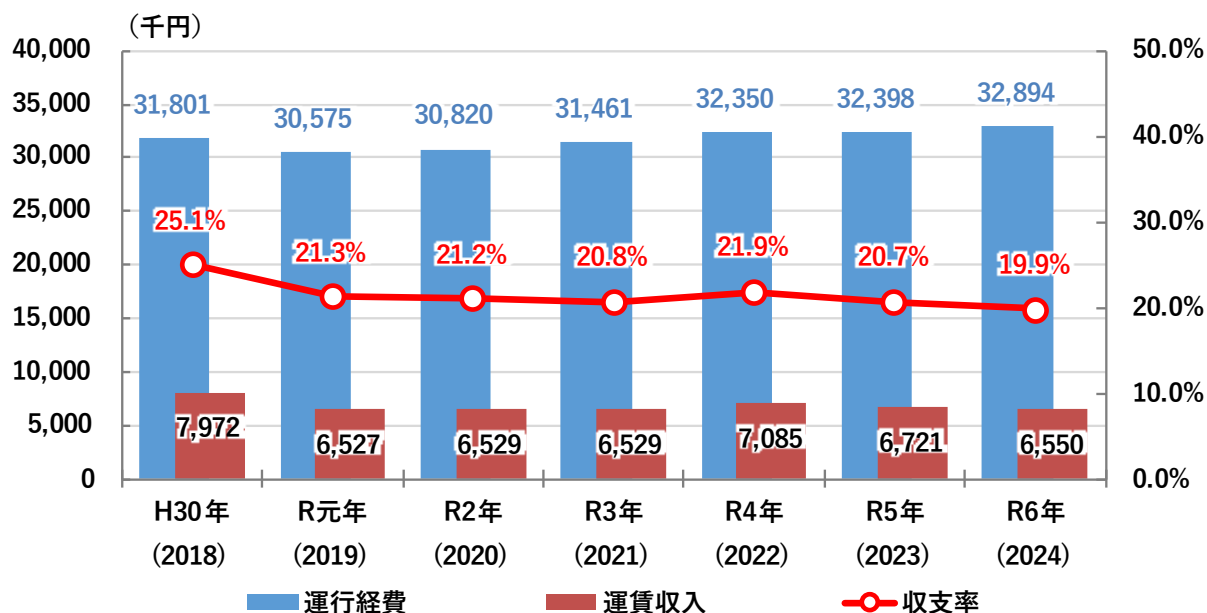


図 ラビットくんの収支

- 運行委託料をみると、令和元年度を除いて増額傾向にあります。平成30年度と比べ、令和6年度の委託料は、12.9%増加となりました。なお令和8年度以降は、経費の見直しにより、大幅な増額が見込まれています。

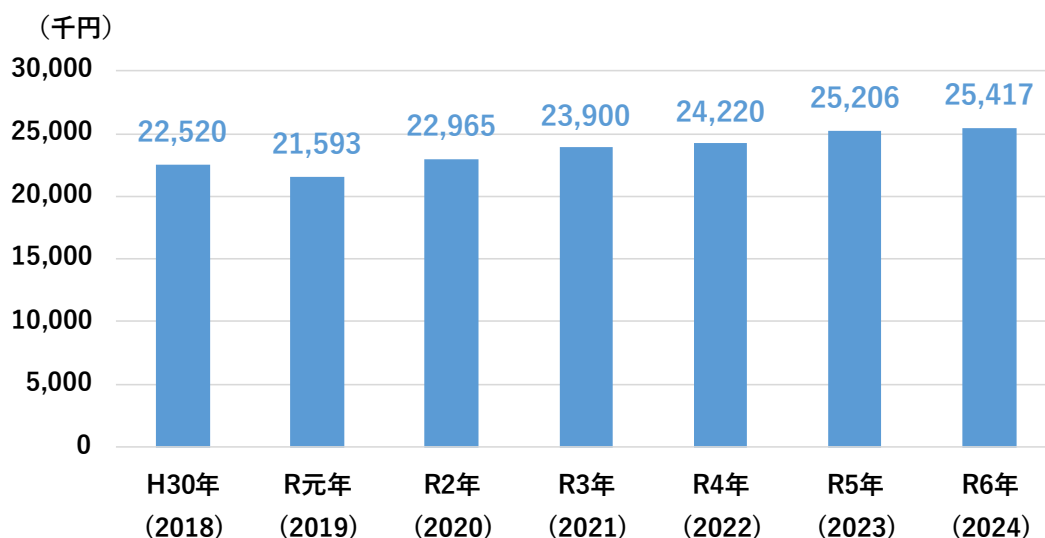


図 ラビットくんの委託料推移

(2) 市内循環バス

○委託料は、運行を開始した令和5年度から運行日・便数の見直しにより、2年連続で上昇しています。

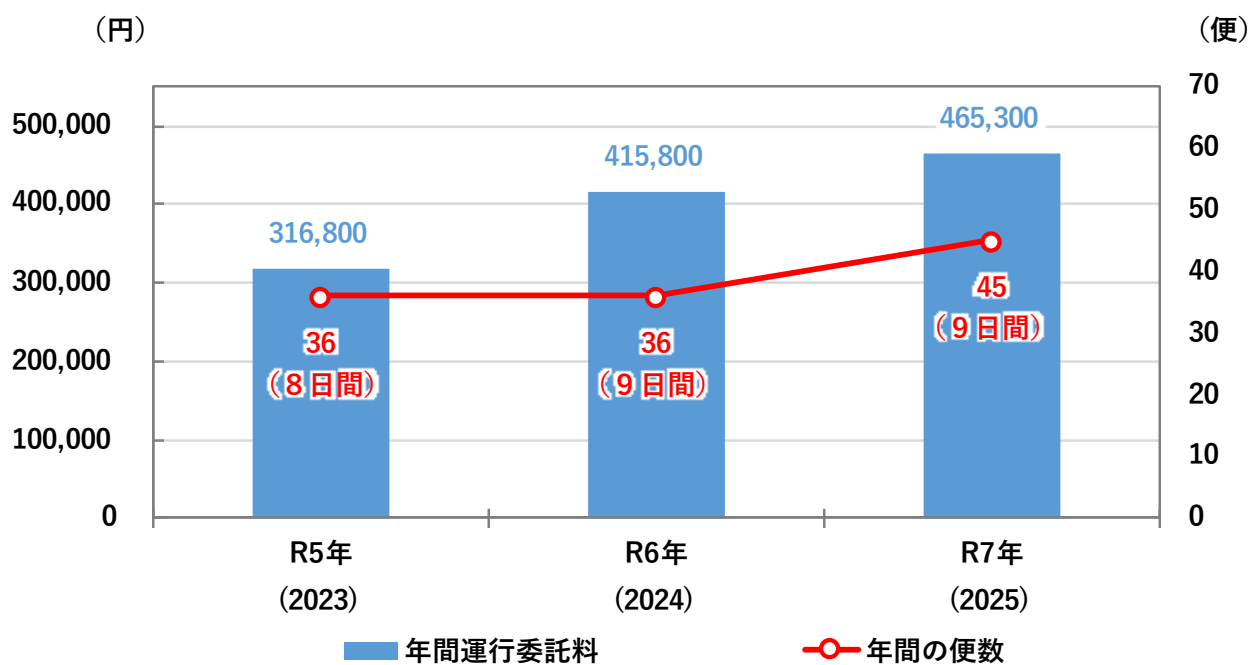


図 市内循環バスの委託料推移

2. 住民・ラビットくん利用者アンケート調査結果

2-1 令和7年度住民アンケート調査

2-1-1 調査概要

○住民アンケートの実施概要は、以下のとおりです。

表 住民アンケート調査の実施概要

項目	概要
調査の対象	市内に在住する18歳以上90歳以下の男女 ※無作為抽出
調査期間	令和7年10月15日～令和7年11月4日
実施方法	郵送配布、郵送・WEB回収
配布票数	2,000票
回収票数	981票（回収率：49.1%）
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 買い物、通院、通学など、日常生活での移動実態・ 公共交通の利用実態・ 公共交通への関わり方・ 地域の公共交通として求められる取り組み・ 回答者の基本属性

2-1-2 日々の買い物を目的とした外出について

(1) 日々の買い物を目的とした外出の有無

○日々の買い物を目的とした外出では、「外出している」が91.7%（900人）と最も高く、次いで「外出していない」が6.5%（64人）と続いています。

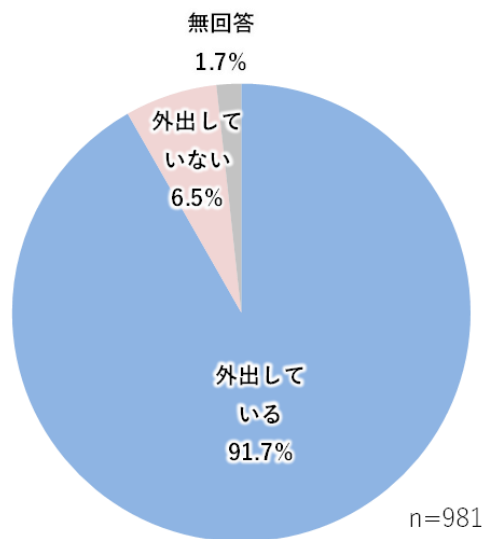


図 日々の買い物を目的とした外出の有無

出典：住民アンケート調査

(2) 買い物の外出頻度

○1 か月間の買い物外出頻度では、「週1～2日」が38.4%（346人）と最も高く、次いで「週3～4日」が35.2%（317人）と続いています。

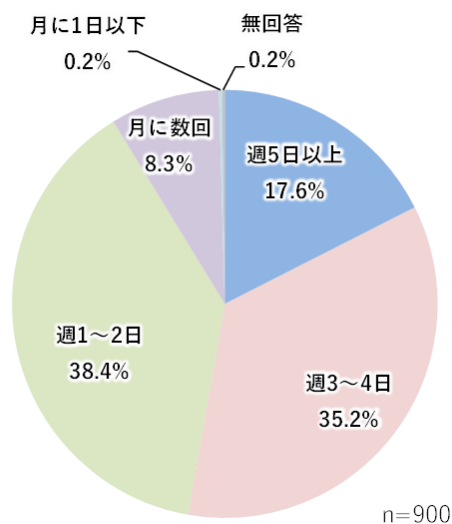


図 1 か月間における買い物の外出頻度

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

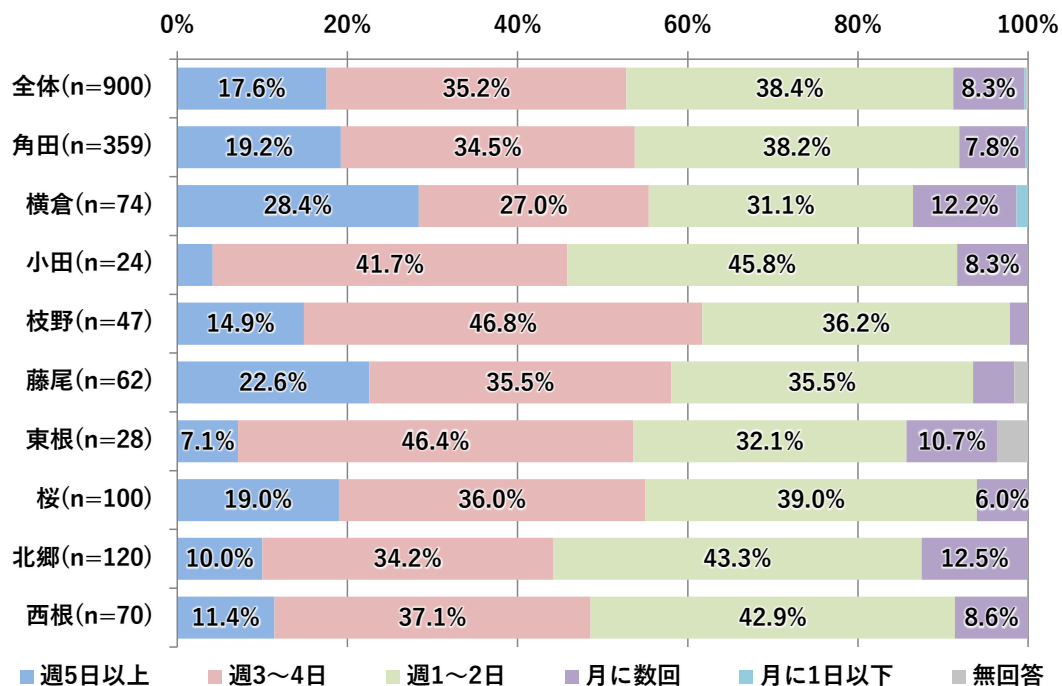


図 地区毎の1 か月間における買い物の外出頻度

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

※5.0%未満は、ラベル非表示

(3) 買い物先（市町村）

- 日々の買い物での主な行先では、「市内」が89.1%（802人）と高く、9割近くを占めています。
- 市外の内訳では、「柴田町」が46.3%（94人）と最も高く、次いで「大河原町」が23.2%（47人）と続いています。

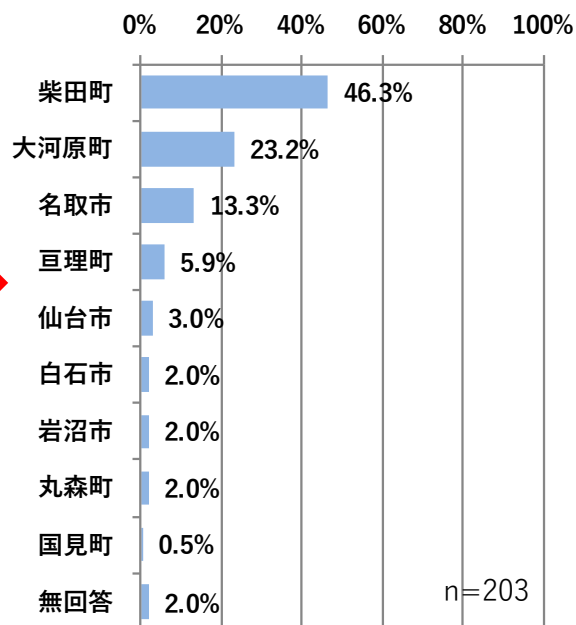
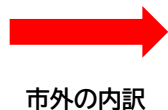
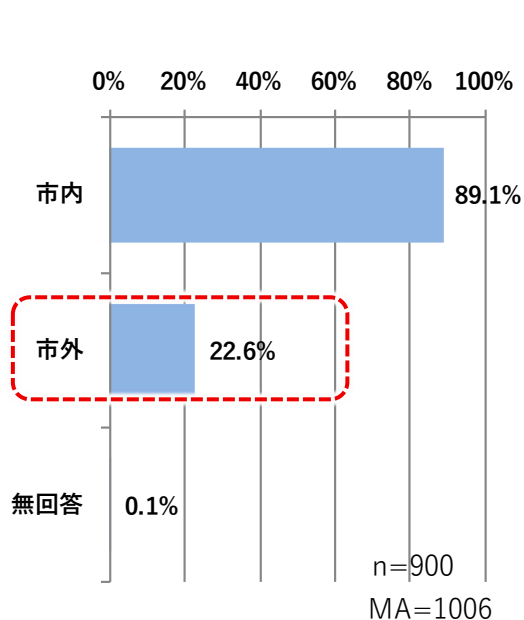


図 日々の買い物での行き先（市内・市外）

出典：住民アンケート調査
※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

図 市外での主な買い物先（市町村名）

出典：住民アンケート調査
※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

(4) 買い物先 (店舗名)

○地区によって主な利用店舗が分かれています。なお、東根・北郷・西根地区においては「市外」への移動割合が高くなっています。

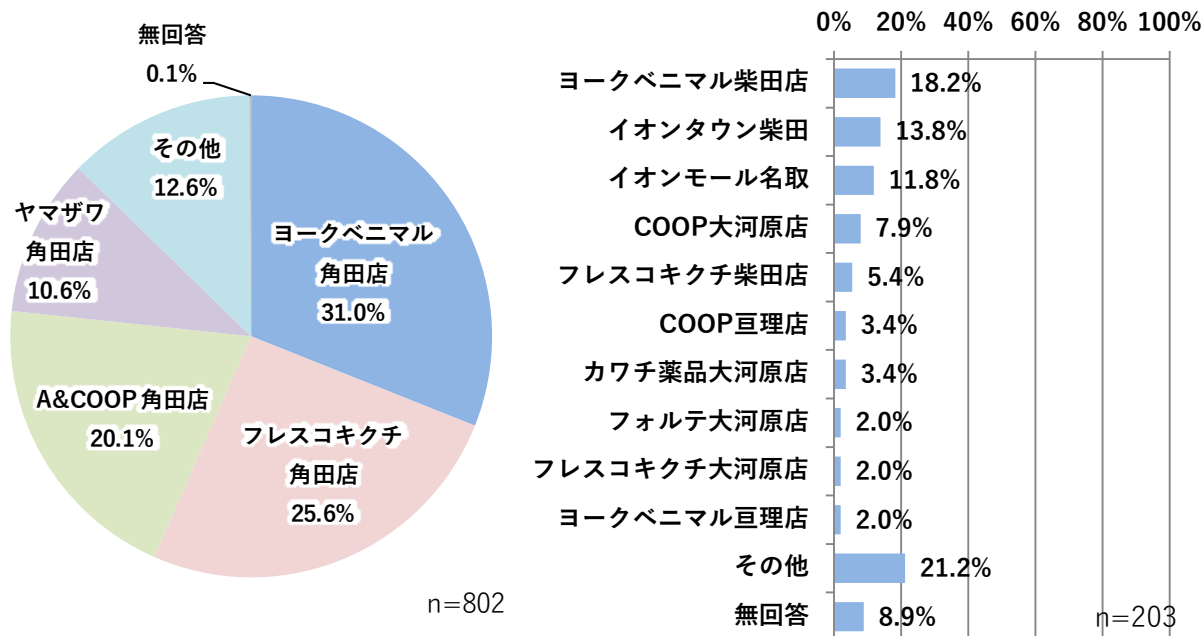


図 角田市内での主な買い物先店舗

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答し、かつ買い物先(市町村)で「市内」と回答した方のみ

図 角田市外での主な買い物先店舗

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答し、かつ買い物先(市町村)で「市内」と回答した方のみ

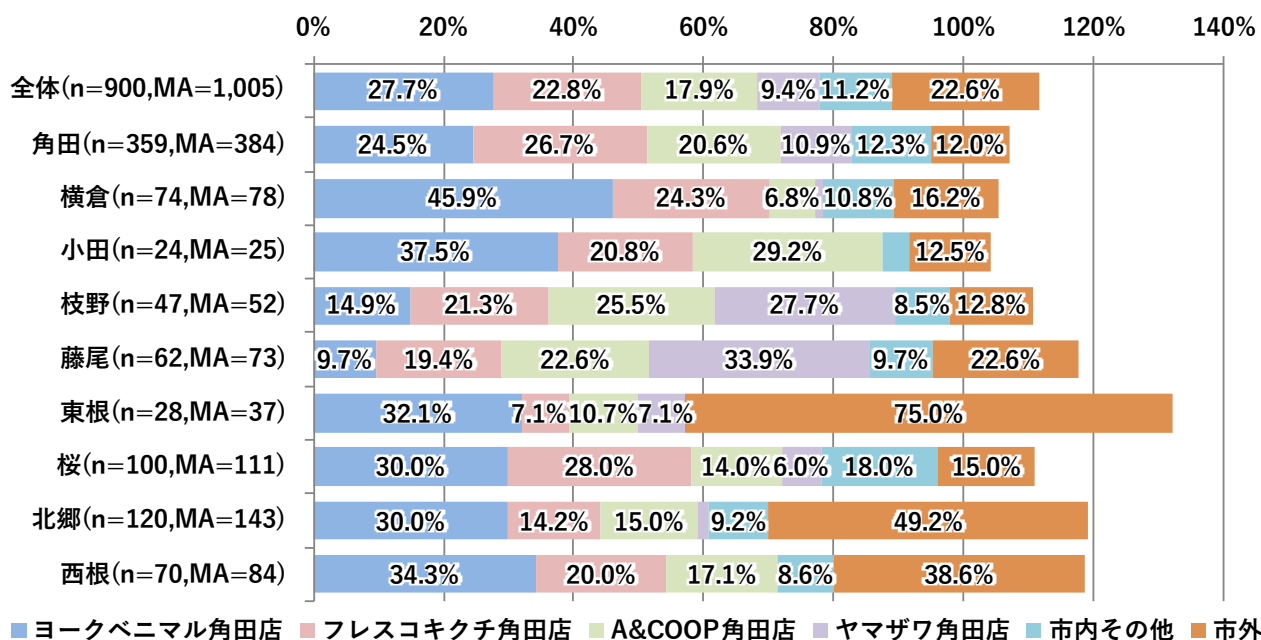


図 地区別日々の買い物での主な行先

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

※MAは重複を含めた回答総数

※5.0%未満は、ラベル非表示

※無回答は非表示

(5) 買い物先への移動手段

○買い物先への主な移動手段では、「自家用車（自分で運転）」が85.9%（773人）で最も多くなっています。鉄道・バス、タクシー、原付・バイクの利用はいずれも数%程度にとどまっています。

○70歳以上の移動手段は、全体と同じく自家用車での移動が多いものの、徒歩や自転車での移動が増えています。

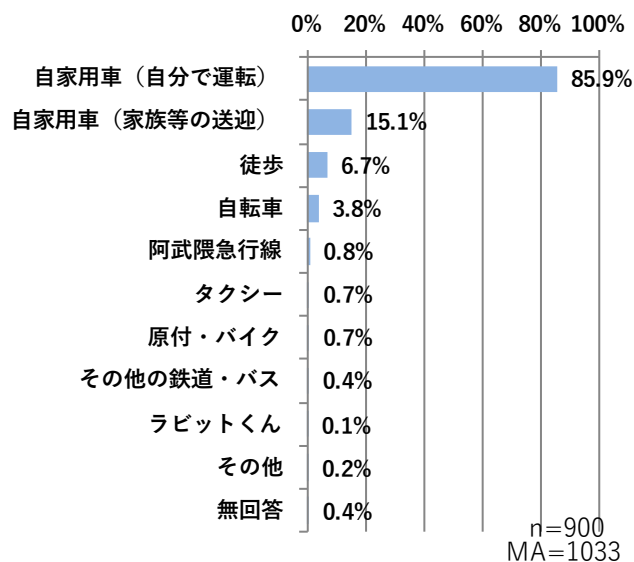


図 買い物先への主な移動手段

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

※MAは重複を含めた回答総数

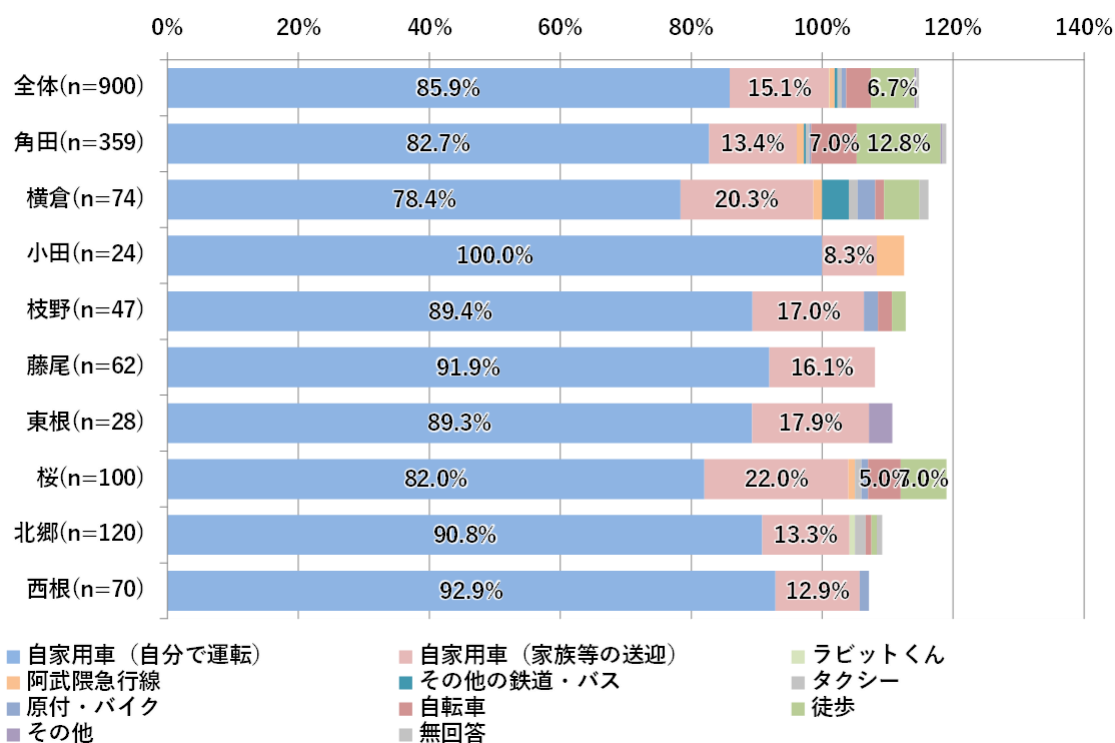


図 地区毎の買い物先への主な移動手段

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

※5.0%未満は、ラベル非表示

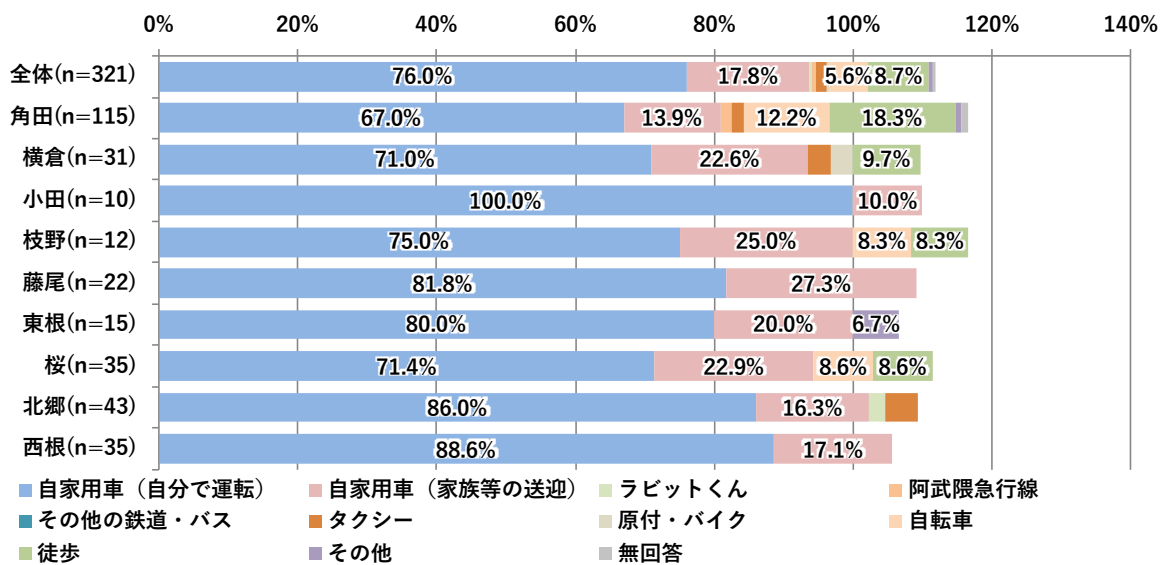


図 地区別買い物先への主な移動手段（70歳以上）

出典：住民アンケート調査

※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した人のみ

※5.0%未満は、ラベル非表示

(6) 買い物外出時の出発時間と帰宅時間

- 買い物外出時の出発時間帯では、「10：00～11：00」が29.2%（263人）と最も高く、次いで「9：00～10：00」が14.0%（126人）と続いています。
- 買い物外出後の帰宅時間帯では、「11:00～12:00」が19.1%（172人）と最も高く、次いで「12:00～13:00」が15.4%（139人）と続いています。

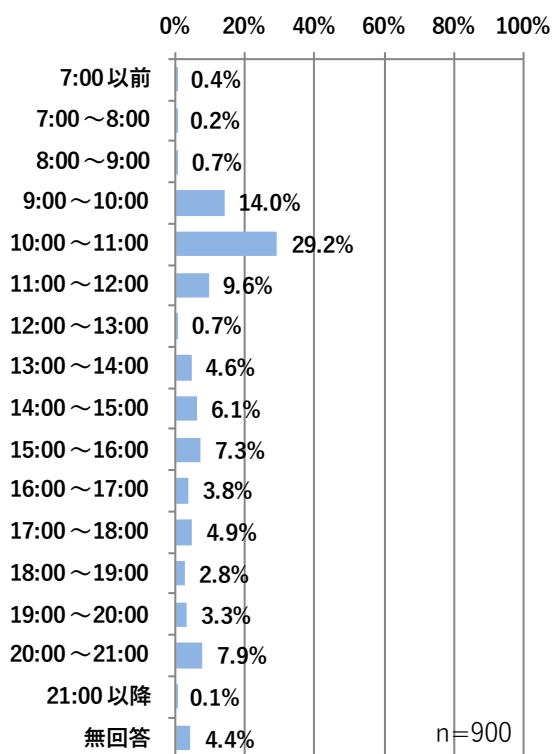


図 買い物外出時の出発時間

出典：住民アンケート調査
 ※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

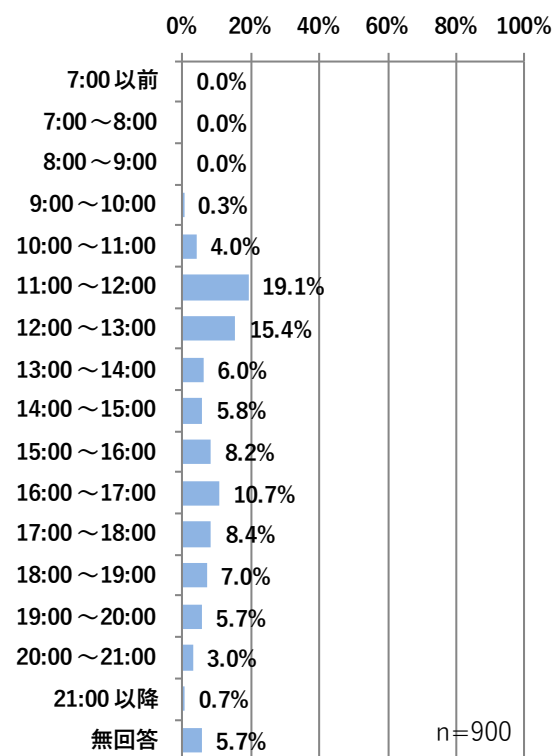


図 買い物外出時の帰宅時間

出典：住民アンケート調査
 ※日々の買い物を目的として「外出している」と回答した方のみ

(7) 買い物支援サービスの利用有無とサービス内容

- 買い物支援サービスを「利用している」と回答しているのは、4.9% (48人)でした。
- このうちサービス内容については、「食品宅配サービス」が81.3% (39人)と最も高く、次いで「移動販売車」が6.3% (3人)と続いています。
- サービス名としては、「COOP 宅配」が81.3% (39人)と最も高く、次いで「ヨシケイ」が4.2% (2人)と続いています。

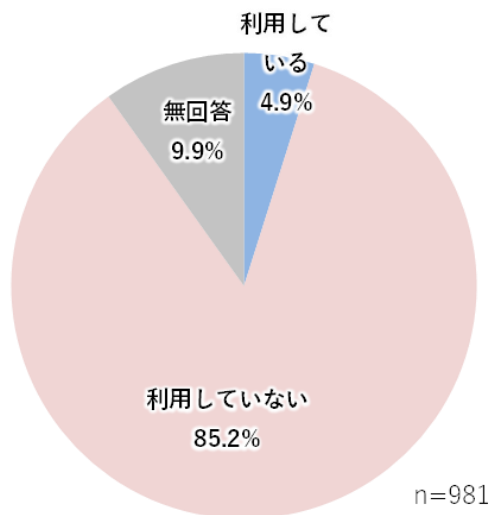


図 買い物支援サービスの利用状況

出典：住民アンケート調査

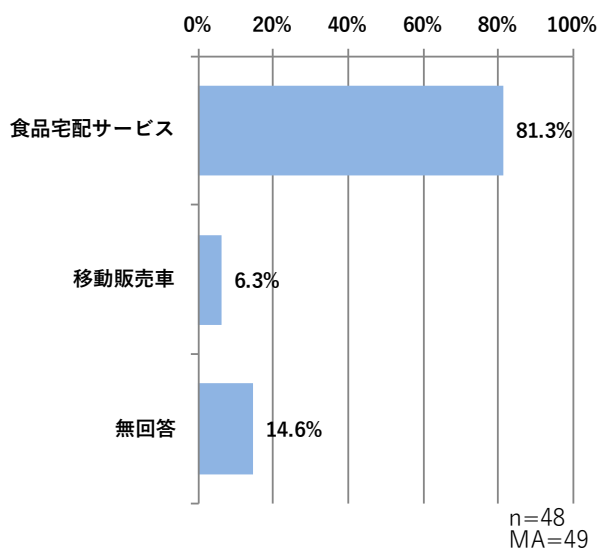


図 利用中のサービス内容（買い物支援）

出典：住民アンケート調査

※サービスを利用していると回答した方のみ

※MA は重複を含めた回答総数

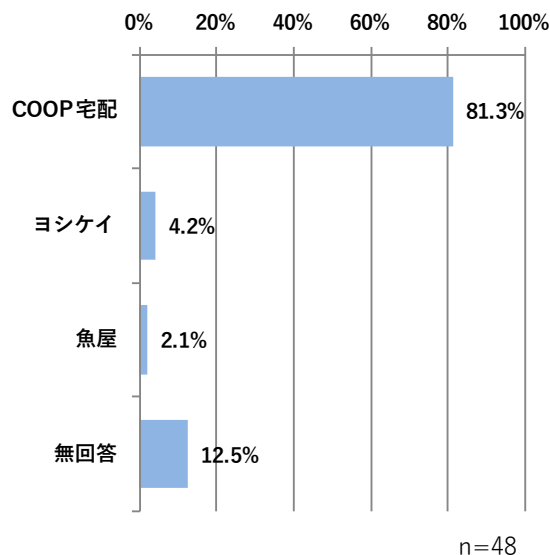


図 利用中の買い物支援サービス名

出典：住民アンケート調査

※サービスを利用していると回答した方のみ

2-1-3 定期的な通院について

(1) 定期的な通院の有無

○定期的に「通院している」と回答したのは 65.0% (638 人) でした。

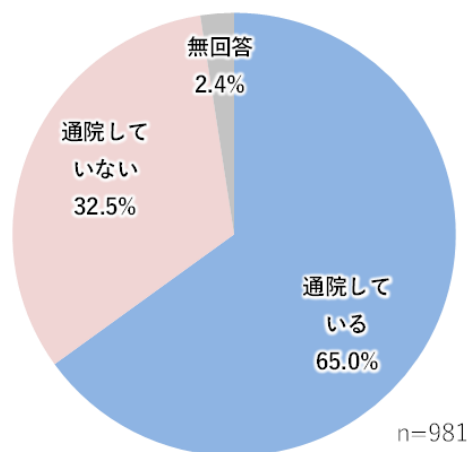


図 定期的な通院の有無

出典：住民アンケート調査

(2) 通院の頻度

○通院頻度は、全ての地区で「月に1日以下」が最も多く、次いで「月に数回」と続いています。

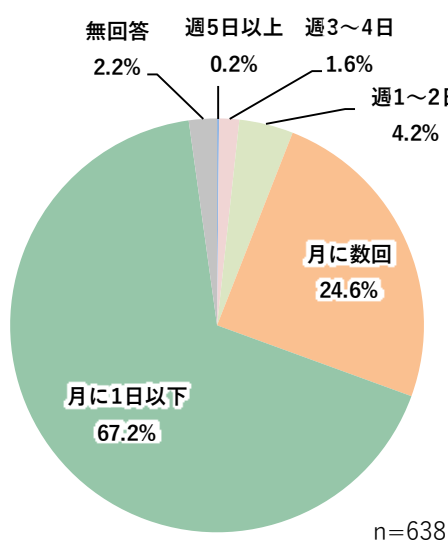


図 1 か月間における通院外出頻度

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答した方のみ

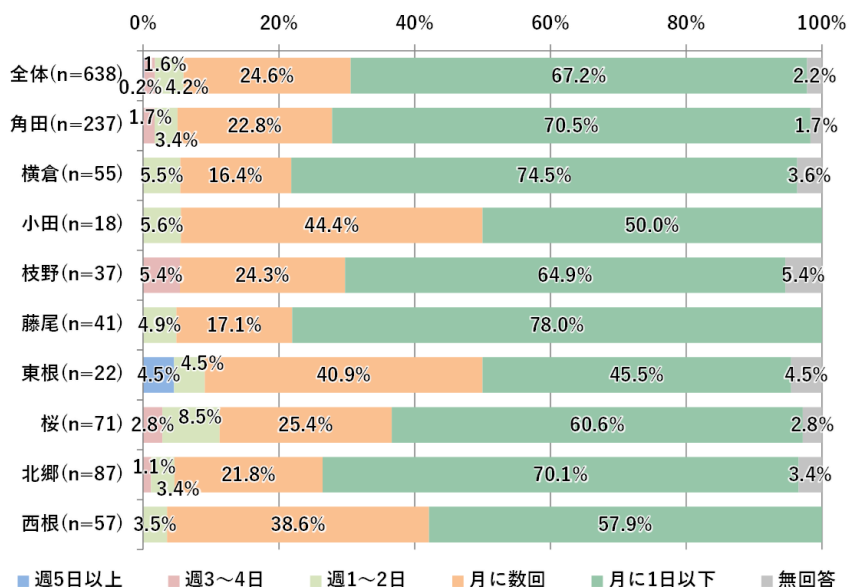


図 地区毎の1 か月間における通院外出頻度

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答した方のみ

(3) 通院先の医療機関名

○通院先について、全体では金上病院が最も多く、県南中核病院・名取医院・同済病院と続いています。多くの地区で金上病院が最も多いものの、桜、北郷地区では同済病院の回答が比較的多く、北郷、西根地区では県南中核病院の回答が比較的多い状況です。

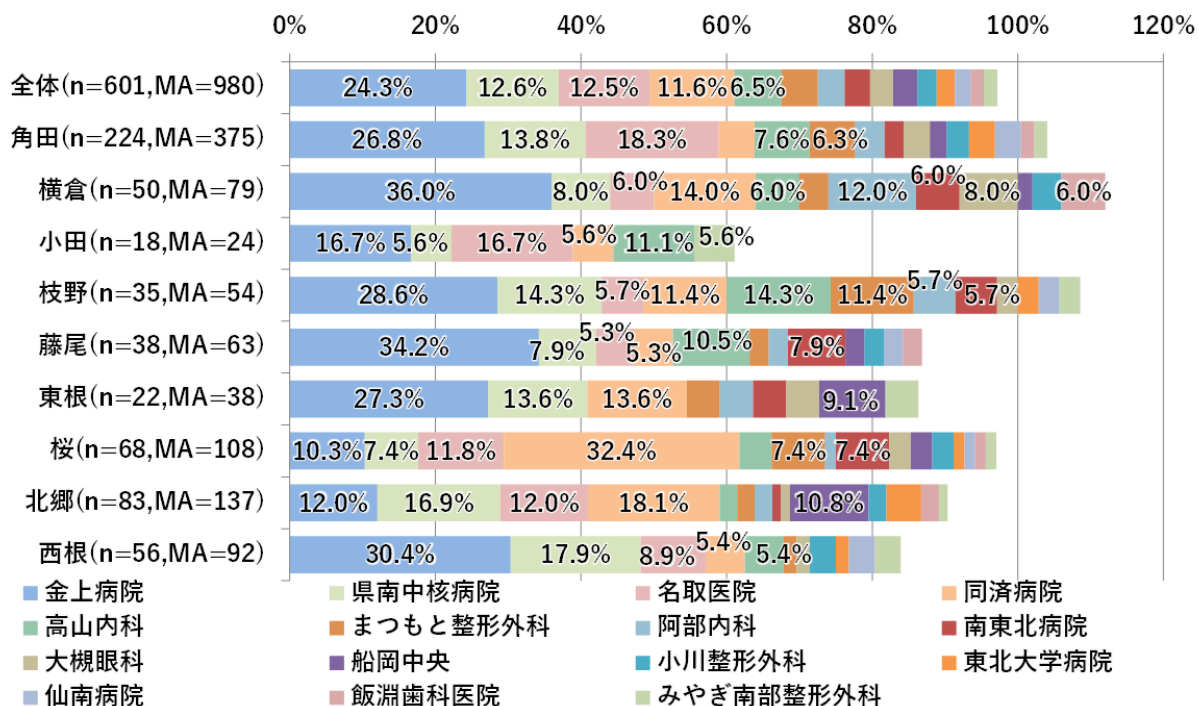


図 地区毎の通院の目的地

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答し、通院先名を回答している人のみ

※通院機会が最も多い、2番目に多いと回答した通院先を合算

※MAは重複を含めた回答総数

※表示は、TOP15の病院を表示し、その他、無回答は非表示

※5.0%未満はラベル非表示

(4) 通院先への移動手段

○通院先への移動手段では、「自家用車（自分で運転）」が78.2%（499人）と最も高く、次いで「自家用車（家族等の送迎）」が17.2%（110人）と続いています。

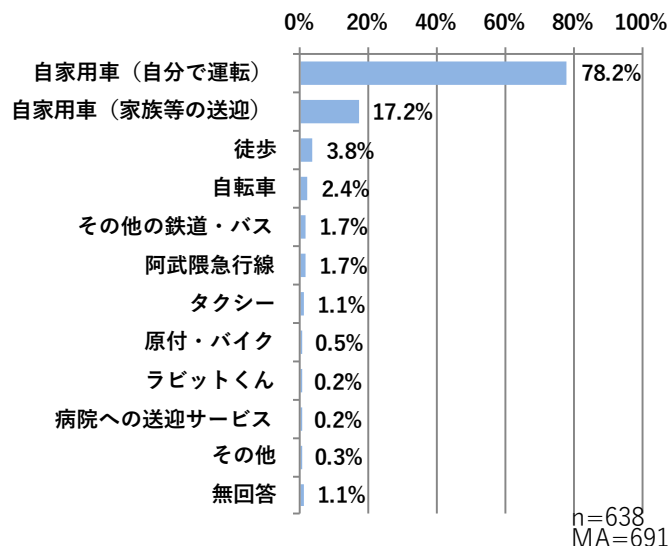


図 通院先への移動手段

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答した方のみ

※MAは重複を含めた回答総数

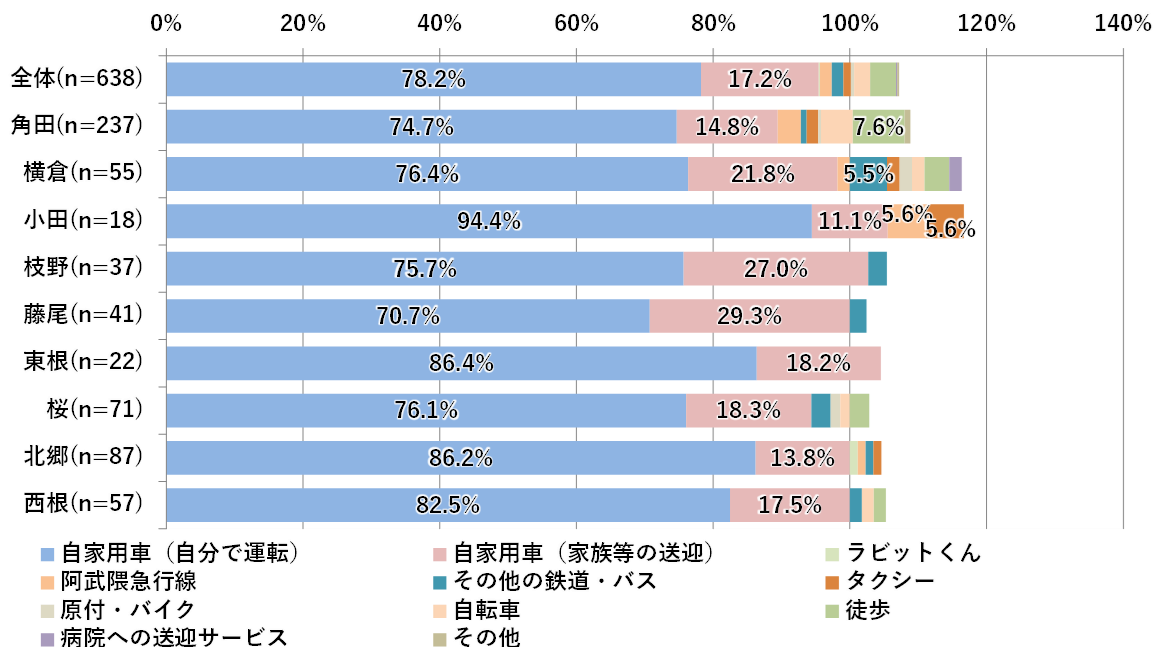


図 地区毎の通院先への移動手段

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答している人のみ

※通院機会が最も多いと回答した通院先への移動手段を合算

※MAは重複を含めた回答総数

※5.0%未満はラベル非表示※無回答は非表示

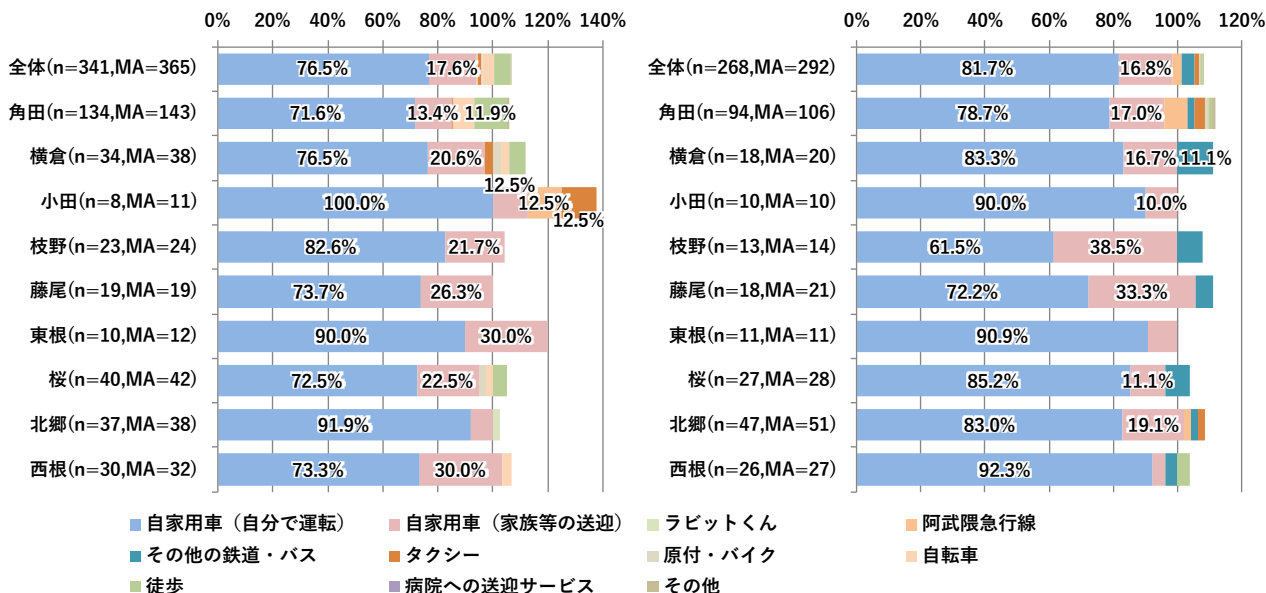


図 地区毎の市内の通院先への移動手段（左）と市外の通院先への移動手段（右）

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答した方のうち、通院先の市町村名を回答している人のみ

※通院機会が最も多いと回答した通院先への移動手段を合算

※MA は重複を含めた回答総数

※10.0%未満はラベル非表示※無回答は非表示

- 70 歳以上の移動手段をみると、自分で運転する方が少なくなり、家族等の送迎が多くなっています。また自転車や徒歩で移動する方が全体より多くなっています。
- 市内の通院先は 8 割近くが自分の運転で通院しているものの、市外の通院先には家族等に送迎や、その他の鉄道・バスの利用が多くなる傾向があります。

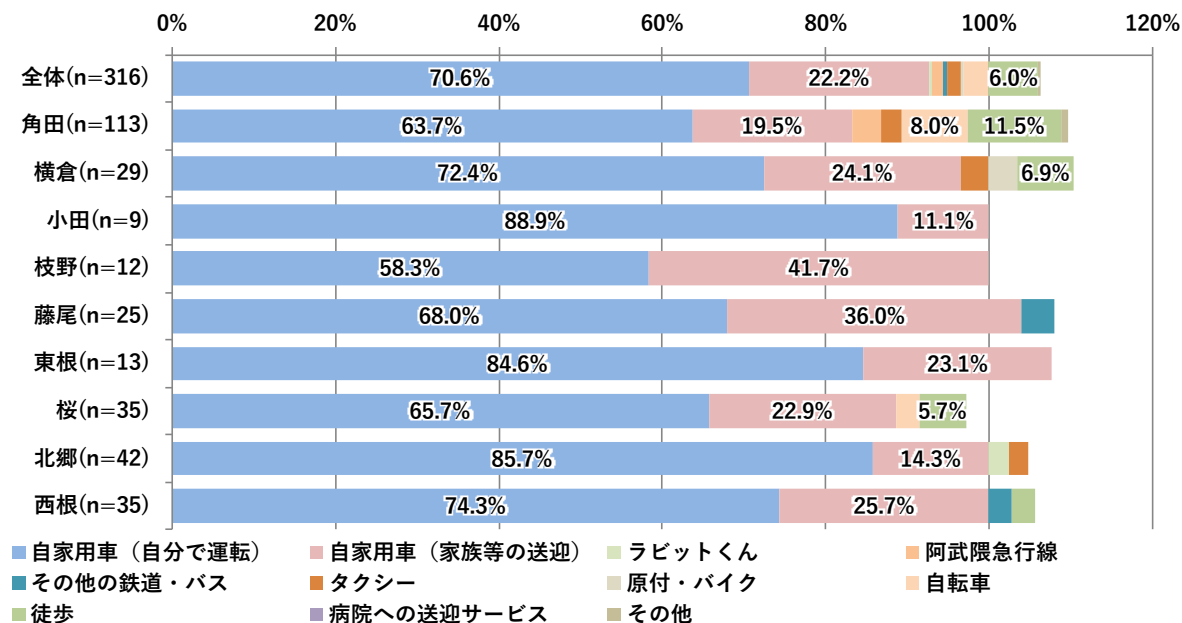


図 地区毎の通院先への移動手段（70 歳以上）

出典：住民アンケート調査

※定期的に通院していると回答した方のうち、70 歳以上の人のみ

※通院機会が最も多いと回答した通院先への移動手段を合算

※MA は重複を含めた回答総数※5.0%未満はラベル非表示

(5) 通院外出時の出発時間と帰宅時間

- 通院時の出発時間帯では、「8:00～9:00」が29.3%（187人）と最も高く、次いで「9:00～10:00」が25.1%（160人）と続いています。通院している方の8割以上が午前中に自宅を出発していることが確認できます。
- 一方で帰宅時間帯では、「11:00～12:00」が24.3%（155人）と最も高く、次いで「12:00～13:00」が19.3%（123人）と続いています。12時までの回答が4割以上ある一方で、14時以降の回答も2割以上確認できます。

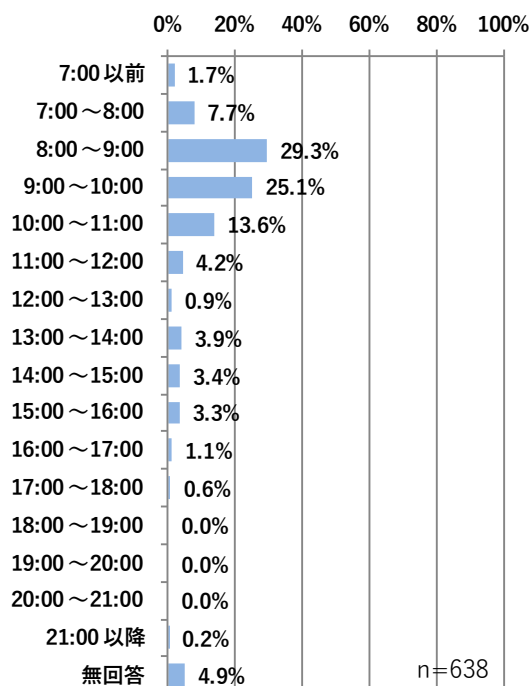


図 通院先へのお出発時間

出典：住民アンケート調査
※定期的に通院していると回答した方のみ

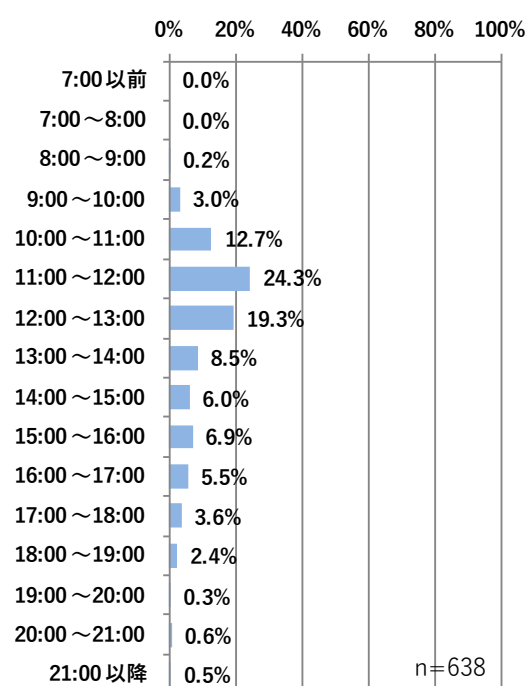


図 通院先からの帰宅時間

出典：住民アンケート調査
※定期的に通院していると回答した方のみ

(6) 往診等の支援サービスの利用有無とサービス内容

○往診サービスを「利用している」と回答したのは0.6%（6人）でした。

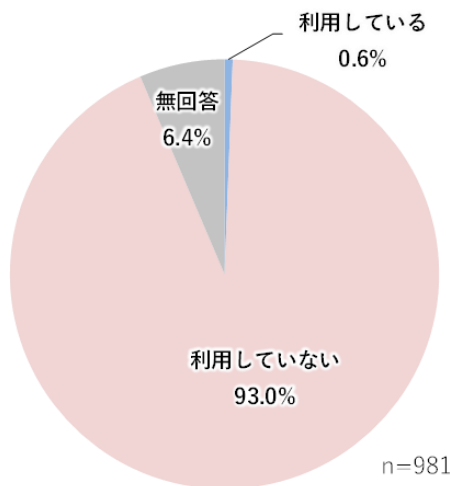


図 往診サービスの利用状況

出典：住民アンケート調査

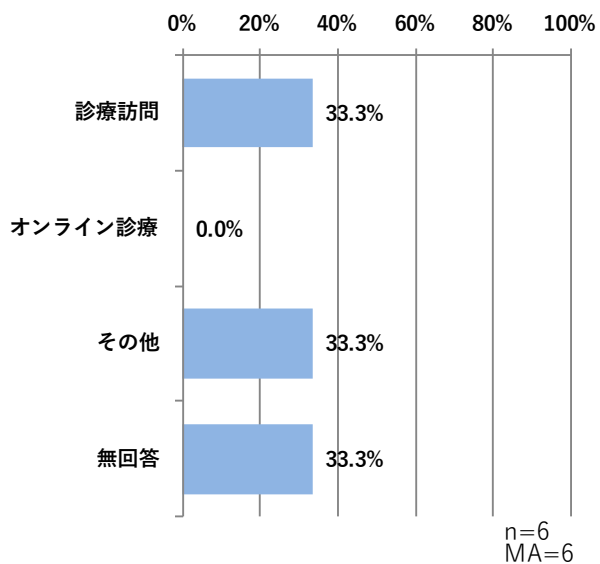


図 利用中のサービス内容

出典：住民アンケート調査

※サービスを利用していると回答した方のみ

※MAは重複を含めた回答総数

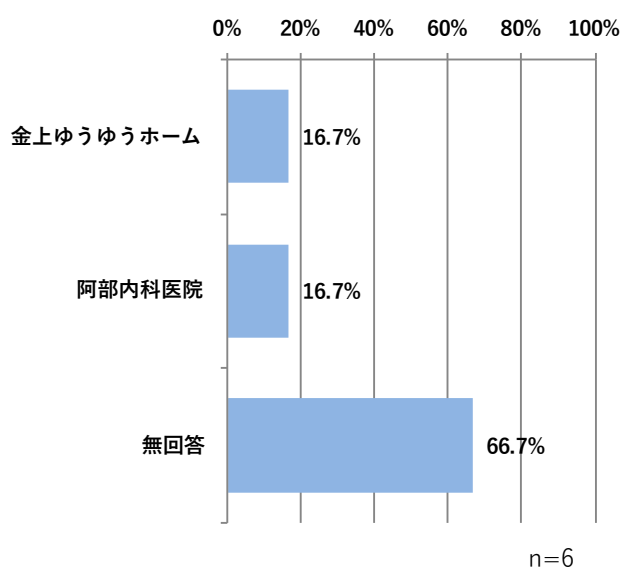


図 利用中の医療機関・サービス名

出典：住民アンケート調査

※サービスを利用していると回答した方のみ

※MAは重複を含めた回答総数

2-1-4 ラビットくんについて

(1) ラビットくんの運行概要に対する認知度

○全体から無回答を除いた 93.9%のうち、57.4%がラビットくんを「知らない」と回答し、「知っているが登録していない」または「登録している」といった認知している層は 42.6%に留まっています。

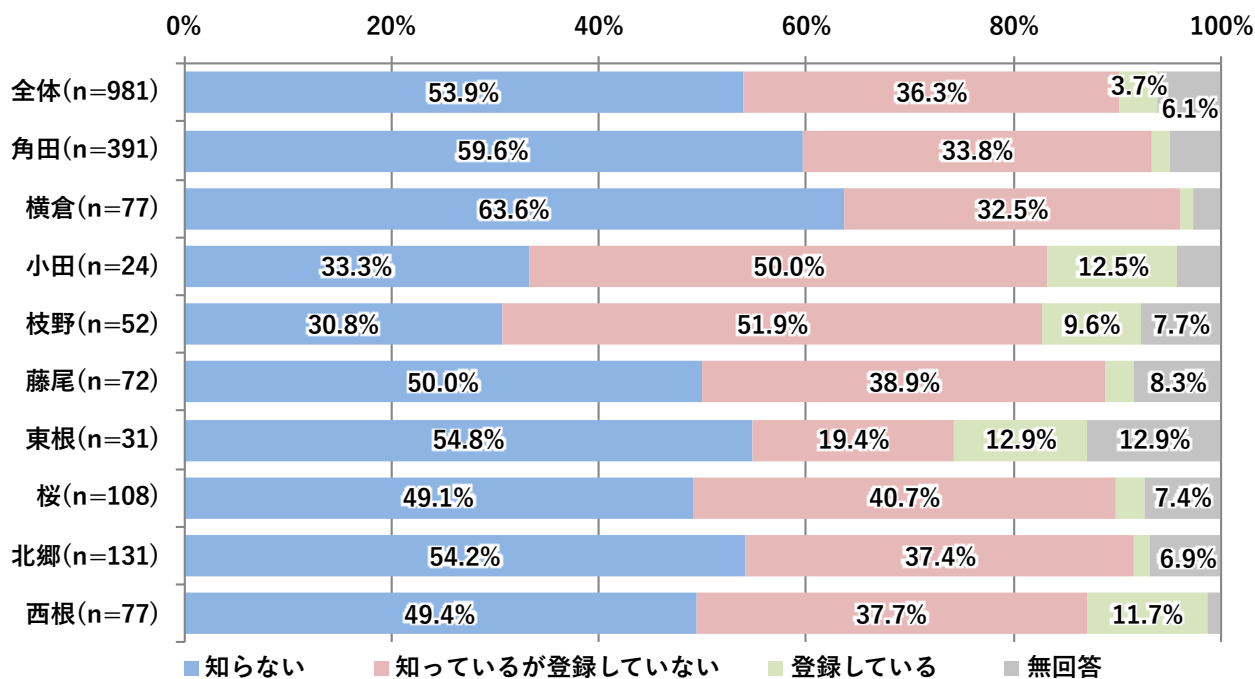


図 地区毎のラビットくんの運行概要に対する認知度

出典：住民アンケート調査

(2) ラビットくんを利用しない理由

- ラビットくんを利用しない理由では、「自家用車の方が便利」が77.9%（707人）と最も高く、次いで「運行情報を知らない」が21.5%（195人）と続いています。
- このうち、「運行情報を知らない」と回答した方の免許保有状況をみますと、保有している方が8割を超え、免許を保有していない方は約1割となっています。

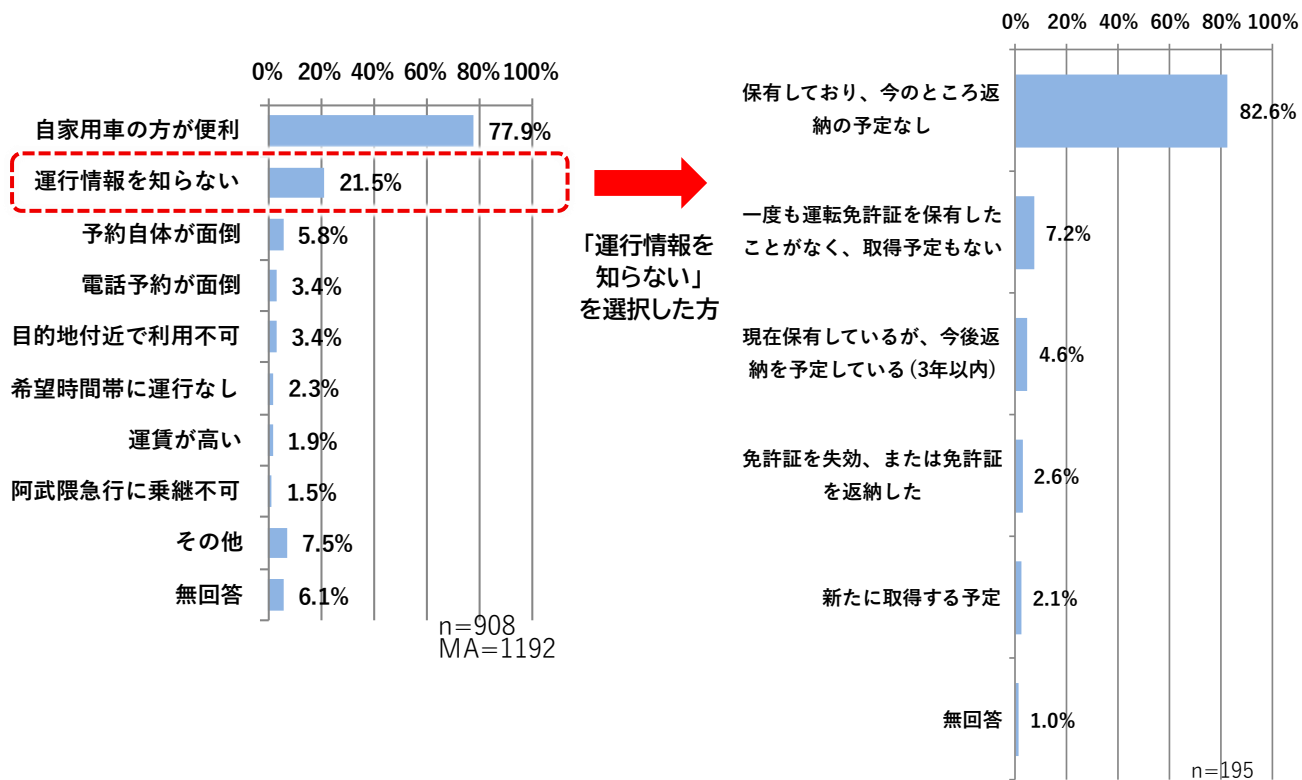


図 ラビットくんを利用しない理由

出典：住民アンケート調査

※MAは重複を含めた回答総数

図 免許保有状況
(ラビットくんの運行情報を知らない方)

出典：住民アンケート調査

2-1-5 阿武隈急行線について

(1) 直近3か月以内における阿武隈急行線の利用有無

- 直近3か月で1回以上利用しているのは全体の2割でした。
- 地区別で3か月以内に1回以上利用している割合をみると、小田地区で4割を超えているものの、藤尾、東根そして西根地区では1割にも満たない状況です。

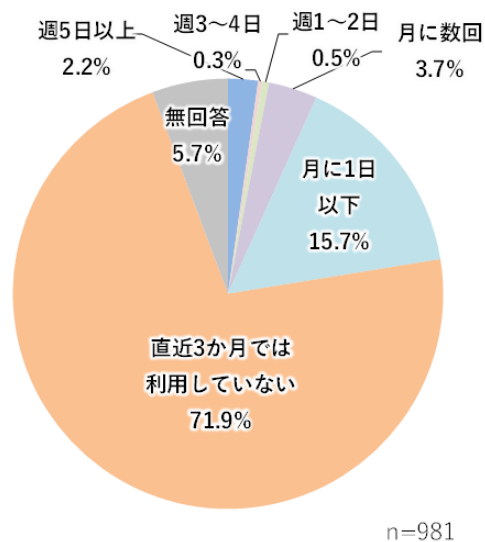


図 阿武隈急行線の直近3か月の利用頻度

出典：住民アンケート調査

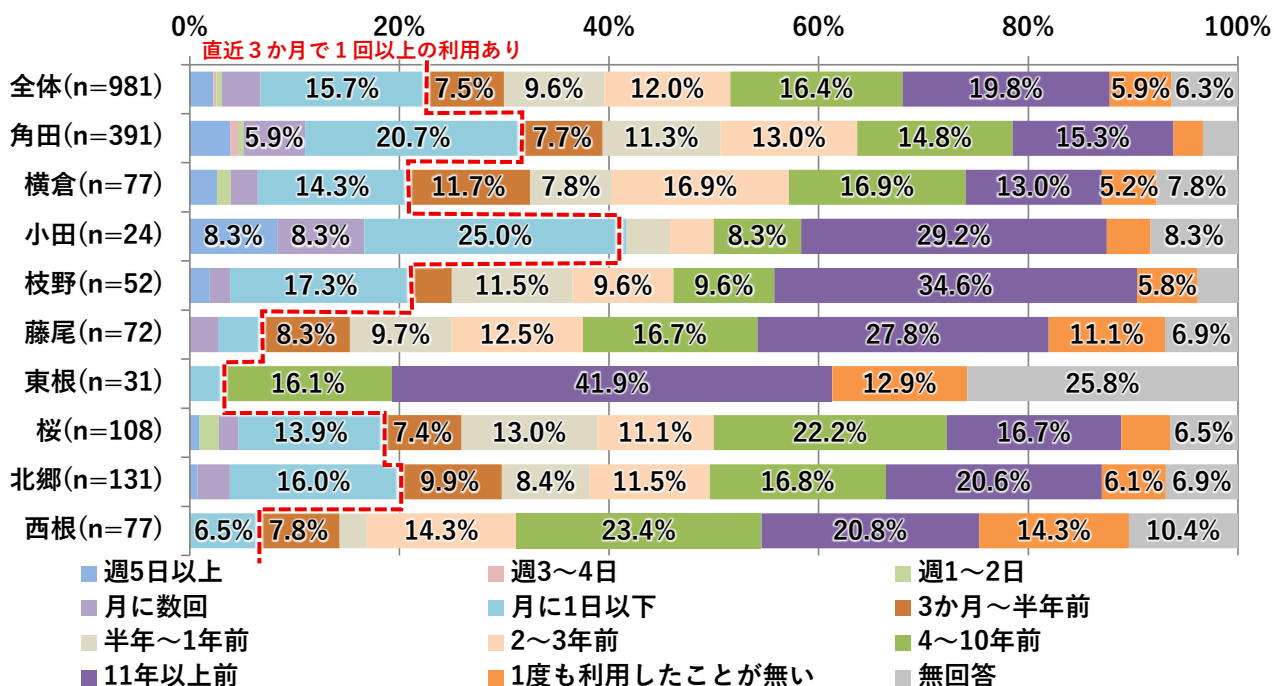


図 地区毎の阿武隈急行線の直近3か月の利用頻度と最後に利用したタイミング

出典：住民アンケート調査

※5.0%未満はラベル非表示

(2) 阿武隈急行線を利用する際の移動目的

○阿武隈急行線の主な利用目的では、「観光・レジャー」が 35.0%（77 人）と最も高く、次いで「買い物」が 31.4%（69 人）と続いています。

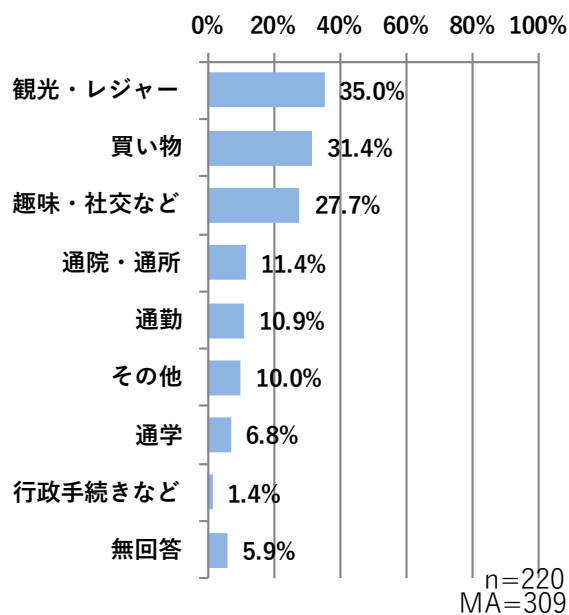


図 阿武隈急行線の主な利用目的

出典：住民アンケート調査
※MA は重複を含めた回答総数

(3) 阿武隈急行線で主に利用する乗車駅と降車駅、片道・往復利用状況

- 乗車駅の76.8% (169人)が「角田駅」と最も高く、次いで「岡駅」が10.0% (22人)と続いています。
- 降車駅では「槻木駅」が37.3% (82人)と最も高く、次いで「仙台駅」が33.2% (73人)と続いています。
- 片道・往復利用では、「往復で利用している」は43.6% (96人)であり、「往復で利用していない」が26.8% (59人)と続いています。

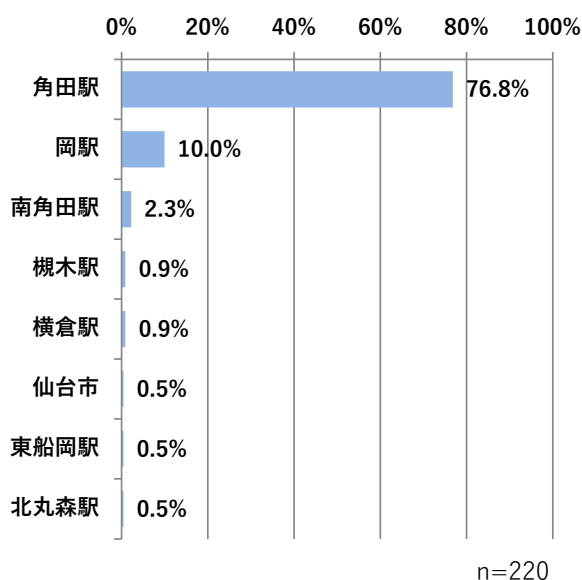


図 よく使う乗車駅

出典：住民アンケート調査

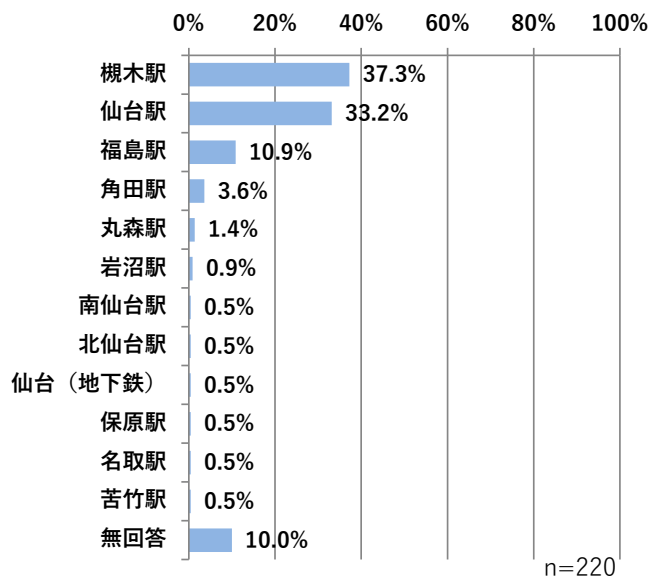


図 よく使う降車駅

出典：住民アンケート調査

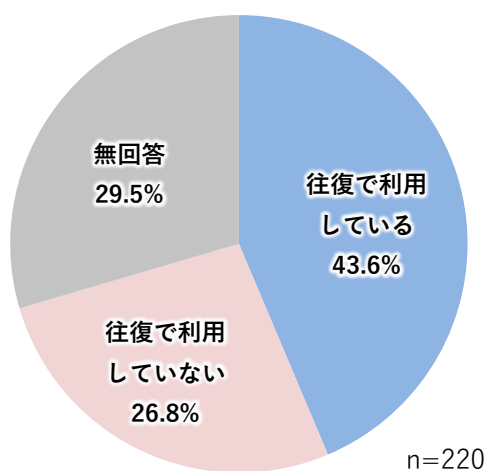


図 阿武隈急行線の片道・往復利用状況

出典：住民アンケート調査

(4) 阿武隈急行線を利用する理由

○阿武隈急行線を利用する理由では、「時間どおりに着く」が38.6%（85人）と最も高く、次いで「安全・楽に移動できる」が35.5%（78人）と続いています。

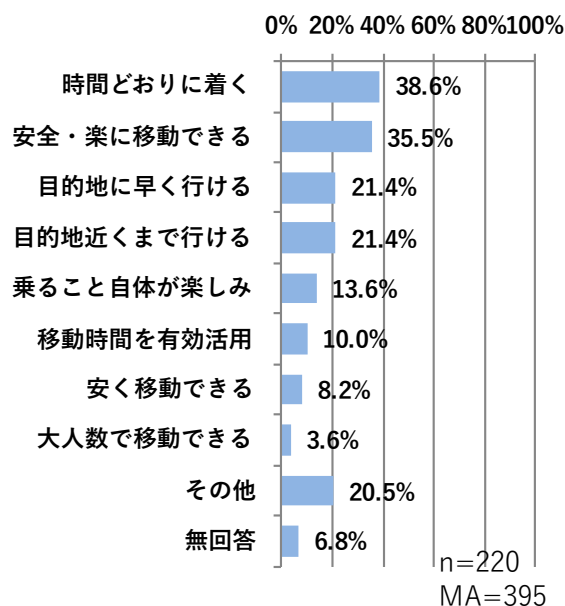


図 阿武隈急行線を利用する理由

出典：住民アンケート調査
※MAは重複を含めた回答総数

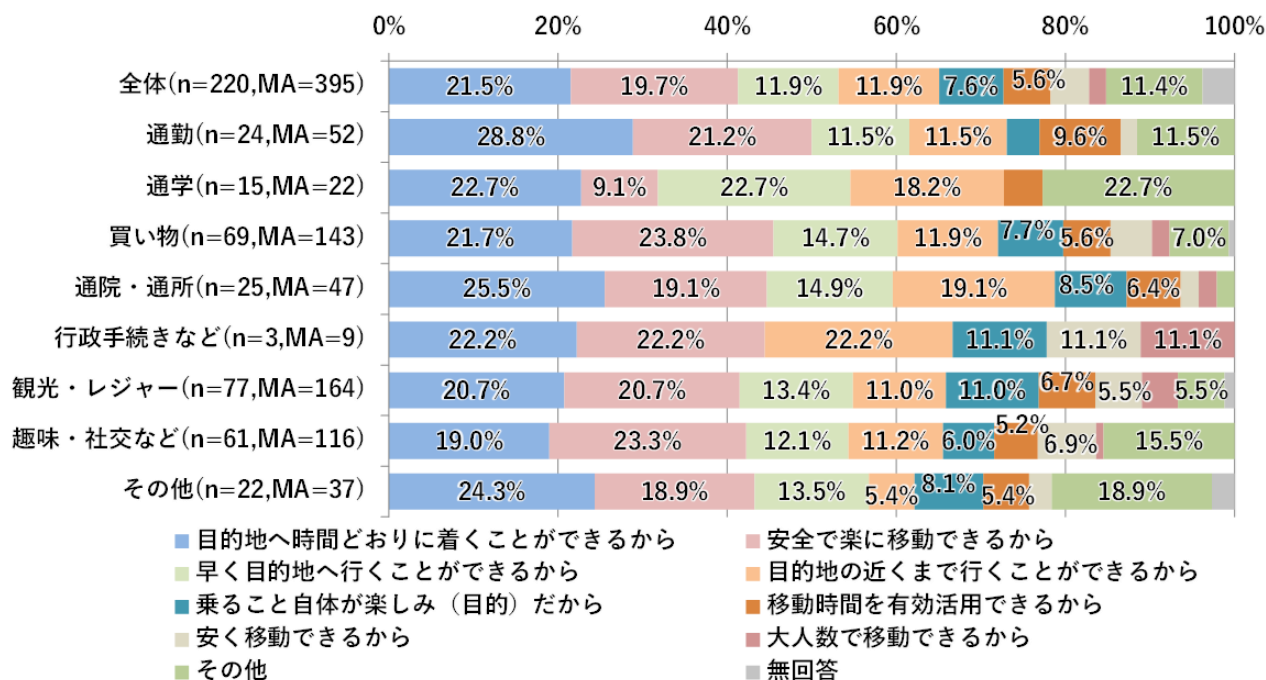


図 利用目的毎の阿武隈急行線を利用する理由

出典：住民アンケート調査
※母数：阿武隈急行線を直近3か月以内に利用したと回答した人のみ
※回答件数（MA値）に対する割合を100分比のグラフで表示している
※5.0%未満はラベル非表示

(5) 阿武隈急行線を利用しない理由

- 使わない（使わなくなった）理由としては「自家用車やバイクを使う」が最も多くなっています。
- 自家用車やバイクを使うと回答した方を除くと、「外出機会の減少・消失」「行きたい目的地がない」など移動ニーズ自体がないこと、「家から駅までが遠い」「運賃の負担が大きい」「運行時間が合わない」など利便性が低いことが理由として挙げられています。

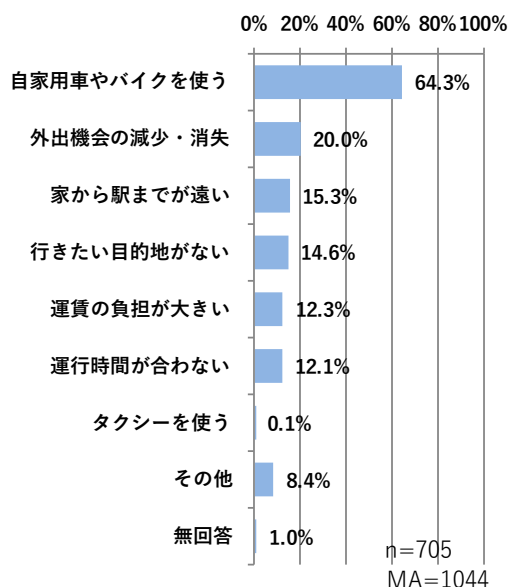


図 阿武隈急行線を利用しない理由

出典：住民アンケート調査
※MA は重複を含めた回答総数

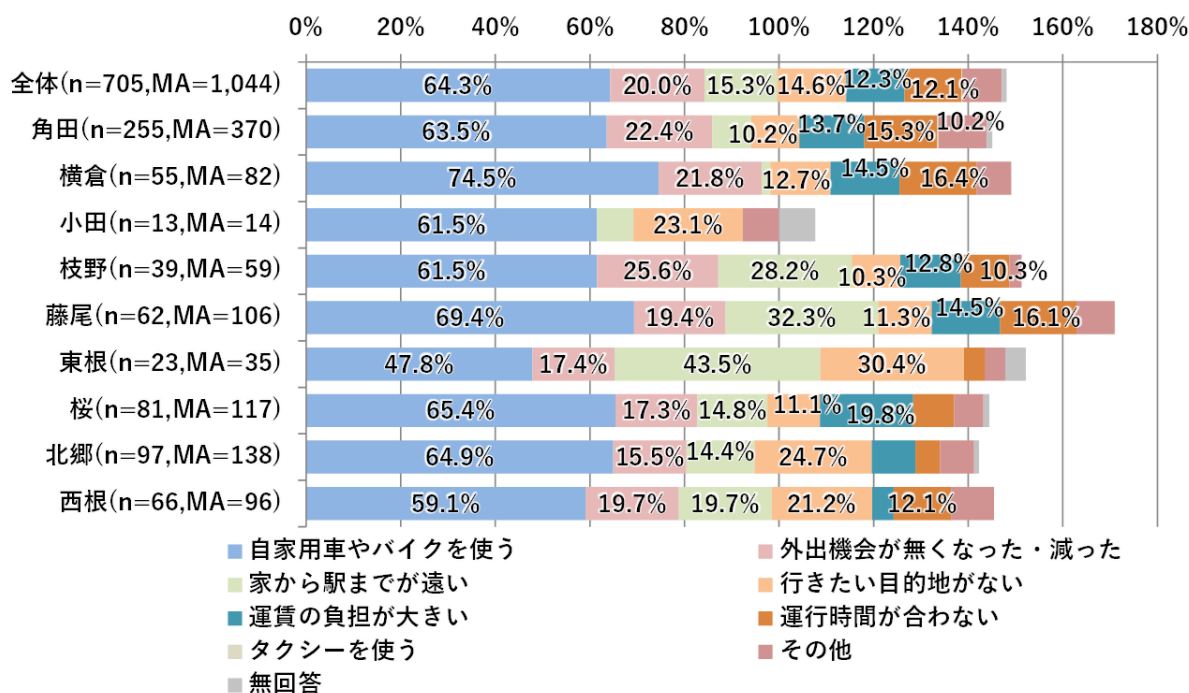


図 地区毎の阿武隈急行線を利用しない理由

出典：住民アンケート調査
※MA は重複を含めた回答総数
※10.0%未満はラベル非表示

(6) 阿武隈急行線があることによる生活・地域経済への影響

○全体の約4割が「影響がある」と回答したものの、東根、西根地区では2割以下となっています。

○具体的な影響としては、「個人の生活への影響（将来の移動手段や日常の移動）」が最も大きい一方で、「観光客の流入と地域の経済活動に寄与」も全体で約3割となっており、地域経済への寄与も一定程度認識されています。

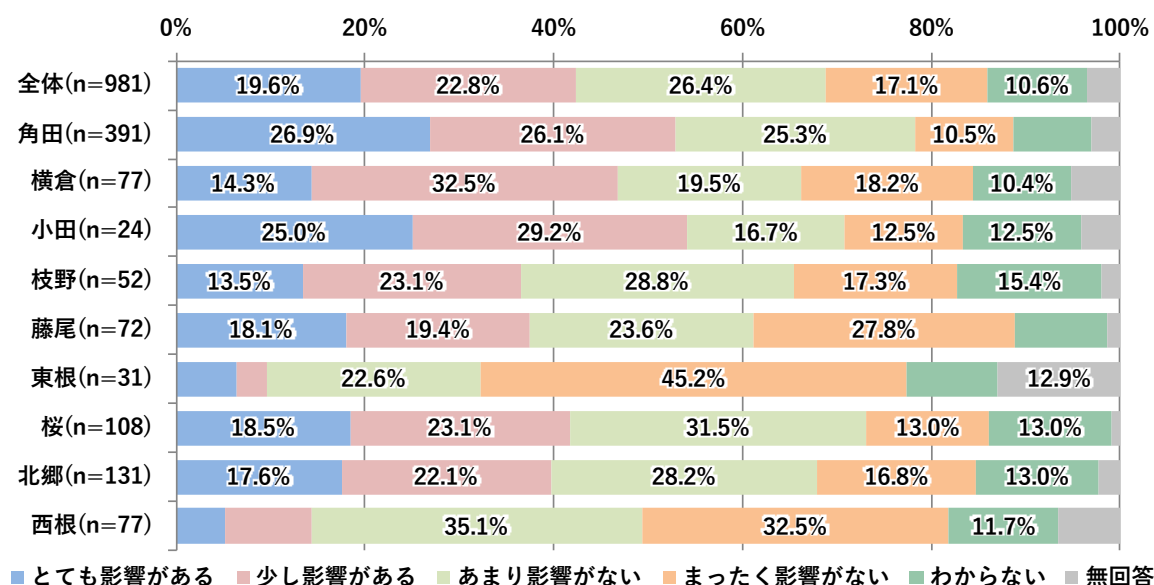


図 地区毎の阿武隈急行線の生活・地域経済への影響

出典：住民アンケート調査
※10.0%未満はラベル非表示

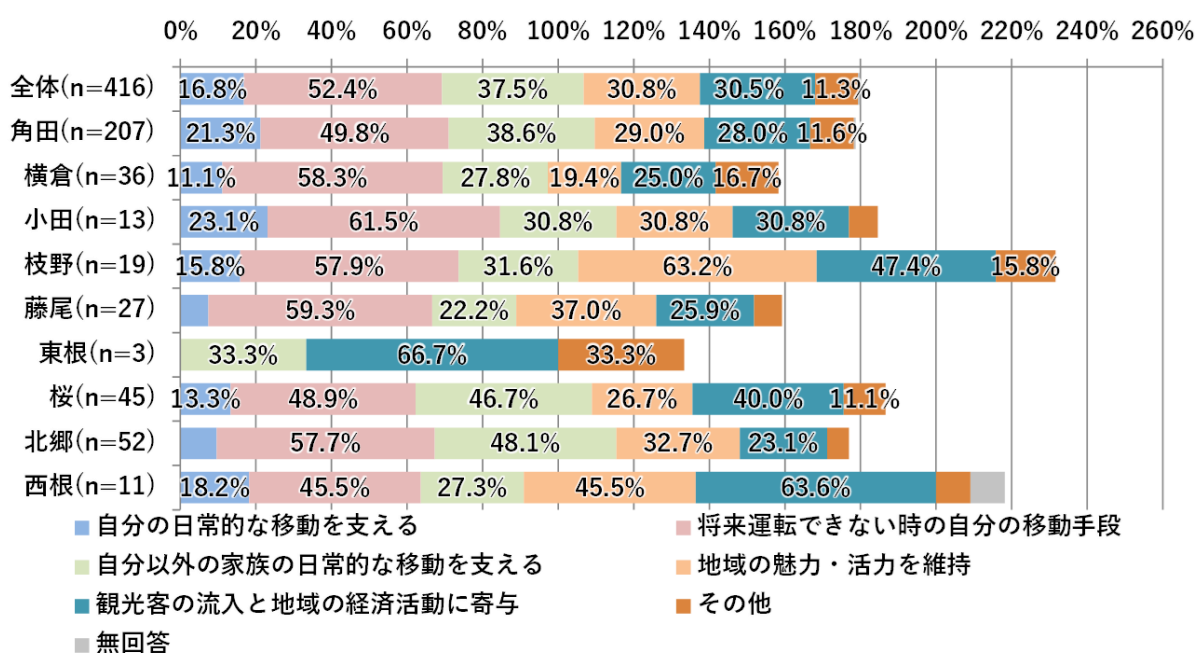


図 地区毎の阿武隈急行線の生活・地域経済への具体的な影響

出典：住民アンケート調査
※MAは重複を含めた回答総数
※10.0%未満はラベル非表示

2-1-6 市内（まちなか）循環バスについて

(1) 希望する運行頻度

○自身が利用する場合の希望する運行頻度としては、全体の55.6%が「希望なし・利用しない」と回答している一方、「週2回以上」との回答が20.2%あるほか、何らかの運行希望があるという回答の割合は全体の36.9%でした。

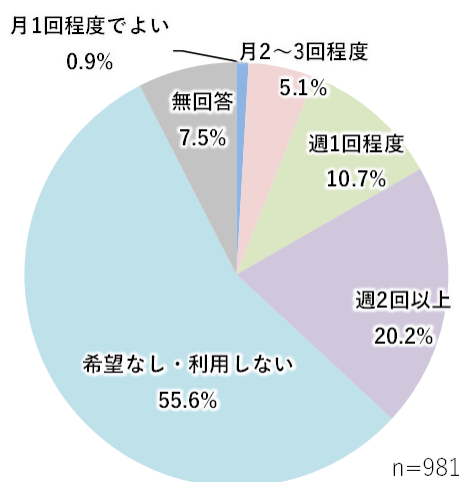


図 希望する市内循環バスの運行頻度

出典：住民アンケート調査

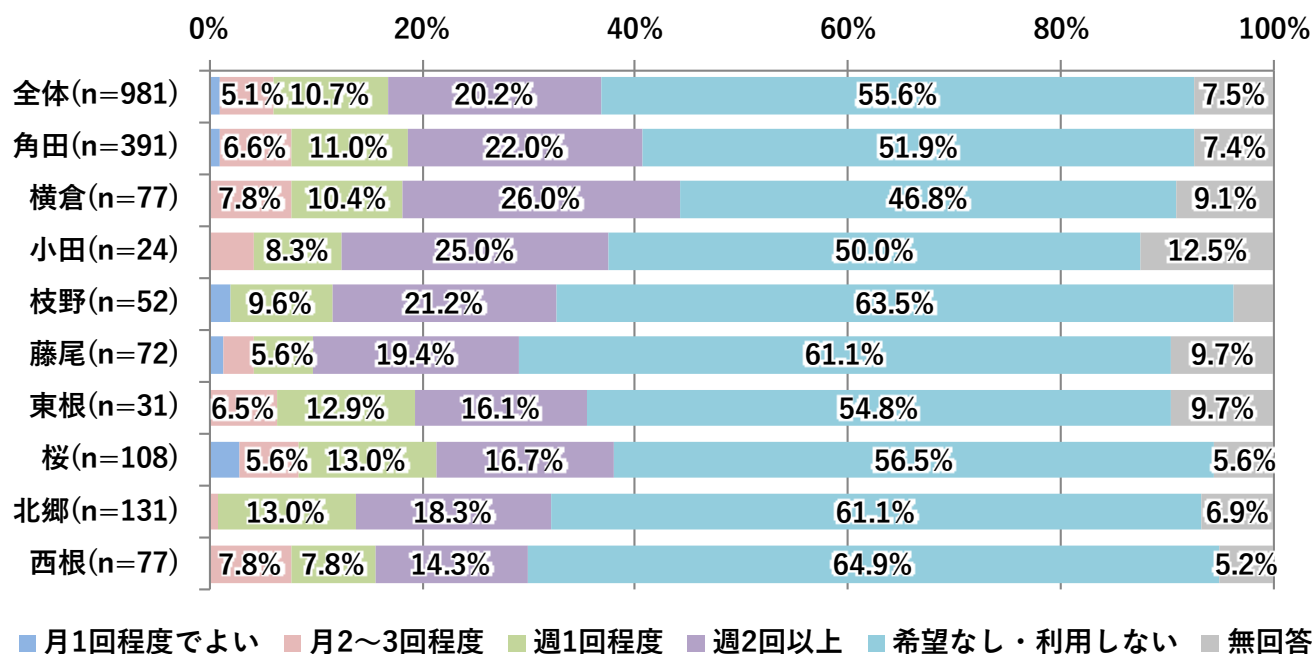


図 地区毎の希望する市内循環バスの運行頻度

出典：住民アンケート調査
※5.0%未満はラベル非表示

(2) 希望する運行時間帯

- 自身が利用する場合に希望する運行時間帯では、どの地区においても試験運行中のものと同様の10～14時台の運行時間を希望する割合が高い状況です。
- 朝・夕方・夜間については地区別に傾向が異なり、朝の希望は角田、小田、藤尾、東根で多く、夕方の希望は角田、小田、枝野、藤尾で、夜間の希望は角田、横倉、藤尾で、それぞれ多い状況でした。

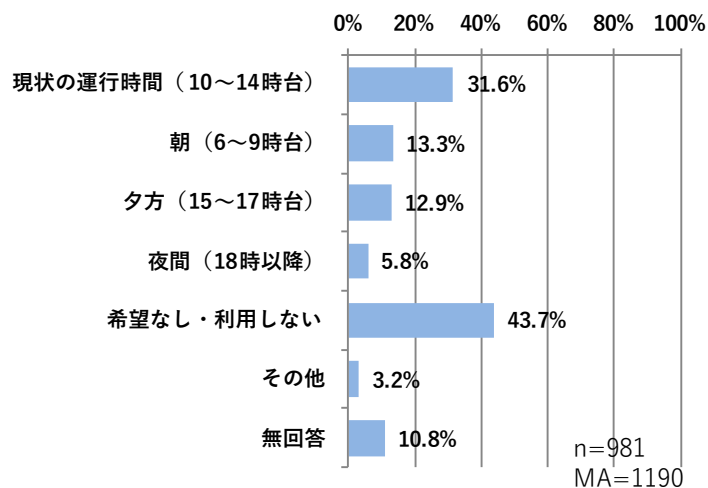


図 希望する市内循環バスの運行時間帯

出典：住民アンケート調査
※MAは重複を含めた回答総数

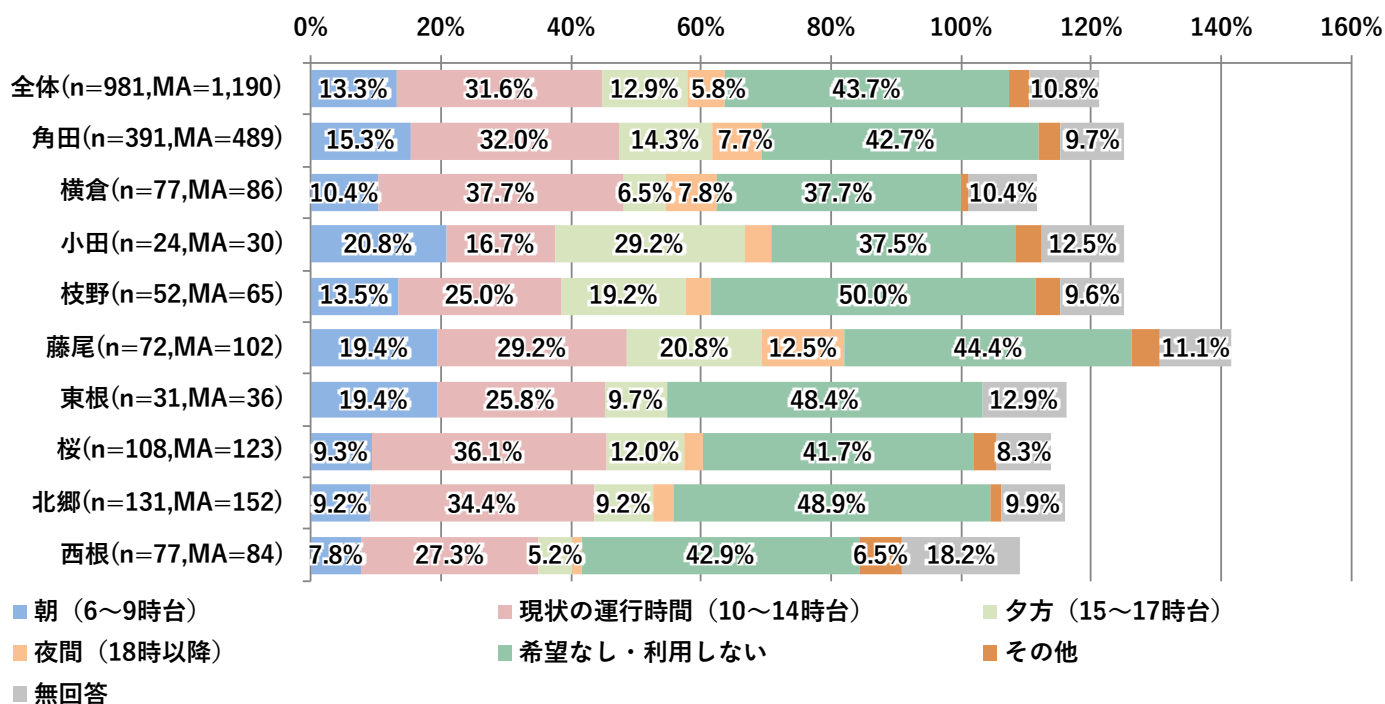


図 地区毎の希望する市内循環バスの運行時間帯

出典：住民アンケート調査
※MAは重複を含めた回答総数
※5.0%未満はラベル非表示

(3) 経由してほしい施設・目的地

- 経由してほしい施設・目的地としては、ヨークベニマルが56件と多く、次いで市役所が43件、角田駅が25件、道の駅かくだ・総合保健福祉センターが22件と続いています。
- また、全体的に医療機関への経由希望が少ない傾向がみられます。

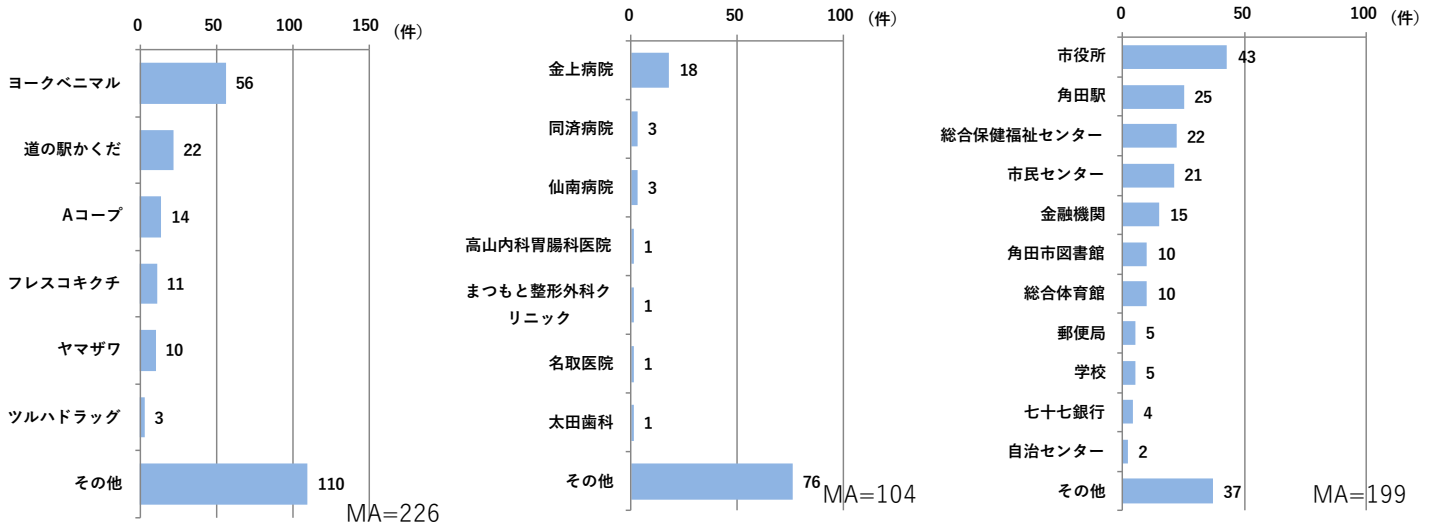


図 経由してほしい具体的な施設・目的地

出典：住民アンケート調査

n=981

(4) 上記の条件で利用したい曜日

- 回答した条件で運行する場合に利用したい曜日として、買い物・通院・その他の目的いずれの場合においても「決まっていない」が最も高くなっていますが、曜日間で比較すれば金土日がやや高い傾向にあります。

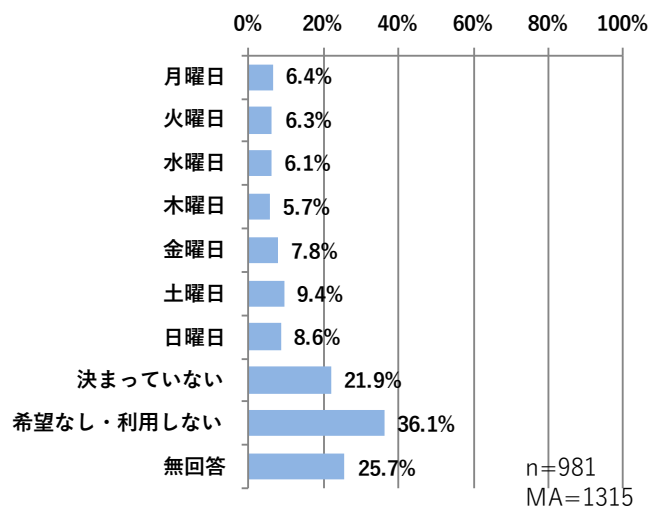


図 希望する利用曜日

出典：住民アンケート調査

※MA は重複を含めた回答総数

2-2 令和7年度ラビットくん利用者アンケート調査

2-2-1 調査概要

○ラビットくん利用者アンケートの実施概要は、以下のとおりです。

表 ラビットくん利用者アンケート調査の実施概要

項目	概要	
	アクティブ利用者	非アクティブ利用者
調査の対象	令和7年度においてラビットくんを利用した登録者 ※全数	令和5・6年度においてラビットくんを利用し、7年度の利用がなかった登録者 ※全数
調査期間	令和7年10月15日～令和7年11月4日	
実施方法	郵送配布、郵送回収	
配布票数	417票	201票
回収票数	265票（回収率：63.5%）	99票（回収率：49.3%）
調査項目	<ul style="list-style-type: none">ラビットくんの利用実態ラビットくんの改善要望市内循環バスの利用状況と、今後の利用意向回答者の基本属性	<ul style="list-style-type: none">利用していたころの利用実態ラビットくんの今後の利用意向市内循環バスの利用状況と、今後の利用意向回答者の基本属性

2-2-2 ラビットくんへの改善要望について

- ラビットくんへの改善要望では、すべての地区で「休日運行してほしい」が最も高く、次いで「時間帯や本数を増やしてほしい」が高くなっています。
- 外出目的別でも、すべての項目で「休日運行してほしい」が最も高い状況です。ただし、まちなかエリアや北東エリアでは、「時間帯や本数を増やしてほしい」が多い傾向にあります。

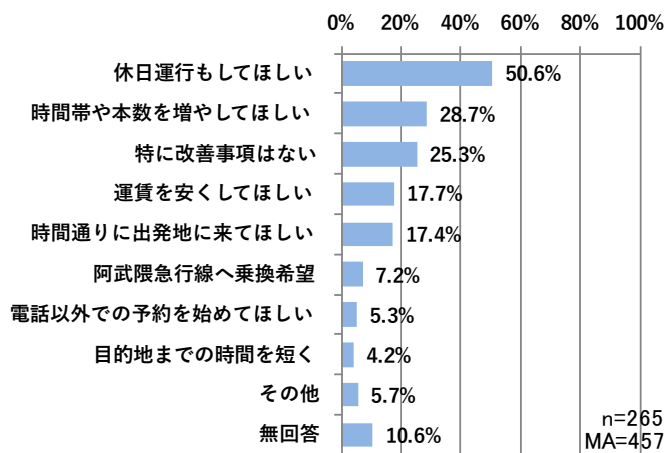


図 ラビットくんへの改善要望

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

※MA は重複を含めた回答総数

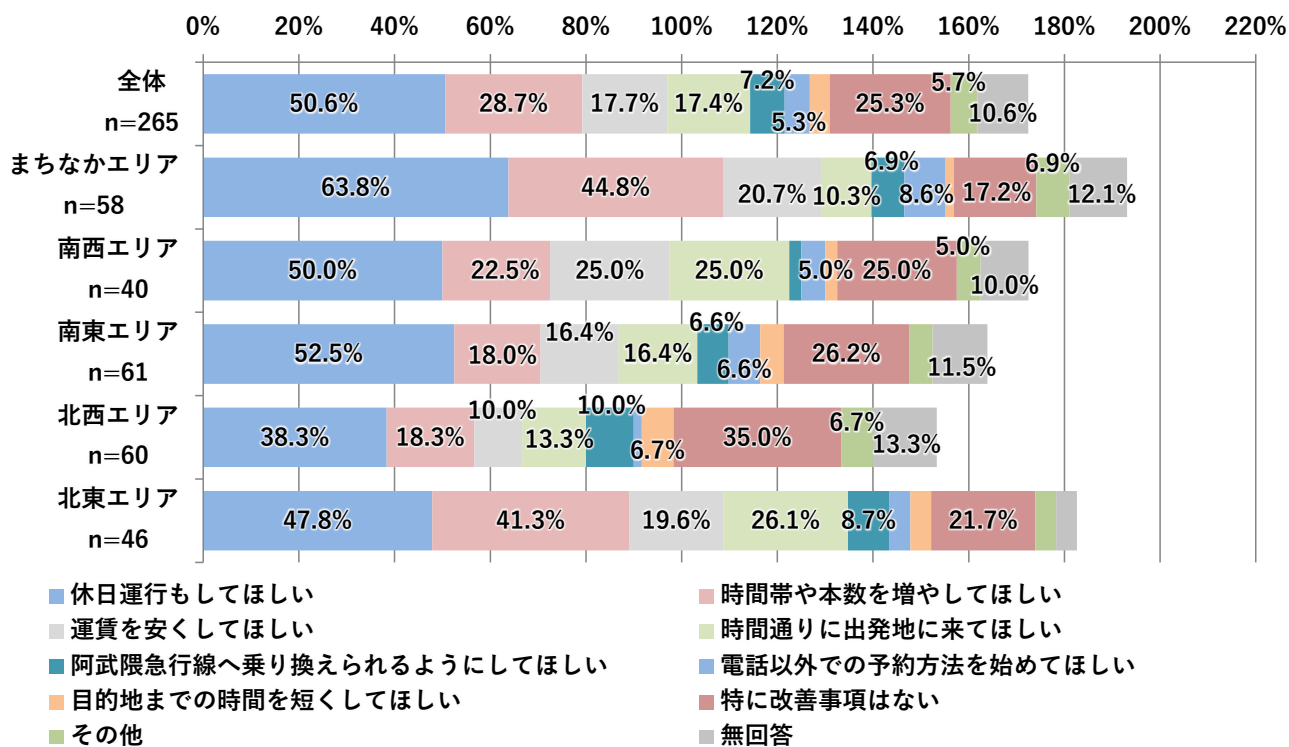


図 運行エリア毎のラビットくんへの改善要望

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

※無回答は集計から除外

※MA は重複を含めた回答総数

※5.0%未満はラベル非表示

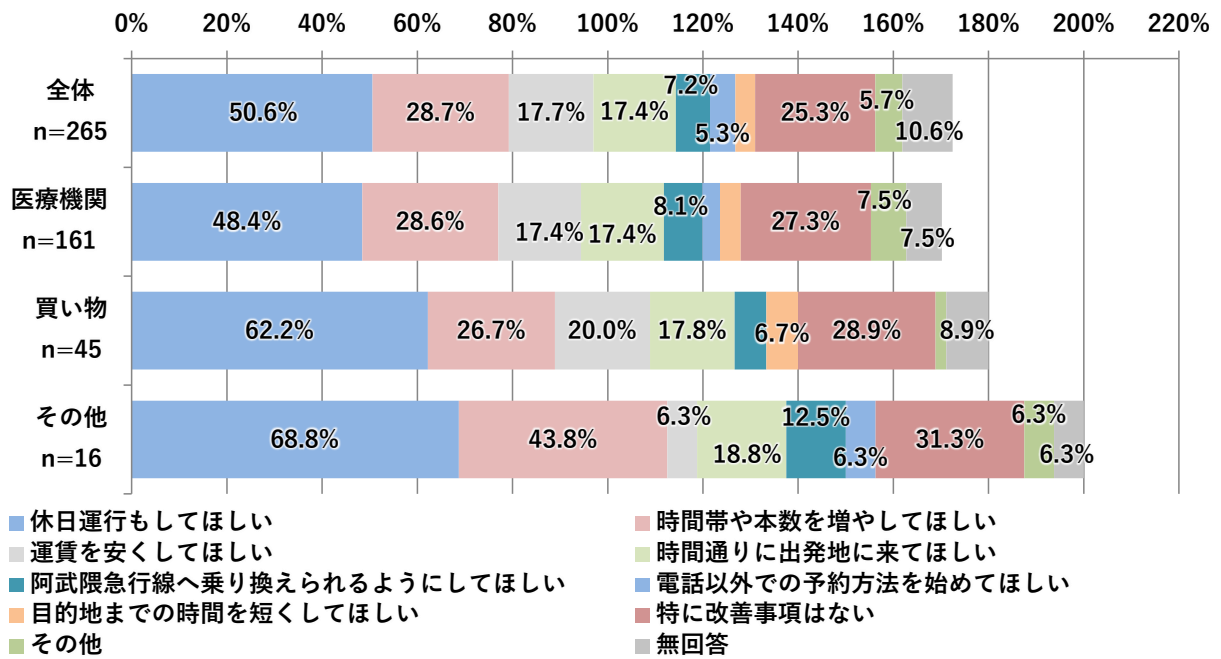


図 外出目的毎のラビットくんへの改善要望

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

※無回答は集計から除外

※最もよく行く目的地のみ集計

※MA は重複を含めた回答総数

※5.0%未満はラベル非表示

2-2-3 希望する市内（まちなか）循環バスの条件

(1) 希望する運行頻度

○アクティブ利用者の希望する運行頻度は、「希望なし・利用しない」が26.4%（70人）と最も高くなっていますが、次いで「月2～3回程度」が15.8%（42人）と続いているなど、何らかの運行希望がある回答の割合が4割を超えています。

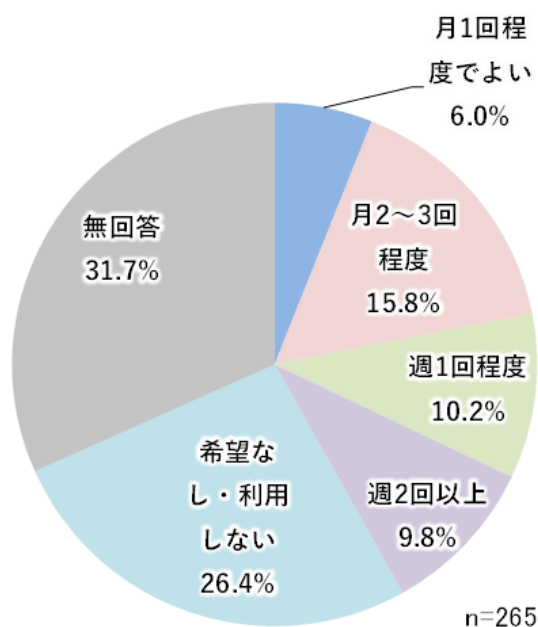


図 希望する運行頻度（アクティブ利用者）

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

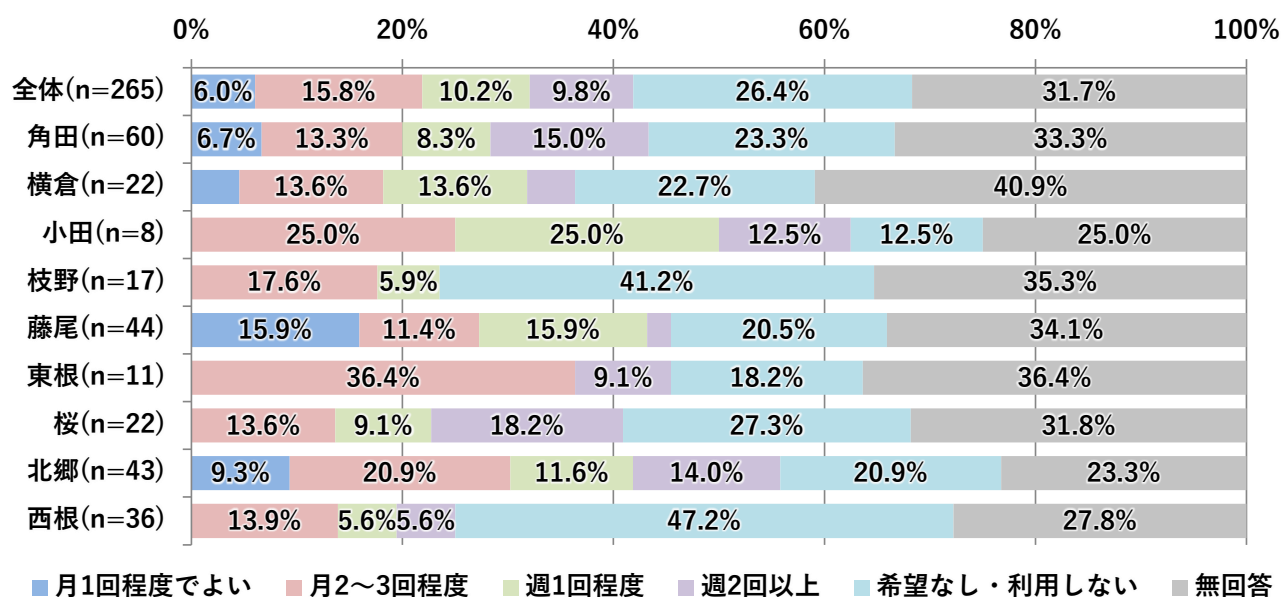


図 地区毎の希望する市内循環バスの運行頻度（アクティブ利用者）

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

※5.0%未満はラベル非表示

○非アクティブ利用者でも「希望無し・利用しない」が最も高かったものの、「週2回以上」が18.2%（18人）と続いており、何らかの運行希望がある回答の割合が5割を超えています。

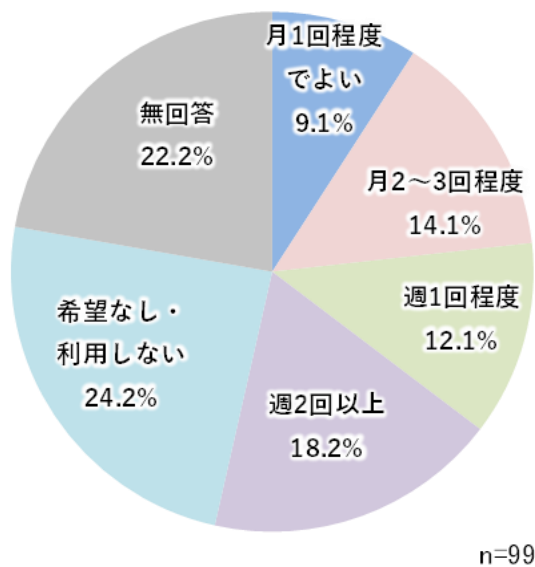


図 希望する運行頻度 (非アクティブ利用者)

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

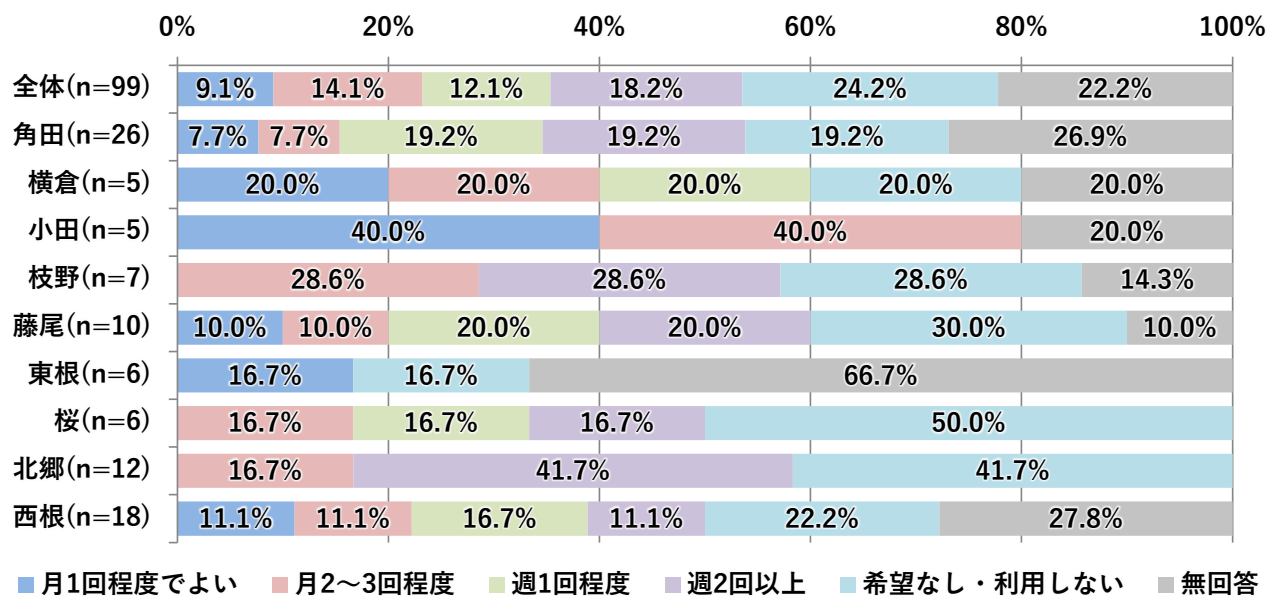


図 地区毎の希望する市内循環バスの運行頻度 (非アクティブ利用者)

出典：住民アンケート調査、ラビットくん利用者アンケート調査

※5.0%未満はラベル非表示

(2) 利用しやすい運行時間帯

- アクティブ利用者の希望する運行時間帯では、「現状の運行時間(10～14時台)」が34.7% (92人)と最も高く、次いで「朝(6～9時台)」が19.2%(51人)と続いています。
- 非アクティブ利用者もアクティブ利用者と同様、希望する運行時間帯では、「現状の運行時間」が42.4%(42人)と最も高く、次いで「朝(6～9時台の間)」が26.3%(26人)と続いています。

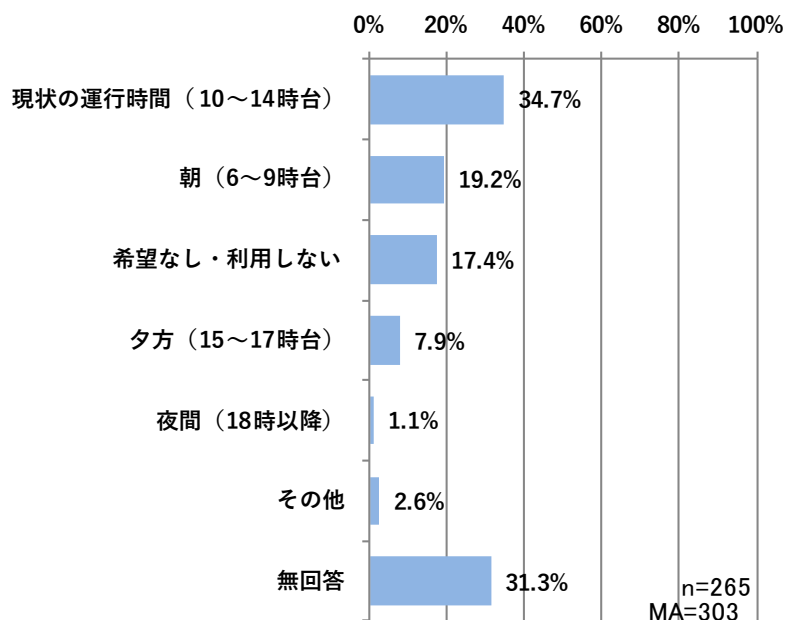


図 希望する市内循環バスの運行時間帯 (アクティブ利用者)

出典：ラビットくん利用者アンケート調査
※MAは重複を含めた回答総数

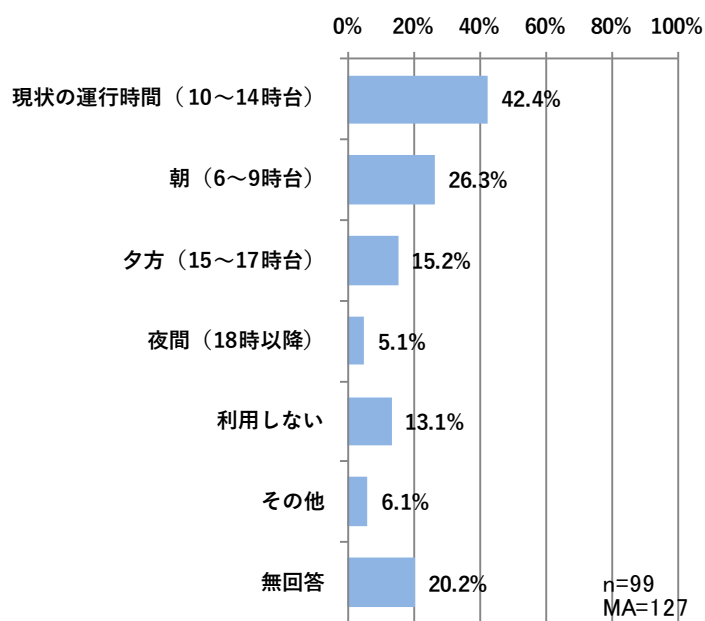


図 希望する市内循環バスの運行時間帯 (非アクティブ利用者)

出典：ラビットくん利用者アンケート調査
※MAは重複を含めた回答総数

(3) 経由してほしい施設・目的地

- アクティブ利用者・非アクティブ利用者ともに、医療施設では「金上病院」、買い物施設では「ヨークベニマル」、その他に角田市役所へ経由してほしいとの回答が多くなっています。
- またアクティブ利用者では、「道の駅かくだ」への経由希望も多くみられました。

表 経由してほしい目的地の施設名（アクティブ利用者）

施設区分	目的地	まちなかエリア	南西エリア	南東エリア	北西エリア	北東エリア	全体
医療機関	金上病院	3	1	1	1	0	6
買い物施設	ヨークベニマル	3	1	0	3	2	9
買い物施設	道の駅かくだ	3	1	2	2	1	9
買い物施設	A-COOP	4	1	2	0	1	8
その他	角田市役所	0	1	2	3	4	10
その他	市民センター	5	1	0	1	0	7

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

※経由してほしい目的地の合計が5件以上の施設を抜粋

表 経由してほしい目的地の施設名（非アクティブ利用者）

施設区分	目的地	まちなかエリア	南西エリア	南東エリア	北西エリア	北東エリア	全体
医療機関	金上病院	1	1	0	2	0	4
買い物施設	ヨークベニマル	0	2	1	1	0	4
買い物施設	フレスコキクチ	0	1	0	2	0	3
買い物施設	A-COOP	0	1	0	2	0	3
その他	角田市役所	2	0	1	1	0	4

出典：ラビットくん利用者アンケート調査

※経由してほしい目的地の合計が5件以上の施設を抜粋

(4) 上記の条件で利用したい曜日

- アクティブ利用者が利用したい曜日では、「決まってない」が 28.7% (76 人) と最も高く、次いで「希望無し・利用しない」が 13.6% (36 人) と続いています。曜日間で比較すれば金土日がやや高くなっています。
- 非アクティブ利用者も同様に「決まってない」が 33.3% (33 人) と最も高く、次いで「希望無し・利用しない」が 12.1% (12 人) と続いています。曜日間で比較すれば木金がやや高くなっています。

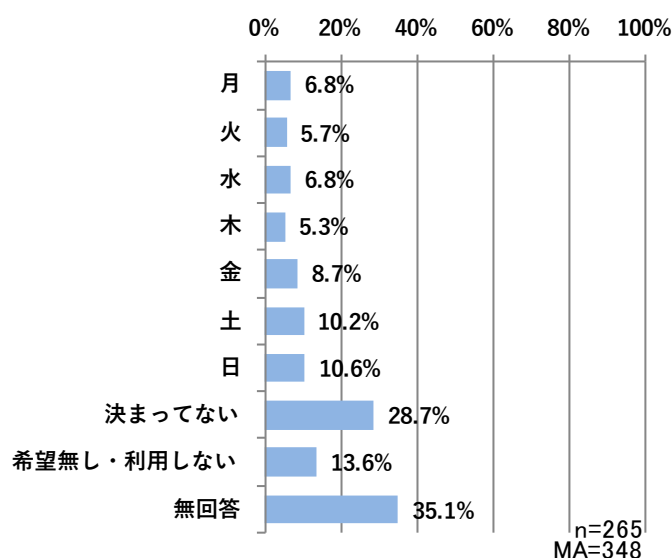


図 希望する利用曜日（アクティブ利用者）

出典：ラビットくん利用者アンケート調査
※MA は重複を含めた回答総数

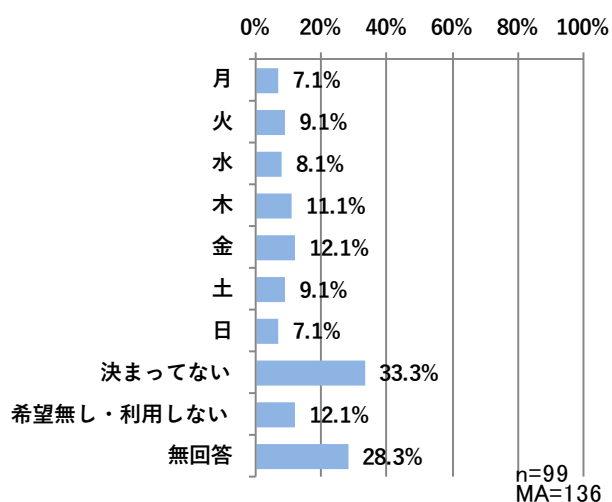


図 希望する利用曜日（非アクティブ利用者）

出典：ラビットくん利用者アンケート調査
※MA は重複を含めた回答総数

3. ラビットくんの乗降データ分析結果

3-1 分析概要

○ラビットくんの乗降データ分析の概要は、以下のとおりです。

項目	概要
分析対象	デマンド型乗り合いタクシー「ラビットくん」の乗降データ
分析期間	令和6年度 (R6.4.1-R7.3.31)
使用情報	利用者 ID、予約 ID、利用年月日、乗車便、乗車位置、降車位置

<データ諸元>

令和6年度のアクティブ利用者数：550人

令和6年度の乗降データ総数：

延べ乗降数 = 16,135 trip

延べID数 = 9,591 id (※同日に複数回利用した場合は1idと計数)

※ラビットくんの運行エリアは、角田駅を含む「まちなか」と「北東」「北西」「南東」「南西」の計5エリアです。

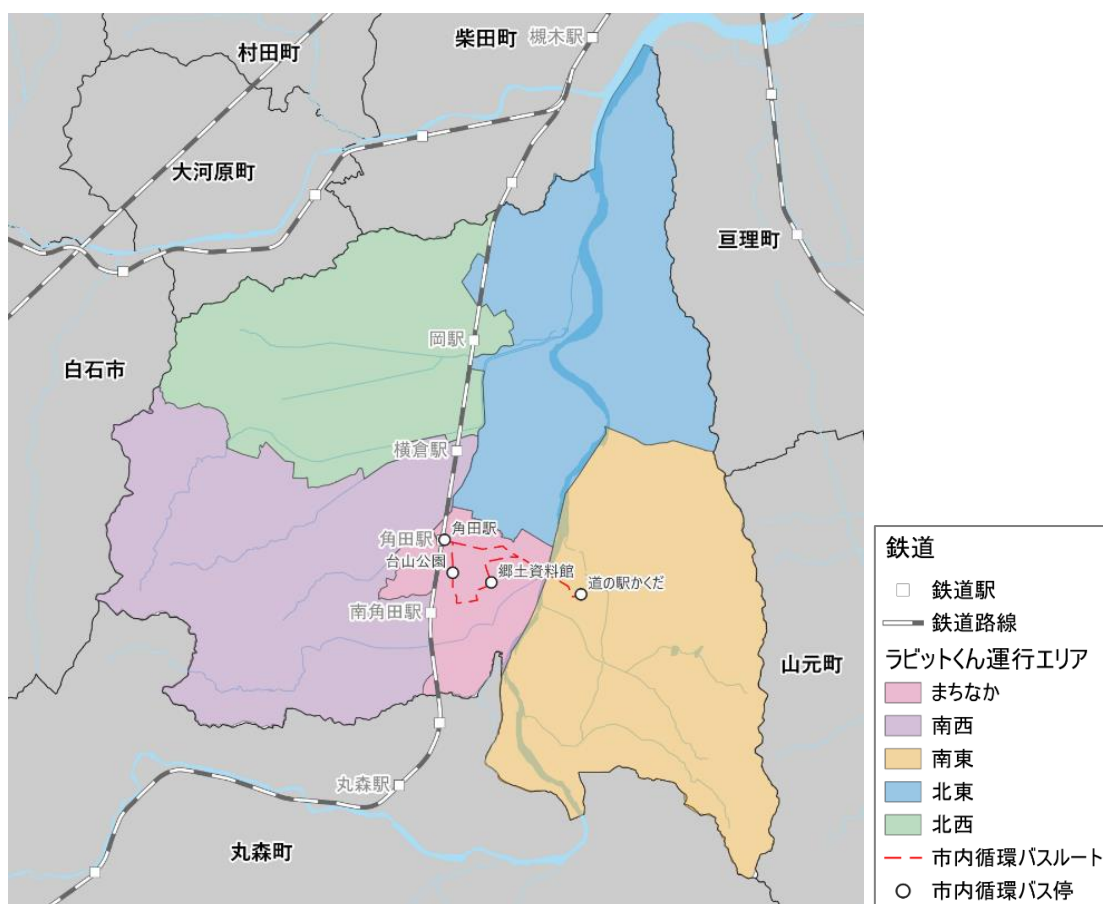
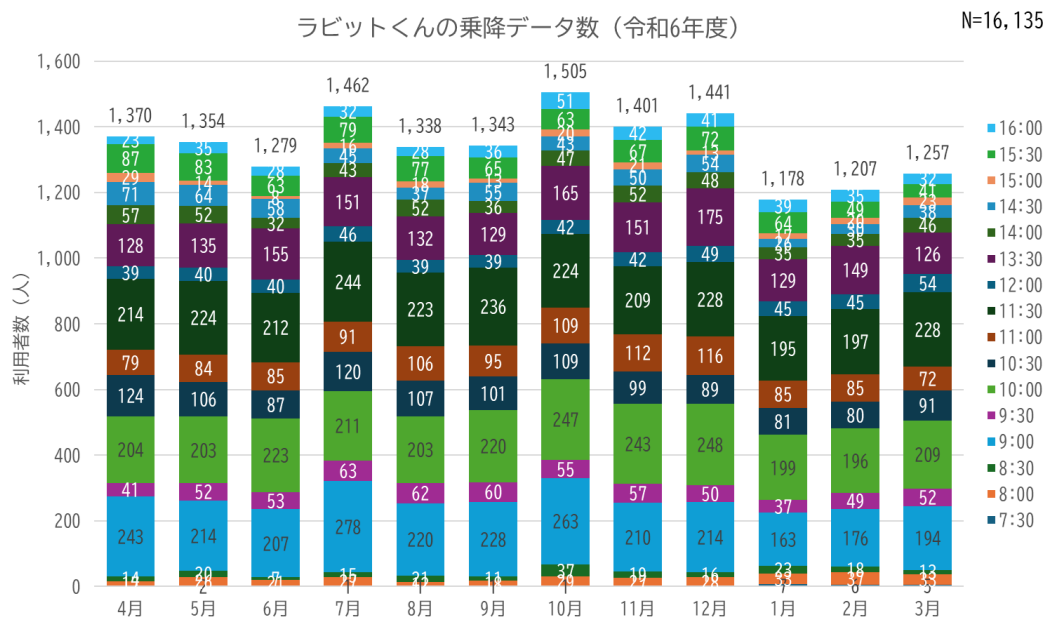


図 デマンド型乗合タクシー「ラビットくん」の運行エリア

3-2 乗降データ（月別・運行エリア別）

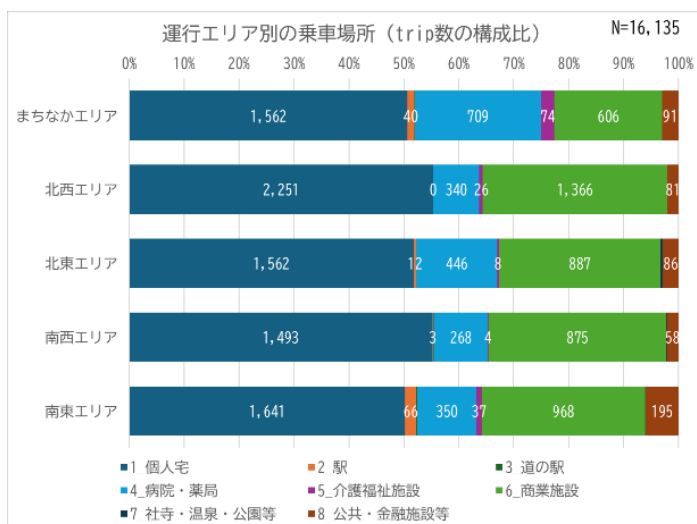
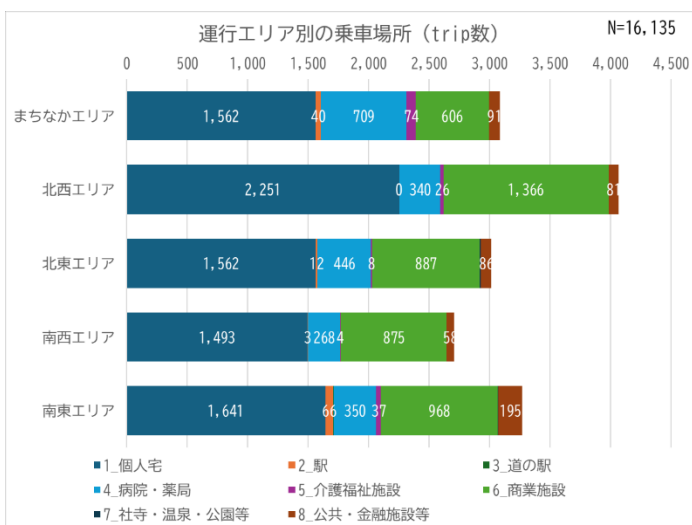
○ラビットくんの延べ乗降数は、月あたり約 1,200～約 1,500 trip です。



○運行エリア別の延べ乗降数は、約 2,700～約 4,000 trip です。

○乗降数が多い順序は、北西、南東、まちなか、北東、南西です。

○乗車場所は、個人宅が概ね半数で、次いで商業施設、病院・薬局が上位です。

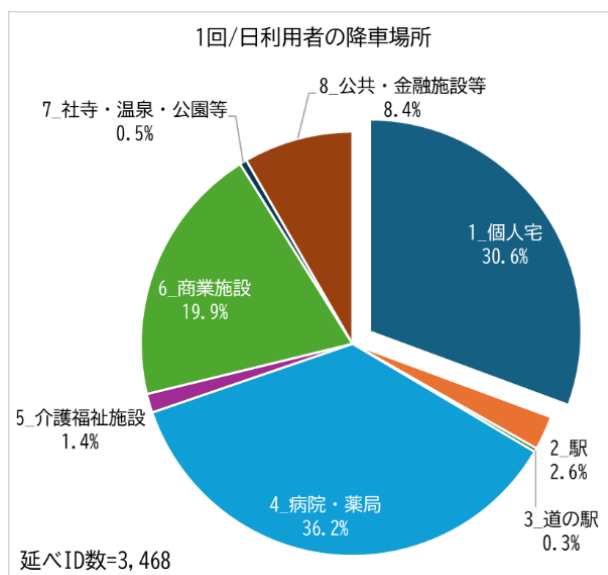
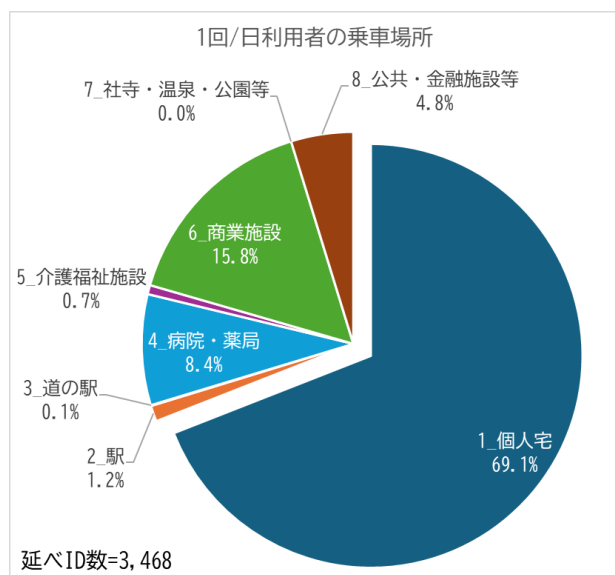
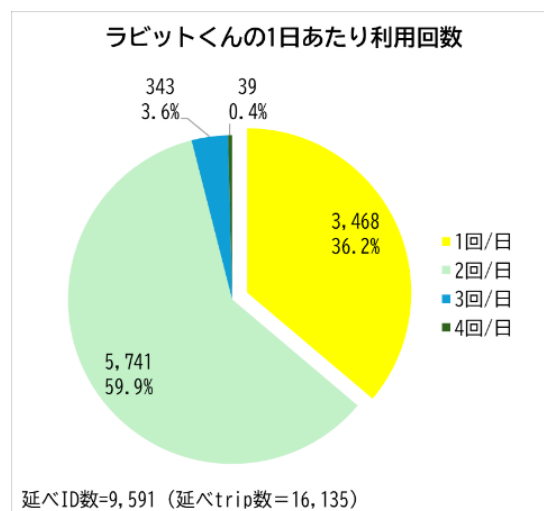


3-3 乗降データ（利用回数と乗継状況）

3-3-1 1日あたり利用回数

○ラビットくんの利用回数を集計すると、多いのは、2回/日（59.9%）、1回/日（36.2%）でした。それ以外は3回/日と4回/日で、計4%程度です。

○片道利用である1回/日（3,468件：36.2%）の乗車・降車場所をみると、個人宅から乗車する「行きのみ利用」が約7割、商業施設や病院・薬局等から乗車する「帰りのみ利用」が約3割でした。

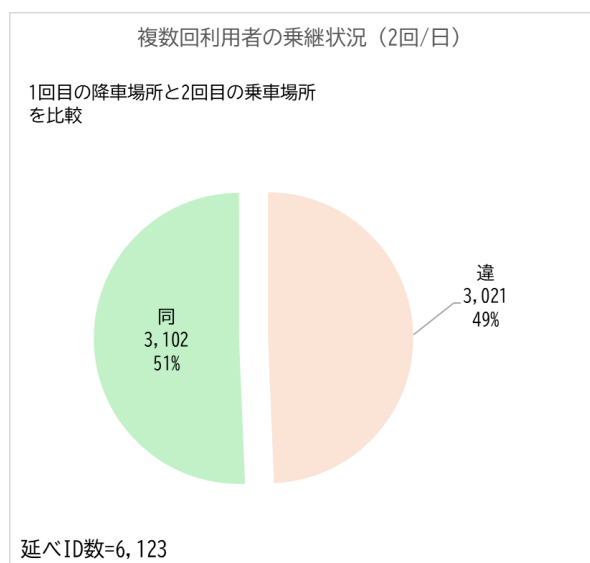


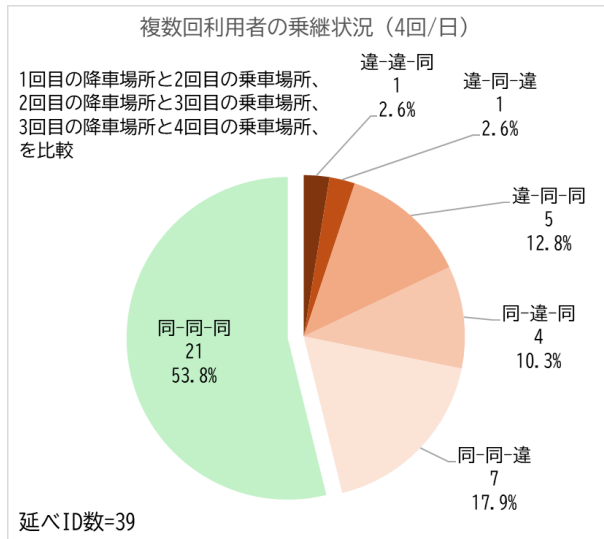
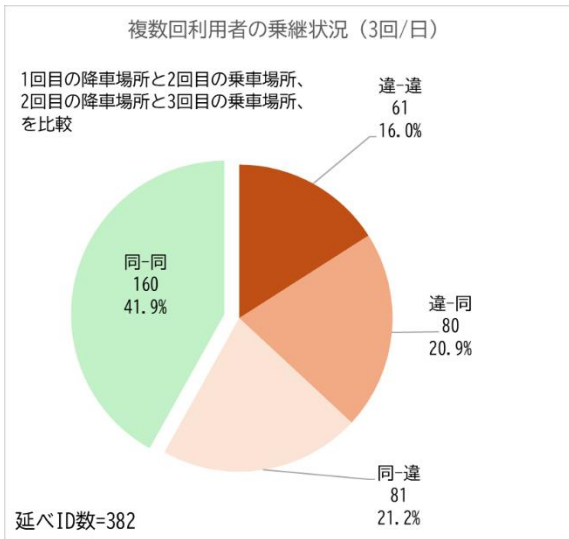
3-3-2 乗継状況

○1日に複数回利用するユーザーの乗継状況をみると、2回/日利用者の約半数は降車場所と次の乗車場所が同じでしたが、残り半数は違っていました。

○3回/日利用者の乗継状況をみると、降車場所と乗車場所が2回とも同じ乗継利用者は41.9%で、残り58.1%のユーザーは降車場所とは違う場所からの乗車をからめていることが分かりました。

○同様に、4回/日利用者の乗継状況をみると、降車場所と乗車場所が3回とも同じ乗継利用者は53.8%で、残り46.2%のユーザーは降車場所と違う場所からの乗車をからめていることが分かりました。





○2回/日利用者の降車-乗車場所が違う場合を抽出し、バス停の徒歩圏=300m以内を参考値として「遠・近」を整理しました(降車場所の上位15カ所;利用ID数≧2を表示)。
○次の目的地までの距離が遠い場合も少なくないため、目的地間の移動に徒歩以外の手段も併用されていると考えられます。

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位①	☆金上病院	371	
1	【薬】 ☆くるみ薬局	169	300m内
2	【商】 エーコープ角田店	132	300m内
3	【商】 ヨークベニマル角田店	24	遠
4	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	14	300m内
5	【商】 フレスコキキチ角田店	8	遠
6	【薬】 ☆マリン調剤薬局角田店	6	300m内
7	【商】 ファミリーレストラン美よし家	3	300m内
8	【商】 ダイナム角田店	2	遠
8	【商】 セブンイレブン角田西田町店	2	300m内
8	【公】 ☆商営駐車場(角田市お買い物駐車場)	2	300m内

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位②	☆小川整形外科クリニック	360	
1	【商】 エーコープ角田店	219	遠
2	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	65	300m内
3	【商】 ヨークベニマル角田店	27	遠
4	【商】 秋生田青果店	13	300m内
5	【公】 ☆商営駐車場(角田市お買い物駐車場)	8	300m内
6	【商】 郷家精肉店	5	300m内
7	【公】 ☆角田郵便局	4	300m内
7	【薬】 ☆あるふぁ薬局 仙南病院前店	4	遠
9	【商】 フレスコキキチ角田店	2	遠
9	【薬】 ☆くるみ薬局	2	遠
9	【商】 ☆マルセン	2	300m内

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位③	☆同済病院	177	
1	【薬】 ☆さくら薬局	146	300m内
2	【商】 ヨークベニマル角田店	29	遠

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位④	☆まつもと整形外科	169	
1	【商】 エーコープ角田店	54	遠
2	【薬】 ☆かえで薬局	22	300m内
3	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	16	遠
4	【商】 ☆ローソン角田中央店	15	300m内
5	【商】 ヨークベニマル角田店	12	遠
6	【公】 ☆商営駐車場(角田市お買い物駐車場)	10	300m内
7	【薬】 かえで薬局	7	300m内
8	【商】 宮崎屋	4	300m内
8	【商】 ローソン角田中央店	4	300m内
10	【公】 ☆角田郵便局	3	300m内

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位⑤	☆角田郵便局	125	
1	【商】 エーコープ角田店	63	遠
2	【商】 ヨークベニマル角田店	10	遠
3	【公】 ☆商営駐車場(角田市お買い物駐車場)	10	300m内
4	【商】 フレスコキキチ角田店	9	遠
5	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	7	300m内
6	【公】 ☆みやぎ仙南農業協同組合角田支店	2	300m内
6	【商】 DCM角田店	2	遠
6	【病】 ☆金上病院	2	遠
6	【薬】 ☆くるみ薬局	2	遠
6	【病】 ☆小川整形外科クリニック	2	300m内
6	【商】 宮崎屋	2	300m内

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位⑥	☆高山内科胃腸科医院	116	
1	【商】 エーコープ角田店	51	300m内
2	【薬】 ☆細川薬局	15	300m内
3	【薬】 ☆コスモ薬局	14	300m内
4	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	11	300m内
5	【商】 DCM角田店	9	遠
6	【商】 ヨークベニマル角田店	7	遠

1回目降車場所-2回目乗車場所		ID数	距離
順位⑦	☆名取医院	112	
1	【薬】 ☆南町薬局	44	300m内
2	【商】 エーコープ角田店	43	遠
3	【商】 フレスコキキチ角田店	10	遠
4	【商】 ヨークベニマル角田店	3	遠
4	【公】 ☆商営駐車場(角田市お買い物駐車場)	3	遠
4	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	3	遠
7	【商】 ☆いとや	2	遠

1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数	1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑧	☆仙南病院		104	距離	順位⑨	☆みやぎ仙南農業協同組合角田支店	103
1	【薬】 ☆毛利薬局	33	300m内		1	【商】 エーコープ角田店	62
2	【商】 エーコープ角田店	30	300m内		2	【商】 ヨークベニマル角田店	13
3	【薬】 ☆あるふぁ薬局 仙南病院前店	20	300m内		3	【公】 ☆商営駐車場（角田市お買い物駐車場）	8
4	【商】 宮崎屋	9	300m内		4	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	4
5	【商】 ヨークベニマル角田店	5	遠		5	【薬】 ☆あるふぁ薬局 仙南病院前店	2
6	【商】 フレスコキキチ角田店	2	遠		5	【薬】 ☆コスモ薬局	2
6	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	2	300m内		5	【商】 フレスコキキチ角田店	2

1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑩	☆コメリハード&グリーン角田店		102
1	【商】 ヨークベニマル角田店	96	300m内
2	【商】 DCM角田店	5	遠

1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑪	☆大槻眼科医院		73
1	【商】 エーコープ角田店	31	300m内
2	【薬】 ☆マリン調剤薬局角田店	19	300m内
3	【商】 ヨークベニマル角田店	6	遠
4	【商】 フレスコキキチ角田店	3	300m内
4	【薬】 ☆くるみ薬局	3	300m内
6	【公】 ☆ウエルパークかくだ	2	遠
6	【商】 DCM角田店	2	遠
6	【医】 ☆小川整形外科クリニック	2	遠
6	【商】 ☆セブンイレブン角田西田町店	2	300m内

1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑫	☆仙台銀行（株）角田支店		61
1	【商】 DCM角田店	32	遠
2	【商】 エーコープ角田店	19	300m内
3	【商】 フレスコキキチ角田店	3	遠
4	【公】 ☆角田郵便局	2	300m内

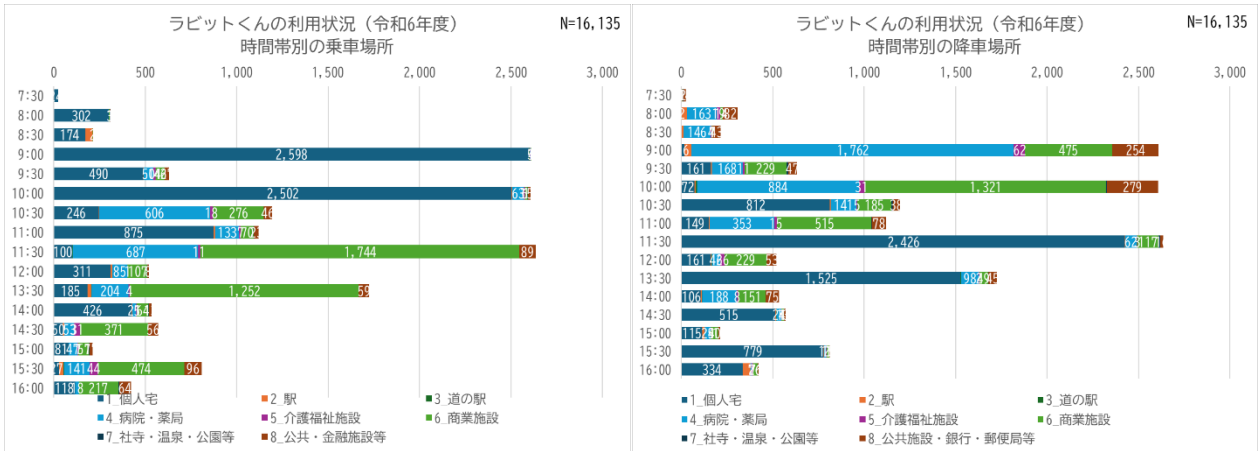
1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑬	☆角田市役所		58
1	【商】 エーコープ角田店	15	遠
2	【商】 ヨークベニマル角田店	13	遠
3	【商】 フレスコキキチ角田店	10	300m内
4	【商】 DCM角田店	7	遠
5	【薬】 ☆ツルハドラッグ角田中央店	2	遠
5	【公】 ☆商営駐車場（角田市お買い物駐車場）	2	遠
5	【商】 郷家精肉店	2	300m内

1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑭	☆ウエルパークかくだ		57
1	【商】 ヨークベニマル角田店	45	300m内
2	【商】 エーコープ角田店	5	遠
3	【商】 フレスコキキチ角田店	2	遠
3	【薬】 ツルハドラッグ角田幸町店	2	300m内

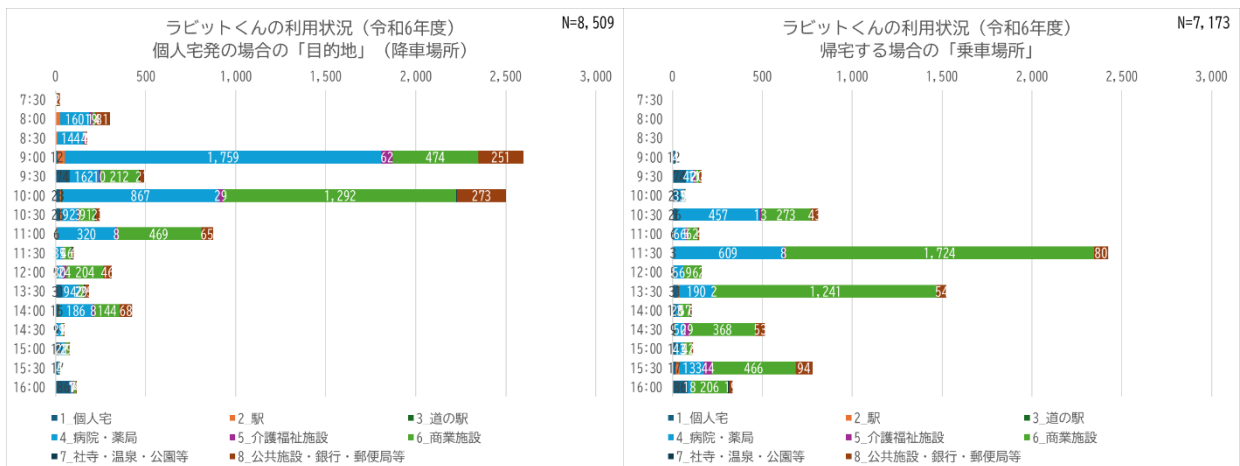
1回目降車場所-2回目乗車場所			ID数
順位⑮	☆阿部内科医院		51
1	【薬】 ☆北町薬局	21	300m内
2	【商】 エーコープ角田店	15	遠
3	【商】 フレスコキキチ角田店	3	遠
4	【公】 ☆角田郵便局	2	300m内
4	【商】 郷家精肉店	2	300m内
4	【商】 ☆ローソン角田中央店	2	300m内

3-4 乗降データ（時間帯別の乗車場所・降車場所）

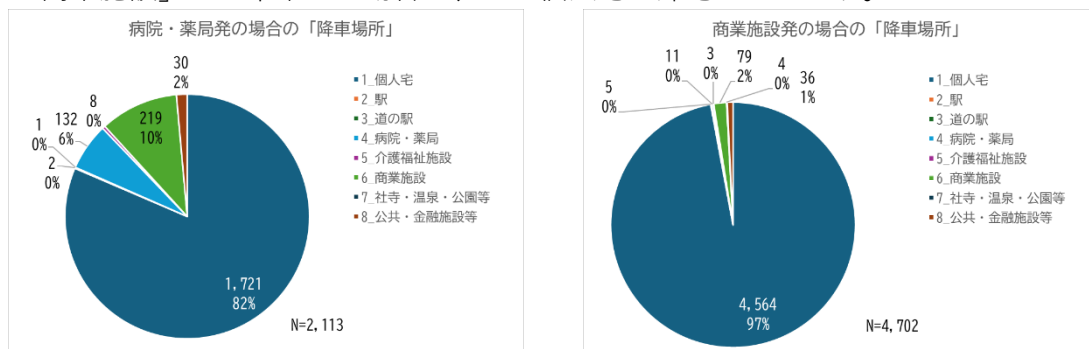
- 時間帯別にみると、午前中は個人宅から病院・薬局や商業施設に行く利用が多く、昼前後から午後にかけては商業施設や病院・薬局等から個人宅に帰る利用が多くなります。
- その他7～8時台の利用は少ない、角田駅での乗降は少ない等の状況も読み取れます。



- 「周遊」や「帰路」の詳細をみるため、「個人宅からどこに行くか」「病院・薬局や商業施設からどこに行くか」「帰宅する時はどこから乗るか」を時間帯別に集計しました。
- 9:00 便や 10:00 便など午前中に病院・薬局や商業施設に行く「利用の第一波」が多く、次いで、午前後半の出発、午後前半の出発、病院・薬局等からの周遊利用など、数次の波があるとみられます。
- 全体に時間帯が遅くなるにつれて利用が少なくなる傾向がみられます。



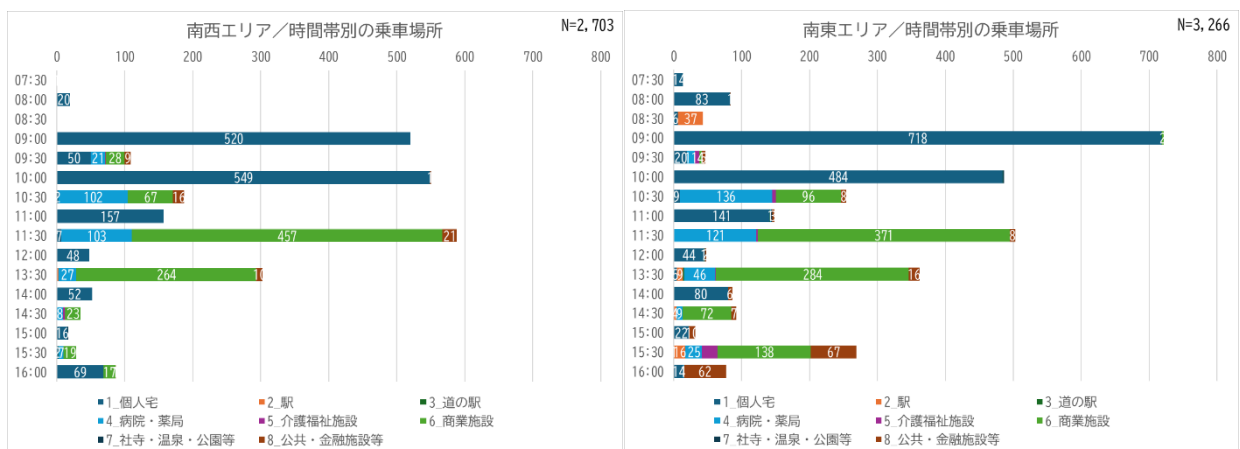
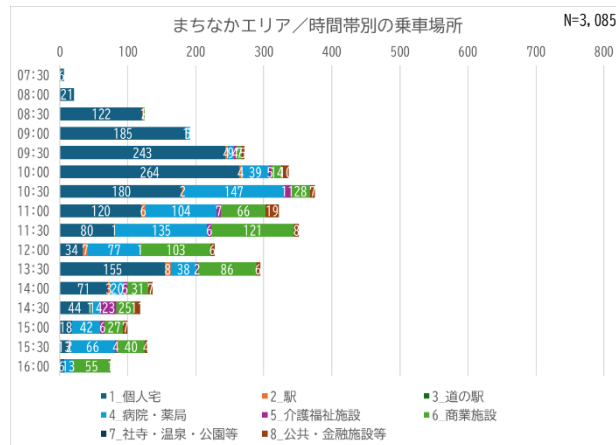
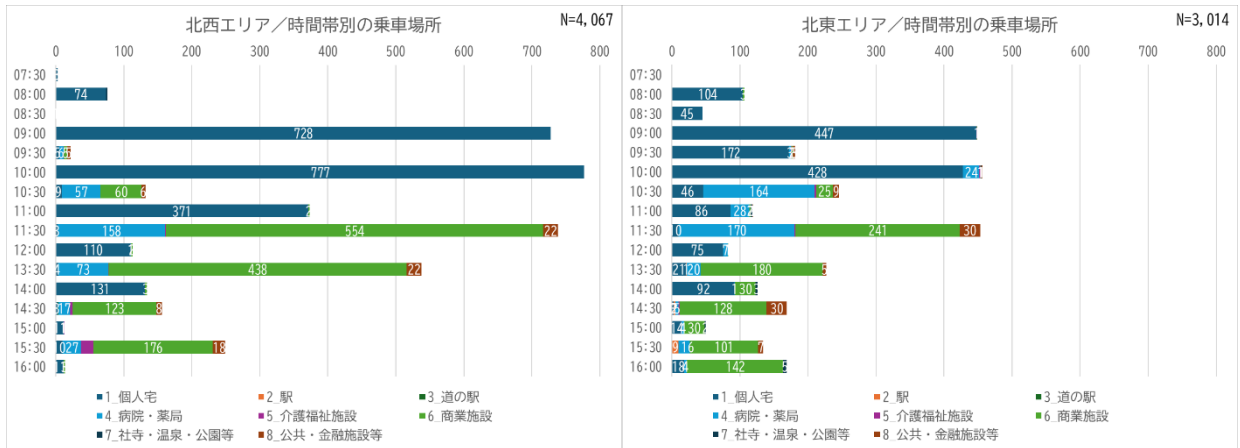
- 「病院・薬局」から乗車した場合は、商業施設等への周遊利用が2割弱みられます。
- 「商業施設」から乗車した場合は、ほぼ個人宅に帰宅しています。



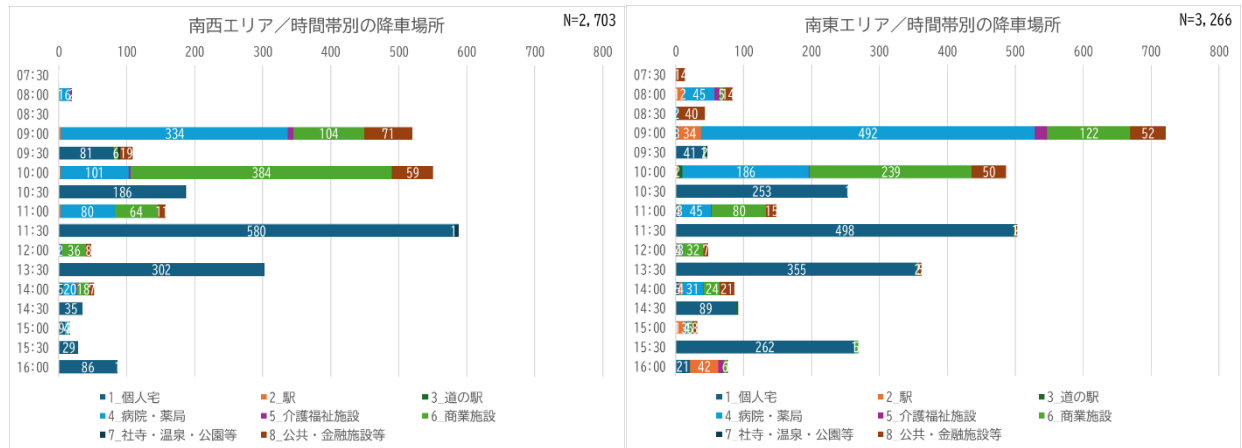
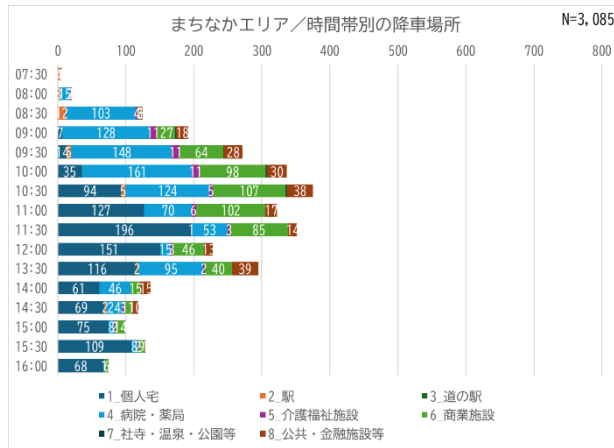
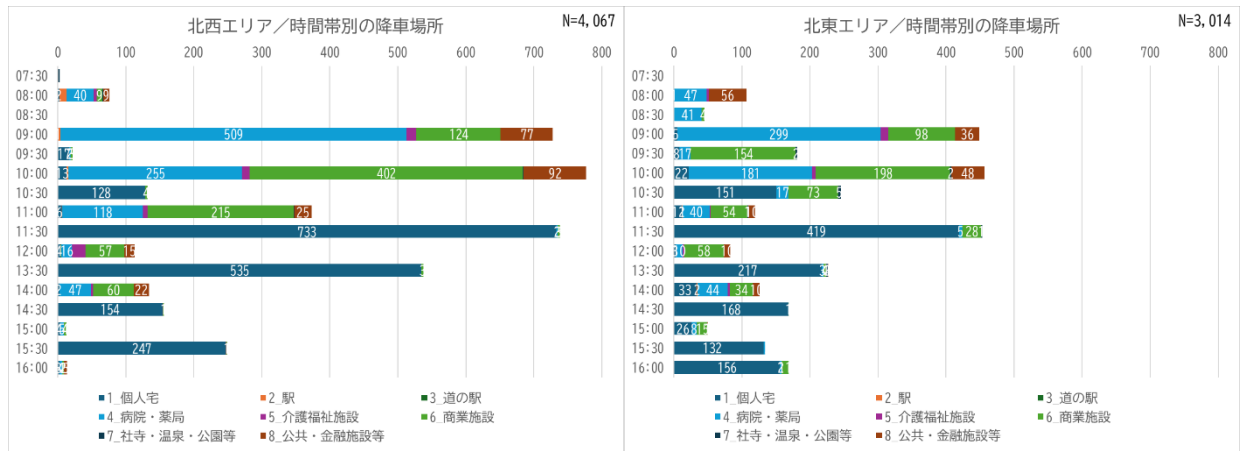
<参考：運行エリア別・時間帯別の乗降場所>

○地域によってラビットくんの利用特性が違うため、運行エリア別・時間帯別に集計した結果も整理しました。

<乗車場所>



< 降車場所 >



角田市地域公共交通計画 資料編

策定：2026年（令和8年）3月

作成：角田市 まちづくり推進課

〒981-1592 宮城県角田市角田字大坊 41

TEL：0224-63-2112